



DVD

Type II

Navigation Map

ナビゲーションブック

使いこなす
ために
読む本

ナビゲーションのすべての機能を説明しています。

Pioneer

安全にお使いいただくために

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容を理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



絵表示の例：この記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。

安全上のご注意



警告

自動車の運転中に地点登録・地名検索などの操作をしないでください。このような操作は、必ず安全な場所に車を停車させ、パーキングブレーキをかけてから行ってください。



注意

ナビゲーションによるルート案内時は、実際の交通規則に従って走行してください。



安全走行のために



走行中に運転者がナビゲーションの画面に気を取られたり、操作に迷ったりすると、大変危険です。交通の状況、歩行者などに十分注意しながら運転してください。

走行中はナビゲーションの操作をしない

走行中に運転者が操作するのは、絶対におやめください。

走行中に制限される機能の操作は

安全な場所に車を止めてパーキングブレーキをかけてから操作してください。

ルートの設定などの複雑な操作は、安全のため、走行中にはできないように設計されています。(操作しようとする、「走行中は操作できません」とメッセージが表示されます。)

操作はエンジンをかけたままで

エンジンを切って本機を操作すると、バッテリー消耗の原因になります。本機の操作はエンジンをかけたままで行ってください。

交通規則に従って走行する

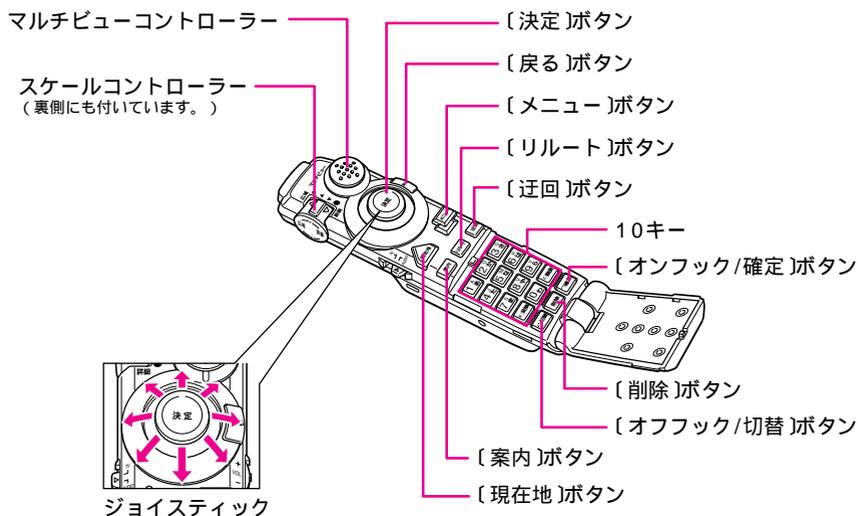
ルート探索をすると、自動的にルート/音声案内が設定されます。本品に使用している交通規制データは、1998年4月現在のもので、また、曜日、時刻規制については、交通規制情報はルート探索した時刻のものが反映されます。例えば、「午前中通行可」の道路でも時間の経過により、その現場を「正午」に走行すると、設定されたルートが通れないなど交通規制に反する場合があります。運転の際は必ず実際の交通標識に従ってください。

なお、冬期通行止めなどには一部対応していないものもあります。

リモコンの各ボタンの表記

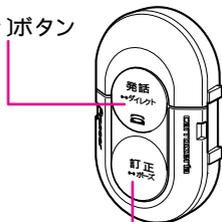
手順説明には、操作に必要な各ボタンを次の名称で表わしています。お手持ちのリモコンで、ボタンの位置などを確認してください。

リモコン



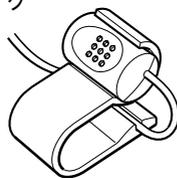
音声認識コントローラー/マイク

〔発話〕ボタン



〔訂正〕ボタン

マイク



目次

Chapter 1 基本的な操作	7	Chapter 2 行き先	31
地図の画面が表示されたら	8	ルート設定とルート案内について	32
自分の車の現在地を確認する	8	行き先までのルートを探させる	33
見たい場所まで地図を動かす	8	ルートが決まったら	35
地図表示の見かた	9	画面表示での誘導・案内	35
現在地画面：ノーマルビューの場合	9	音声での誘導・案内	36
スクロール画面：ノーマルビューの場合	10	自動的にルートを再探索させる	38
スクロール画面：スカイビューの場合	10	自宅に戻るルートを探させる	40
すばやく見たい場所の地図を表示させる	11	ワンタッチ操作で行う場合	40
地図の縮尺を変える	12	メニュー操作で行う場合	40
立体ランドマーク表示	13	探索条件を指定する	41
シティマップ	13	有料道路回避の例	41
ビジュアルシティマップ	13	立ち寄りたい場所を指定する	43
地図の表示方法を変える	14	立寄地を追加する	44
表示方法の種類	14	立寄地を削除する	45
地図の向きを左右に回転させる	16	立ち寄り順序を並べ替える	45
地図の回転を解除するには	16	出発地を指定する	47
地図を見る角度を変える	17	ふだんよく通る道をルートに使う	48
現在地画面の縮尺と角度を登録する	18	走行軌跡をルートに使う	49
高速道路の施設情報を見る	19		
道路料金を確認する	21	Chapter 3 場所を探す	51
メニューの種類	22	名前を入力して探す	52
メインメニュー	22	住所を指定して探す	54
ショートカットメニュー	23	ジャンルを指定して探す	56
ダイレクトキー	23	検索できるジャンルの種類	58
カスタマイズショートカットメニュー	23	電話番号を入力して探す	60
メニュー操作の基本	24	郵便番号を入力して探す	61
文字を入力する	28	最近探した場所から探す	62
全角・半角を切り換える	28	登録した場所から探す	63
英数字や記号を入力する	28	近くのカソリンスタンドなどを探す	65
カタカナを入力する	29	緯度経度を入力して探す	67
ひらがなを入力する	29	検索におけるデータベースについて	68
漢字を入力する	30		
難しい漢字を入力する	30		
文字の入力が終わったら	30		

Chapter 4 案内中のルート	69	文字表示で見る.....99
行き先までの新たなルートを再探索する	70	今いる地域以外の放送局を選局する..100
渋滞などを迂回する	71	放送局の受信感度を確認する.....100
案内中のルートに立寄地を追加する	72	リストから選ぶ.....100
案内中のルートの立寄地を削除する	73	シークで選ぶ.....101
案内中のルートの立ち寄り順序を変える	74	マニュアルで選ぶ.....102
ルートの案内順を確認する	75	ビーコンからの情報を見る.....103
ルートプロフィールで確認する	75	渋滞を考慮したルートを探索する.....104
ルートスクロールで確認する	75	VICSセンターからの連絡を見る.....105
案内中のルートを登録する	76	
案内中のルートを帰り道にする	77	Chapter 7 インターネット/通信 107
案内中のルートを消す	78	通信機能を利用する前に.....108
		機器の準備.....108
Chapter 5 登録する場所	79	インターネットをご利用になるには..108
友人宅などを登録する	80	インターナビシステム.....109
自宅を登録する	81	携帯電話で通話をするときは.....109
回避地を登録する	82	携帯電話を利用する.....110
登録した場所の詳細情報を編集する	83	電話をかける/切る.....110
名前を変更する	83	短縮ダイヤルを使う.....110
マークを変更する	84	本機に登録された電話番号にかける..111
立体マークを変更する	84	ハンズフリーで通話する.....112
よみがなを変更する	85	音声認識コントローラーでの操作.....112
電話番号を変更する	85	インターネット接続の準備をする.....113
効果音を変更する	86	接続先プロバイダーの設定.....113
画像を変更する	87	ブラウザの文字表示の設定.....117
探索条件を変更する	88	ブラウザの機能の設定.....117
位置を移動する	89	天気予報を見る.....118
登録した場所を消す	90	天気予報のデータを取得する.....118
		予報を見る.....120
		予報時刻を変える.....120
Chapter 6 VICS情報	91	ホームページを見る.....121
VICSの概要.....92		インターネットに接続する.....121
VICSとは.....92		ダイレクトインターネットアクセスで
VICS情報の提供方法.....92		インターネットに接続する.....121
VICS情報の表示形態.....93		インターネット画面を操作する...122
渋滞や交通規制などの地図情報を見る..94		接続を解除する.....127
VICS情報マークの詳細を見る.....96		インターネットの基礎知識.....128
特定の情報だけが知りたいときは..97		
VICS情報を簡易図形や文字で見る.....98		
簡易図形表示で見る.....98		

Chapter 8 その他の操作 131

指定したロゴマークを地図上に表示する ..	132
地図上に表示されたお店の情報を見る ..	134
リストからお店を選ぶ	135
FM文字放送の番組を見る	136
FM放送局を選ぶ	136
オンエアの番組内容を現在地画面 に表示させる	137
番組を見る	137
ナビゲーションの状態を画面で見る ..	138
走行状態表示画面を見る	138
衛星測位情報画面を見る	139
センサー学習状況画面を見る	140
登録したルートを操作する	142
登録したルートを呼び出す	142
登録したルート名を変える	143
登録したルートを消す	144
走行軌跡を登録・編集する	145
走行軌跡を登録する	146
走行軌跡を地図上に表示する	147
走行軌跡の名前を変える	148
走行軌跡を消す	148
学習した道を再学習させる	150
最近探した場所を消す	151
登録したデータをPCカードで管理する ..	152
データをPCカードに保存する	152
PCカードのデータを読み込む	153
PCカードのデータを消去する	154
ナビゲーションの初期設定を変える ..	156
初期設定一覧	157
初期設定の詳細	159
「地図の初期設定」メニューの内容 ..	159
「ルートの初期設定」メニューの内容 ..	162
「VICISの初期設定」メニューの内容 ..	164
「その他の初期設定」メニューの内容 ..	166
自車位置のずれを修正する	169
ハードウェアの調整を行う	170
音量を調整する	170
配線の接続状態を確認する	170
接続確認画面の見かた	171
TVモニターの表示位置を調整する ..	172

Chapter 9

ショートカットメニュー・ダイレクトキー ..	173
ショートカットメニューを使う	174
メニューを表示させる	174
ここの情報を見る	175
ここへ行く	176
ここを登録する	176
この周辺で探す	177
ルートスクロール	177
ここに電話をかける	178
ダイレクトキーを使う	179
10キーをカスタマイズする	180
10キーに割り当て可能な機能の一覧 ..	182

Chapter 10 音声で操作する 187

音声操作のポイント	188
正しく発話を認識させるには	188
音声操作の流れ	189
地図を操作する	193
地図上の情報を確認する	194
VICIS情報を確認する	194
もよりの高速道路施設までの 距離を確認する	195
現在の日時を確認する	195
地図を確認しやすいように ボイスヘルプの表示を消す	195
場所を探す	196
近くのカソリンスタンドなどを探す ..	196
住所を指定して探す	196
施設名（ジャンル）で場所を探す	197
電話番号から場所を探す	198
登録した場所を探す	198
最近探した場所を探す	199
探した場所を行き先にする	199
探した場所を登録する	199
ルートを探索する	200
ルートを探索する	200
自宅へ帰るルートを探索する	200
ルートを確認する	201
ルートを修正する・消す	202

目次

テレビの操作	203
電話の操作	204
検索した施設に電話をかける.....	204
登録した場所に電話をかける.....	204
電話番号を発話して電話をかける.....	204
10キーの操作	205
検索できるジャンルの種類	206
ジャンルで検索する場合の ジャンル名の指定のしかた.....	206
周辺を探す場合のジャンル名の 指定のしかた	207
住所やインターチェンジの読みかた ..	208
施設名の読みかた.....	209
都道府県名の読みかた	210
音声操作の設定を変える	212
付 録	213
困ったときには.....	214
故障かな?と思ったら	214
エラーメッセージとその対処方法	219
ナビゲーションのしくみ.....	221
現在地がわかるしくみ	221
測位の精度を高めるためのしくみ.....	222
誤差について	224
ルートに関する注意事項	228
VICS情報に関する注意事項.....	230
天気予報に関する注意事項	231
2画面でのナビゲーションの映像.....	232
かな漢字変換できる記号	233
地図記号一覧	234
メニュー別索引.....	236
キーワード索引.....	240
やりたいこと索引.....	242

Chapter 1

基本的な操作

この章の内容

地図の画面が表示されたら	8
地図表示の見かた	9
すばやく見たい場所の地図を表示させる	11
地図の縮尺を変える	12
地図の表示方法を変える	14
地図の向きを左右に回転させる	16
地図を見る角度を変える	17
現在地画面の縮尺と角度を登録する	18
高速道路の施設情報を見る	19
メニューの種類	22
メニュー操作の基本	24
文字を入力する	28

地図の画面が表示されたら

3Dハイブリッドセンサーのリセット(『スタートブック』参照)が正しく行われた場合、本機の電源を入れディスクをセットしたあと、しばらくすると地図の画面が表示されます。

自分の車の現在地を確認する

〔現在地〕ボタンを押すと、自分の車の現在地と進行方向を示す「自車マーク」が表示された「現在地画面」になります。走り始めると、地図上の自車マークが車の走行に合わせて自動的に動きます。



自車マーク



本機を初めて使うときや、長期間使っていなかったときは、現在地を表示するまでに5分程度かかることがあります。その間は過去の現在地(最後に測位したところ)が表示されます。

自車マークは、実際の現在地からずれる場合があります。また、自車マークの向きが実際の進行方向とは異なる場合があります。

見たい場所まで地図を動かす

ジョイスティックを倒すと、ジョイスティックを倒した方向に地図が動きます(ジョイスティックは上下左右およびその間の斜め方向に動きます)。

地図を動かしてジョイスティックから手を離すと、「スクロール画面」になります。



MEMO

ジョイスティックを倒しながら、スケールコントローラーを倒すと、スクロールしながら地図の縮尺を変えることができます(ズームングスクロール)。ジョイスティックを倒したまま、さらに〔決定〕ボタンを押し続けると、スクロールのスピードが速くなります。このとき、ハイパーツインスクロール(P.11)がONの場合は、画面が左右2つに分割されます。OFFの場合は、画面が分割されずにスクロールします(ハイパースクロール)。

地図表示の見かた

ナビゲーションの地図表示には、自分の車（自車）の現在地を表示する「現在地画面」と見たい場所の地図を表示する「スクロール画面」があります。

現在地画面：ノーマルビュー（P.14）の場合



方位表示の赤い三角が北の方向を示します。地図を左右に回転（P.16）させると、矢印の形に変わります。

自車マークは、現在地と進行方向を表示します。車の走行に合わせて、自車マークと地図が自動的に動きます。また進行方向が常に上にくるように地図が回転します（ヘディングアップ）。地図の回転のしかたは、「地図の初期設定」メニューの「2D地図の回転」（P.159）で変更できます。

軌跡表示は、今までに通った走行軌跡で、約230km分表示できます。通常は白く、車の速度が5km/h未満のときは赤く、5km/h以上20km/h未満のときは橙で表示されます。スケール円は、ノーマルビューやナイアガラビューなどの2D地図内で表示されます。場所によっては、現在地の地名が表示されないところもあります。

ノーマルビュー時のスケール表示では、スケール円の半径の距離を表わしています。

スクロール画面：ノーマルビュー（P.14）の場合



十字カーソルは、画面の中心に表示されます。

スクロール画面：スカイビュー（P.14）の場合



グリッド線の間隔が、スケール表示の4倍になります。

すばやく見たい場所の地図を表示させる

1

ジョイスティックを倒したまま、さらに〔決定〕ボタンを押し続けると、画面を左右2つに分割してより高速でスクロールします（ハイパーツインスクロール）。左画面はそのままの縮尺で、右画面は2段階広域の縮尺で、両方同時にスクロールします。



ジョイスティックを倒したまま
〔決定〕ボタンを押すと...



次のときはハイパーツインスクロールにはなりません。（スクロールのスピードが速くなる、ハイパースクロールとなります。）

ツインビュー、ドライバーズビュー（P.15）のとき

ピクチャーサイドピクチャーでナビゲーションとテレビの映像を左右2画面表示しているとき

200kmと500kmスケール時は、2段階広域の縮尺がないため、1画面でのスクロールとなります。

MEMO

ハイパーツインスクロールは、「地図の初期設定」メニューの「ハイパーツインスクロール」（P.161）でON/OFFできます。

地図の縮尺を変える

より詳しい地図で、細かい道路まで見たいときは、地図を詳細にしてください。だいたいの位置を知るときや、広い範囲を見るときは、地図を広域にしてください。広域にするときはリモコンのスケールコントローラーを「広域」側に倒します。詳細にするときは「詳細」側に倒します。



詳細



広域

スケール表示

スケールバー



MEMO

スケールコントローラーを1回倒すと、10m、25m、50m、100m、200m、500m、1km、2km、5km、10km、20km、50km、100km、200km、500kmのスケール表示ごとに縮尺が変わります。

スケールコントローラーを倒し続けると、スケール表示は同じでもスケール円の大きさ（スカイビューのときはグリッド線の間隔）が変化して細かく縮尺が変わります（フリーズーム）。

ジョイスティックを倒しながらスケールコントローラーを倒すと、スクロールしながら地図の縮尺を変えることができます（ズームングスクロール）。

立体ランドマーク表示

スカイビュー（P.14）の場合、10m～1kmスケールの地図では、代表的な建物が立体的なランドマークで表示されます。

立体ランドマーク表示は、「地図の初期設定」メニューの「立体ランドマーク表示」（P.160）でON/OFFできます。



シティマップ

10m～50mスケールの地図では、地域によっては、次のようなシティマップ（詳細市街地図）が表示されます。

シティマップでは一方通行の規制が表示されます（一部表示されないところもあります）。

シティマップの表示は、「地図の初期設定」メニューの「シティマップ」（P.160）でON/OFFできます。



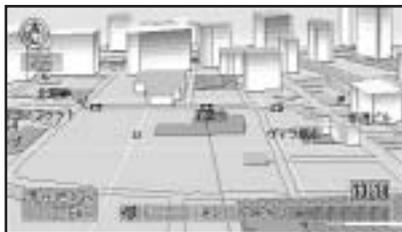
一方通行の規制表示

ビジュアルシティマップ

スカイビュー（P.14）のときのシティマップでは、代表的なビルなどの建物が立体表示されます。

自車マークの手前にある建物は、自車マークが見えるように透かし処理されます。（ある程度手前になると表示されなくなります。）

ビジュアルシティマップの表示は、「地図の初期設定」メニューの「ビジュアルシティマップ」（P.160）でON/OFFできます。



全ての建物が立体表示されるわけではありません。

立体表示される建物は、実際の色・形とは異なります。また、高さについても異なる場合があります。

ビジュアルシティマップでは、立体ランドマークは表示されません。（ただし、登録した場所に設定した立体ランドマーク（P.84）は、2つまで表示されます。）

地図の表示方法を変える

利用状況に応じて、地図の表示方法を変えることができます。

1. マルチビューコントローラーを1回押す



ビュー切り換えメニュー

2. マルチビューコントローラーを左右に倒して、表示方法を選ぶ



3. もう一度マルチビューコントローラーを押す



選んだ表示方法で表示される。

MEMO

ビュー切り換えメニューが表示されている間に押してください。

表示方法の種類

ノーマルビュー：通常の地図（2D地図）で表示されます。



スカイビュー：上空からヘリコプターで見ているように、3Dで地図を表示します。



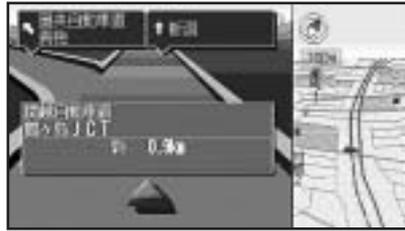
ニアガラビュー：上半分はスカイビューで、下半分はノーマルビューで地図を表示します。遠くから手前に地図が流れるように表示されます。



ドライバーズビュー：ドライバーの目線から見たように地図を表示します。信号やお店のマークなど、目印となる情報が表示されます。また、ウィンドウマップとしてノーマルビューの地図も表示されます。ドライバーズビューでは、地図の回転やスクロールも行えます。



ハイウェイモード：高速道路走行の専用画面です。前方の高速道路施設までの距離や高速料金、高速の分岐方向などが表示されます。目的地までの距離、到着予定時刻も表示されます。また、右側にはサイドマップが表示されます。



ツインビュー：自車位置と目的地など2つの場所を同時に表示します。右画面はノーマルビュー表示で常に自車位置を表示します。左画面ではスカイビュー表示が可能です。また、縮尺の変更、地図の回転などができます。



ハイウェイマップ：高速道路だけを目立たせた3D地図です。複雑な都市高速の接続関係や渋滞が一目でわかります。



地図の向きを左右に回転させる

地図の向きを左右に回転させることができます。地図の左側を上に向けたいときはマルチビューコントローラーを左側に倒します。地図の右側を上に向けたいときは右側に倒します。



左側に倒すと



方位表示

矢印が変わります。(矢印の向きが北を示します。)

右側に倒すと



地図の回転を解除するには

現在地画面のときに〔現在地〕ボタンを押してください。方位表示が矢印からひし形に戻り、地図の回転が解除されます。

MEMO

ハイウェイモードのサイドマップおよびツインビューの右画面は、ここで説明した操作をしても何も変わりません。地図を回転した場合、地図の向きが固定され、走行しても自動的に回転しなくなります(ヘディングアップやノースアップにはなりません)。自動的に回転するように戻りたいときは、地図の回転を解除してください。

地図を見る角度を変える

1

地図を見る角度を変えることができます。マルチビューコントローラーを上側に倒すと、見る角度が深くなります。下側に倒すと、角度が浅くなります。



下側に倒すと



上側に倒すと



MEMO

ノーマルビューのときにマルチビューコントローラーを上側に倒すと、スカイビューになります。

スカイビューのときにマルチビューコントローラーを下側に倒し続けると、最後にノーマルビューに戻ります。

ナイアガラビューのときにマルチビューコントローラーを上下に倒すと、画面上半分の角度が変わります。

ハイウェイモードのサイドマップやツインビューの右画面、ドライバーズビューのウィンドウマップは、ここで説明した操作をしても何も変わりません。

現在地画面の縮尺と角度を登録する

現在地画面のときに、「現在地」ボタンを2秒以上長く押すと、現在の地図縮尺と上下の角度が登録されます（ビューメモリー）。



登録したとき



縮尺と上下の角度は地図の表示方法（ビュー、ただしハイウェイモードは除く）ごとに、それぞれ別々に登録できます。（2D地図では、上下の角度は関係ありません。）

以降、現在地画面で「現在地」ボタンを押した際は、上記の操作で登録した縮尺と上下の角度の地図が表示されます。



現在地画面で「現在地」ボタンを押したとき



地図を左右に回転しているときは、最初に回転が解除されます。もう一度「現在地」ボタンを押すと登録した縮尺と上下の角度になります。

スクロール画面のときは、現在地画面の縮尺と角度に戻ります。

高速道路の施設情報を見る

高速道路走行中にマルチビューコントローラーでハイウェイモードに切り換えると、現在向かっているインターチェンジやサービスエリアの施設情報やそこまでの距離を確認できます。

ハイウェイモードでは、車の走行に合わせて、自動的に次の施設情報に切り換わります。また、ジョイスティックを倒すことで、本線上や分岐先の施設情報をあらかじめ見することも可能です。高速道路を降りると、自動的に通常の地図表示に戻ります。



施設名

施設情報

ジョイスティックを上
に動かすと...



先の施設情報が表示される。ジョイスティックを下に倒せば、前の施設情報に戻る。〔現在地〕ボタンを押すと、現在向かっている施設の表示に戻る。

MEMO

ルートを設定した場合は、ルートの道塗りもされます。

高速道路を降りる前に通常の地図表示に戻りたいときは、マルチビューコントローラーで切り換えて（P.14）ください。

高速道路施設が近接しているときは、施設表示の自動切り換えが間に合わないことがあります。

サービスエリアやパーキングエリアで表示される情報



ガソリンスタンド（各ガソリンスタンドのロゴマークが表示されます。例：出光興産）



身障者用トイレ



おみやげ屋



レストラン



休憩所



コインランドリー



風呂



シャワー



郵便ポスト



ファクシミリ



仮眠所



案内所

料金表示について

- ルートが設定されている場合には料金が表示されます。（設定されていない場合は表示されません。）
- 高速道路上でルートを設定した場合は、料金は表示されません。
- 料金表示が可能なのは、都市高速、都市間高速、一部の有料道路です。
- 料金表示ができない場合は「****」と表示されます。
- 料金表示は99年3月末現在の普通車のものです。

都市高速走行時のハイウェイモード
都市高速では、わかりにくいランプやジャンクションがイラスト表示されます。ルートを設定したときはルートの道塗りもされます。



VICS情報表示時のハイウェイモード
表示している施設までの区間に渋滞が発生している場合には、渋滞のマークが表示されます。また、規制情報やサービスエリア、パーキングエリアの駐車場満空情報もマーク（P.94）で表示されます。



渋：渋滞

混：混雑

道路料金を確認する

高速道路を走行していなくても、高速道路の入口と出口を指定して、その間の道路料金を確認することができます。

1. 入口として希望する高速道路インターチェンジ付近にある情報マーク[Ⓜ]に十字カーソルを合わせる

Ⓜは10m～500mスケール有的时候に表示されます。(ただし、シティマップ表示ではⓂは表示されません。)



2. [決定] ボタンを押してショートカットメニューを表示させる

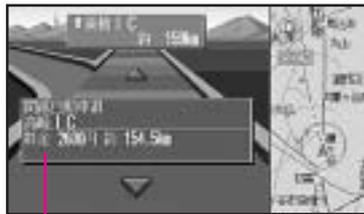
MEMO

ショートカットメニューの詳細は、「ショートカットメニューを使う」(P.174)をご覧ください。

3. 【この情報を見る】を選び[決定]ボタンを押す



4. ジョイスティックを倒して出口として希望するインターチェンジまで進み、料金を確認する



料金表示

5. 確認し終わったら、[現在地] ボタンを押す

メニューの種類

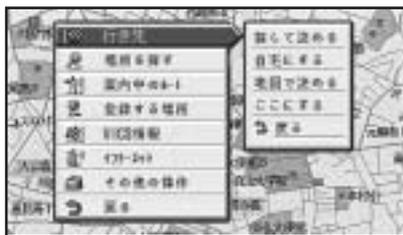
メインメニュー

[メニュー]ボタンを押すと、メインメニューが表示されます。

行き先 (Chapter2)

ドライブの行き先が決まっていれば、その行き先をセットするだけで、自動的に道順を決めてくれます。

曲がる交差点も音声で案内してくれるので、知らない道でも迷うことなくドライブできます。



場所を探す (Chapter3)

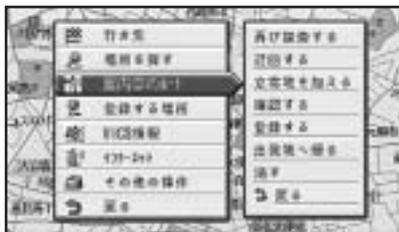
ホテル、遊園地などの電話番号や名前から、その施設周辺の地図を表示させることができます。

また、現在地やスクロール先周辺のコンビニ、ガソリンスタンドを探すことができます。



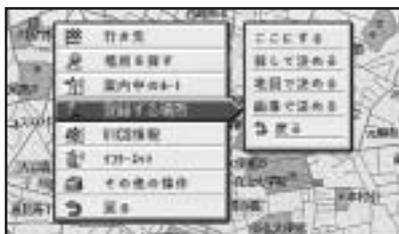
案内中のルート (Chapter4)

設定されているルートを修正したり、登録しておくことができます。



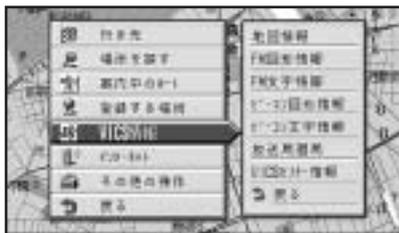
登録する場所 (Chapter5)

友人の家や気に入ったレストランなど、覚えておきたい場所を登録させることができます。



VICS情報 (Chapter6)

VICS(道路交通情報通信システム)の情報を見ることができます。



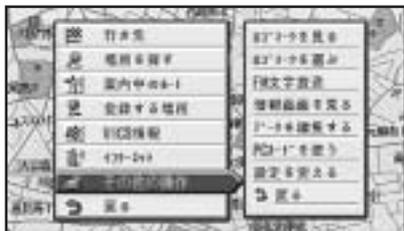
インターネット (Chapter7)

デジタル携帯電話を接続して、天気予報を見たり、インターネット上のホームページを見たりすることができます。



その他の操作 (Chapter8)

お店のマークを表示させたり、FM文字放送を見ることができます。また、各種の設定を変更することができます。



ショートカットメニュー

(Chapter9)

〔決定〕ボタンを押すと、「ショートカットメニュー」が表示されます。

ショートカットメニューでは、ルート探索や場所の登録など、使用頻度の高い機能が割り当てられており、十字カーソル(または現在地)の位置に対して、その操作を行なうことができます。通常のメニュー操作のステップをいくつか省略して、すばやく簡単に操作できます。



ダイレクトキー

(Chapter9)

リモコンの10キー、〔案内〕ボタン、〔リルート〕ボタン、〔迂回〕ボタンを総称して、「ダイレクトキー」といいます。ダイレクトキーを押すと、割り当てられた機能がワンタッチで動作します。

また、10キーはお好みの機能を割り当てることもできます。詳細は、「10キーをカスタマイズする」(P.180)をご覧ください。

カスタマイズショートカットメニュー

〔決定〕ボタンを2秒以上長く押すと、「カスタマイズショートカットメニュー」が表示されます。

カスタマイズショートカットメニューでは、ダイレクトキーの10キーに割り当てられた機能がメニューとして表示され、操作することができます。10キーのカスタマイズ(P.180)で割り当てた機能を忘れても安心です。

メニュー操作の基本

「(メニュー)ボタンを押してメニューを表示させ、ジョイスティックで項目を選んで〔決定〕ボタンを押す」というのが操作の基本的な流れです。この説明書では、「ジョイスティックを動かして項目を選び〔決定〕ボタンを押す」という一連の操作を、「項目を選び、〔決定〕ボタンを押す」というように、ひとつの手順として表記しています。



途中で操作がわからなくなったり操作を誤ったときは

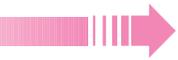
- 〔戻る〕ボタンを押すと、前の画面に戻ることができます（画面に表示された【戻る】をジョイスティックで選んで〔決定〕ボタンを押しても同様です）。
- 〔メニュー〕ボタン、または〔現在地〕ボタンを押すことで、今までのメニュー操作が中止され、スクロール画面または現在地画面に戻ることができます。（ホームページを見る操作を行っているときは、〔メニュー〕ボタンでは地図画面に戻れません。〔メニュー〕ボタンは、インターネットメニューの表示／非表示切り換えになります。）

メニューの
消去



メニューの再表示は、もう一度〔メニュー〕ボタンを押す。

選択項目の
決定

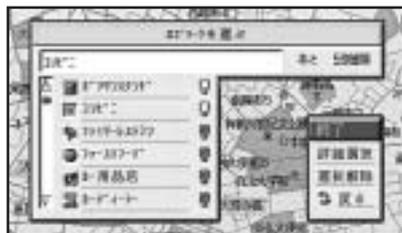


Chapter 1 基本的な操作

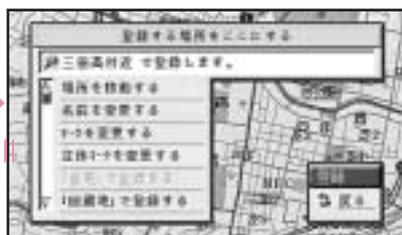
各機能の画面での共通操作

各機能によって画面に表示される内容は異なりますが、次のようなルールで統一されています。

縦に並んだ項目は、ジョイスティックを上下に倒して選ぶ。



左右の項目間は、ジョイスティックを左右に倒して選ぶ。



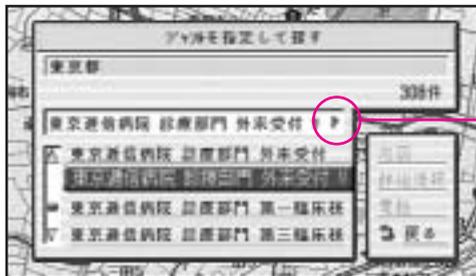
リスト表示の画面では

リスト中で選択する項目が画面外にもあるときには、リストの横に「」が表示されます。このような場合でも、ジョイスティックを上下に倒せば、見えていない項目を表示させることが可能です。



上下に隠れた項目があるときに表示される。

ボックス内に文字が入りきらないときには、マルチビューコントローラーを左右に倒せば、見えていない部分を表示させることが可能です。



ここに「▶」が表示される

MEMO

都道府県名、市区町村名、地名などのリストでは、スケールコントローラーを「広域」側や「詳細」側に倒すと、50音の行（アカサタナ...）をとばしながら選ぶことができます。また、番地や号を指定するリストでは10の桁ずつ、規則性のない項目のリストでは5項目ずつとばすことができます。

文字を入力する

「場所を登録する」の操作などでは、次のような画面が表示され、文字の入力ができます。英字、数字、カタカナ、記号、ひらがな、漢字の入力が可能です。

全角・半角を切り換える

1. ジョイスティックで画面左の【カナ】【英字】【数字】【記号】を選び、〔決定〕ボタンを押す
2. ジョイスティックで画面下の【全角】または【半角】を選び、〔決定〕ボタンを押す
ランプが黄色で点灯した項目の文字種が入力可能になります。



2. ジョイスティックを上下左右に倒して入力したい文字を選び、〔決定〕ボタンを押す



《10キー操作》

キーに表記された文字を入力できます。例えば、「Mark」なら以下のように押します。

“M” 10キーの[5]を1回押す

“a” 10キーの[1]を4回押す

“r” 10キーの[6]を6回押す

“k” 10キーの[4]を5回押す

〔オンフック / 確定〕ボタン：10キーで入力した文字が確定します。

〔削除〕ボタン：1文字ずつ削除されます。

英数字や記号を入力する

1. ジョイスティックで画面左の【英字】【数字】【記号】を選び、〔決定〕ボタンを押す
ランプが黄色で点灯した項目の文字種が入力可能になります。



《10キー操作》

〔オフフック / 切替〕ボタン：文字種が切り換わります。

カタカナを入力する

1. ジョイスティックで画面左の【カナ】を選び、〔決定〕ボタンを押す
ランプが黄色で点灯した項目の文字種が入力可能になります。



《10キー操作》

〔オフフック / 切替〕ボタン：文字種が切り換わります。

2. ジョイスティックで入力したい文字を選び、〔決定〕ボタンを押す



《10キー操作》

キーに表記された文字を入力できます。
例えば、「パイオニア」なら以下のように押します。

“ハ” 10キーの $\boxed{6}$ を1回押す

“°” 10キーの $\boxed{0}$ を6回押す

“イ” 10キーの $\boxed{1}$ を2回押す

“オ” 10キーの $\boxed{1}$ を5回押す

“ニ” 10キーの $\boxed{5}$ を2回押す

“ア” 10キーの $\boxed{1}$ を1回押す

〔削除〕ボタン：1文字ずつ削除されます。

ひらがなを入力する

1. ジョイスティックで画面左の【かな】を選び、〔決定〕ボタンを押す



《10キー操作》

〔オフフック / 切替〕ボタン：文字種が切り換わります。

2. ジョイスティックで入力したい文字を選び、〔決定〕ボタンを押す



《10キー操作》

キーに表記された文字を入力できます。
例えば、「ふどうまえ」なら以下のように押します。

“ふ” 10キーの $\boxed{6}$ を3回押す

“と” 10キーの $\boxed{4}$ を5回押す

“°” 10キーの $\boxed{0}$ を5回押す

“う” 10キーの $\boxed{1}$ を3回押す

“ま” 10キーの $\boxed{7}$ を1回押す

“え” 10キーの $\boxed{1}$ を4回押す

〔削除〕ボタン：1文字ずつ削除されます。

3. ジョイスティックで画面下の【無変換】を選び、〔決定〕ボタンを押す

《10キー操作》

10キーの〔# / 無変〕：ひらがながそのまま入力されます。

漢字を入力する

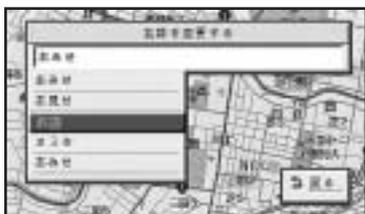
1. ジョイスティックで画面左の【かな】を選び、〔決定〕ボタンを押す
《10キー操作》
〔オフフック/切替〕ボタン：文字種が切り換わります。
2. ジョイスティックで入力したい文字を選び、〔決定〕ボタンを押す
《10キー操作》
キーに表記された文字を入力できます。
例えば、「おみせ」なら以下のように押します。
“お” 10キーの①を5回押す
“み” 10キーの⑦を2回押す
“せ” 10キーの③を4回押す
3. ジョイスティックで画面下の【変換】を選び、〔決定〕ボタンを押す



《10キー操作》

10キーの〔*/変換〕：読みが漢字に変換されます。

4. 候補から漢字を選び、〔決定〕ボタンを押す



難しい漢字を入力する

1. ジョイスティックで画面左の【漢字表】を選び、〔決定〕ボタンを押す
漢字(JIS第二水準)の一覧が表示されます。
2. ジョイスティックで漢字を選び、〔決定〕ボタンを押す



文字の入力が終わったら

文字の入力が終わったら〔迂回〕ボタンを押すと、右側のメニューの「終了」が選ばれます。ジョイスティックを操作する必要がないので、便利です。



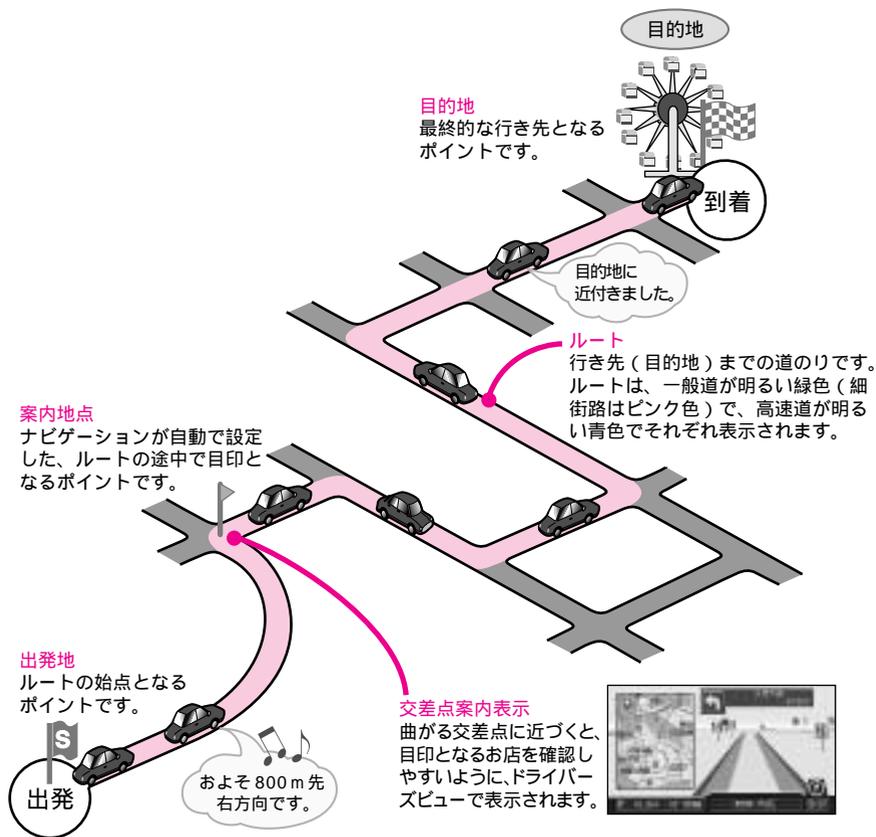
Chapter 2 行き先

この章の内容

ルート設定とルート案内について	32
行き先までのルートを探索させる	33
ルートが決まったら	35
自宅に戻るルートを探索させる	40
探索条件を指定する	41
立ち寄りたい場所を指定する	43
出発地を指定する	47
ふだんよく通る道を利用する	48
走行軌跡を利用する	49

ルート設定とルート案内について

ドライブの行き先を設定するだけで、行き先までの道順(ルート)を本機が探してくれます。ルートを設定してドライブを開始すると、行き先までの道のりを音声で案内してくれます。



行き先までのルートを探させる

目的地(最終的にいきたい場所)を設定するだけで、現在地から目的地までのルートが探索されます。



出発地、目的地、立寄地(P.43)付近では、道幅5.5m未満の細街路も含めてルート探索し、道塗りを行います(ドアtoドア探索)。

6本まで候補のルートが表示されます。そのなかから好みのルートを1つ選んで地図上に設定します。(場所によっては、複数の候補ルートが同一ルートになる場合があります。)

「ルートの初期設定」メニューの「ルート探索の候補数」(P.162)を「3」または「1」にすることで、候補ルートを減らすこともできます。

「ルート探索の候補数」によって、それぞれ次の条件でルートが探索されます。(標準では本機におまかせの設定です。)

「6」のとき： ルート探索基準 [標準、距離優先、幹線優先] の3つ × 有料道路 [標準、回避] の2つ

フェリーは、「ルートの初期設定」メニューに従うか、お好みにより条件指定(P.41)で設定した条件になります。

「3」のとき： ルート探索基準 [標準、距離優先、幹線優先] の3つ

有料道路およびフェリーは、「ルートの初期設定」メニューに従うか、お好みにより条件指定(P.41)で設定した条件になります。

「1」のとき： ルート探索基準、有料道路、フェリーともに、「ルートの初期設定」メニューに従うか、お好みにより条件指定(P.41)で設定した条件になります。

以下の場合には、候補ルート表示は行いません。最も効率のよいルートが1本だけ探索されます。

ルートの探索開始時に立寄地指定を行ったとき(P.43)

ルートの探索開始時に軌跡使用を指定したとき(P.49)

ショートカットメニューでルート探索を行ったとき(P.176)

音声操作でルート探索を行ったとき(P.200)

登録したルートを呼び出したとき(P.142)

「ルートの初期設定」メニューの「ルート探索の候補数」(P.162)を「1」にしたとき
複数の都道府県にまたがる長距離のルートを設定するときは、より適切なルートが探索されるように、ご利用になる一般国道の交差点や高速道路のインターチェンジの出入口を立寄地(P.43)に指定することをおすすめします。

高速道路施設を行き先にするときは、【行き先】 【探して決める】を選んで高速道路施設を探した後に表示される地図の位置から、地図を一切スクロールせずに[決定]ボタンを押してください。スクロールさせると、高速道路を通らないルートが探索される場合があります。また、ショートカットメニュー(P.174)で操作した場合も、高速道路を通らないルートになることがあります。

1. メインメニューの【行き先】【地図で決める】を選び、【決定】ボタンを押す



MEMO

次の方法で行き先を探すことも可能です。
 【探して決める】：地名などで探す (P.51)
 【自宅にする】：自宅に戻るとき (P.40)
 【ここにする】：すでに行き先に十字カーソルを合わせてあるとき

2. 行き先となる場所に十字カーソルを合わせ、【決定】ボタンを押す



3. 【探索開始】を選び、【決定】ボタンを押す

現在地から行き先までのルートを探し始めます。(探し終わるまでの時間は、現在地と行き先の位置によって異なります。)

行き先が設定されて、旗のマークが付く。



ルート探索が終わると、6本の候補ルートが表示される。

4. ジョイスティックを左右に倒してルートを選び、【決定】ボタンを押す

候補ルートの番号



その候補ルートで
使用した条件



ルートが設定され、ルート案内が開始される (P.35)。

MEMO

有料道路のなかには、料金が表示されないものもあります。

高速道路施設を行き先とした場合に、料金が表示されないことがあります。

【プレビュー】を選ぶと、ルートプロフィール画面に切り換わり、ルートを確認できます。操作方法は、「ルートの案内順を確認する」(P.75)をご覧ください。

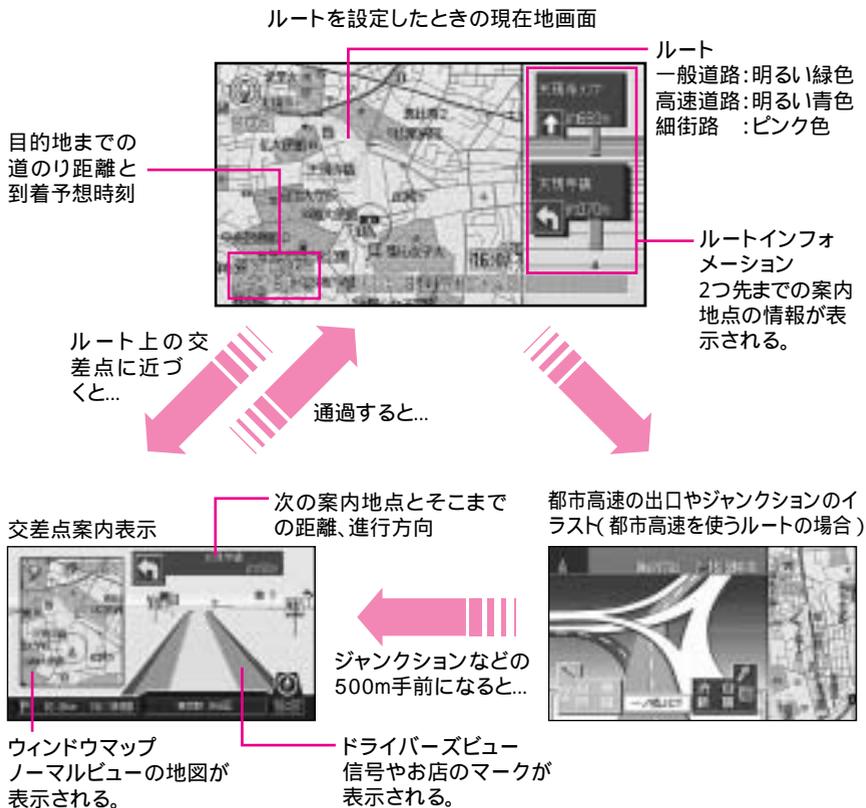
ルートが決まったら

ルートの設定が終わったら、地図上に表示されたルートに沿って、いつでもドライブを始められます。出発前には、〔現在地〕ボタンを押して現在地画面にしてください。

画面表示での誘導・案内

⚠️注意

カーナビゲーションによるルート案内時は、実際の交通規則に従って走行してください。



ルート走行中は、交差点の約100m以内に近づいたとき、一番手前にある信号機が地図上に表示されます。(表示されない交差点もあります。)



場所によっては、行き先付近や出発地・立寄地付近まで、ルート其道塗りがされない場合があります。ルート探索の仕様などは、「ルートに関する注意事項」(P.228)をご覧ください。

都市高速での出口やジャンクションのイラストは、1回目の音声タイミングで表示されます。ただし、一部、イラストが表示されないところもあります。

場所によっては、交差点案内が表示されないこともあります。

スクロール中は交差点に近づいても交差点案内は表示されません。

交差点案内表示は、ドライバーズビューではなく、交差点拡大図にすることもできます。「ルートの初期設定」メニューの「交差点案内表示」(P.159)で切り換えます。

都市高速でのイラスト表示は、「ルートの初期設定」メニューの「高速施設のイラスト表示」(P.163)でON/OFFできます。

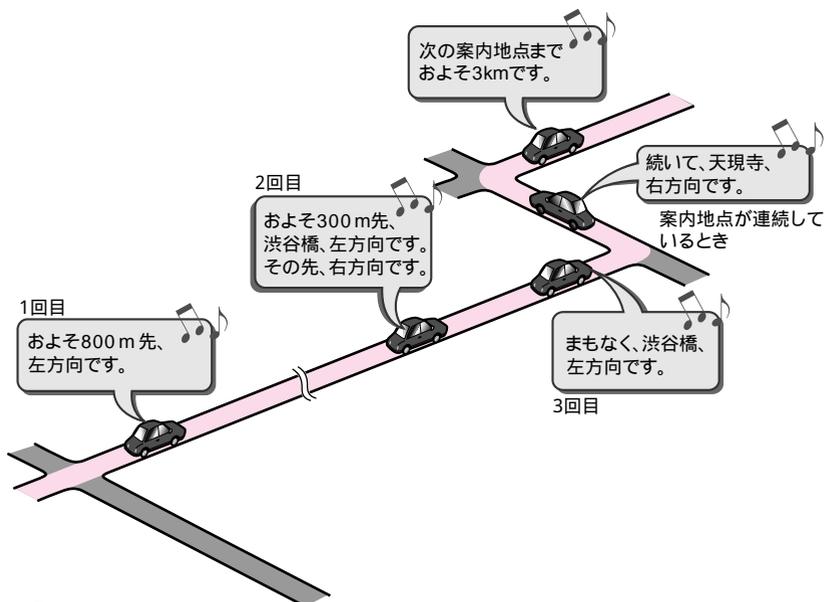
ルートインフォメーションは、「地図の初期設定」メニューの「ルートインフォメーション」(P.161)でON/OFFできます。

音声での誘導・案内

ルート走行中は、ドライビングの状況や車の速度に応じて、きめ細かく音声で道案内されます。

一般道路での誘導・案内

車の速度に合わせ、交差点の手前で最大3回、音声案内がされます。また、そのタイミングに合わせて交差点案内も表示されます。交差点間が150m以内の複合交差点では案内図が途切れることなく連続表示されます。



高速道路での誘導・案内

都市高速では、1回目の音声案内とともに出口やジャンクションのイラストが表示されます。また、インターチェンジ出口やジャンクションのおよそ500m手前になると交差点案内が表示されると同時に、高速道路の場合には出口の料金所で料金の案内と出口後の方面案内もしてくれます。

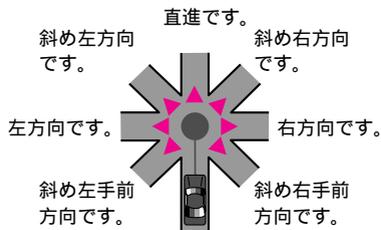


ルート案内での高速道路出口料金案内は、最初にルートを設定したときの入口から出口までの料金を案内します。高速道路に入ってからルートを設定した場合や途中でルートを変更した場合(オートリルートを含む)には料金案内が実際と異なったり、案内されないことがあります。

料金案内は99年3月末現在の普通車のものです。正しくは、料金所窓口で確認してください。

音声案内の種類

7方向の音声案内が流れます。



MEMO

下表のセーフティインフォメーションは、「その他の操作」「ロゴマークを選ぶ」(P.132)でON/OFFします。

種類	案内例
[ルート音声]	
側道案内	およそ m先、側道を左方向です。
合流案内	まもなく、合流です。
高速(有料)道路入口・出口案内	m先、インターチェンジ、左方向、入口です。
高速(有料)道路料金所案内	km先、料金所です。
[セーフティインフォメーション]	
リフレッシュ案内	そろそろ2時間になります。休憩にしませんか?
踏切案内	この先、踏切です。ご注意ください。
ライト点灯案内	まもなく、日没になります。ライトの点灯を確認しましょう。



誘導される右左折の方向は、実際の道路の形状とは合わない場合があります。

セーフティインフォメーションの踏切案内は、走行中の道路の先に踏切がない場合でも近くに踏切があれば案内される場合があります。また、全ての踏切で案内されるわけではありません。

一度案内された踏切は、本機の電源がOFFになるまでは、再び通っても案内されません。

聞き逃したルートの音声案内を聞くには(リクエスト案内)

[案内] ボタンを押すと、次の案内地点のルート音声案内を聞くことができます。

渋滞案内を聞くには(渋滞リクエスト案内)

[案内] ボタンを2秒以上長く押すと、案内中のルート上のVICS渋滞情報を聞くことができます。同時に渋滞付近の地図が表示されます。

自動的にルートを再探索させる

ルートから外れるなど、案内に適さない状況が発生すると、自動的にルートを引き直し(再探索)することができます。

ルートから外れたときは

予定外の回り道など、ちょっとした寄り道でルートから外れてしまった場合、すぐに元に戻る道順を再探索させることができます(復帰ルート探索)。

購入した直後の状態では、ルートから外れると、自動的に復帰ルート探索が行われます(オートリルート)。



自転車マークがルートから外れてから、一般道で30m、高速道路で500m以上走行したときにオートリルートが行われます。

オートリルートOFFで大幅にルートを外れた後、オートリルートONに変えた場合、本機が元のルートに復帰するには効率が悪いと判断したときは、全ルート再探索が行われます(P.70)。その際に当初選択したのとは異なるルートが設定される場合があります。

MEMO

オートリルートは、「ルートの初期設定」メニューの「オートリルート」(P.162)でON/OFFできます。

復帰ルート探索は手動ではできません。オートリルートONの設定にしているときのみ行われます。

オートリルートをOFFにしているときに、リルートを行いたい場合は(リルート)ボタンを押してください。

交通状況が変化したときは

時間により変化する交通規制や、VICS情報（通行止め）の変化に対応して、自動的にルートが修正されるように設定できます（リアルタイムリルート）。

リアルタイムリルートでは、FM多重またはビーコンのVICS情報を受信すると、本機内部でのルート再探索が行われます。交通状況の変化などによって、案内中のルートと異なるルートが探索された場合には、自動的にルートが修正されます。



FM多重やビーコンからのVICS情報が取得できないなど、リアルタイムリルートが行われないことがあります。

MEMO

リアルタイムリルートは、「ルートの初期設定」メニューの「リアルタイムリルート」（P.162）でON/OFFします。

VICS用ビーコン受信機「ND-B3」を接続した場合は、「ルートの初期設定」メニューの「渋滞を考慮したルート探索」（P.164）の設定によって、渋滞状況の変化を考慮したリアルタイムリルートを行うことができます。

次の案内地点が見える縮尺に自動変更する（オートフリーズーム）

ルート案内中に、次に向かう案内地点付近の地図が見えるように、地図の縮尺が自動的に変更されるように設定できます。案内地点まで距離があるときは広域な地図に、案内地点に近づいてくるとより詳細な地図になります。



次の案内地点が遠い場合は、縮尺が変更されないことがあります。案内地点に近づいてくると、適切な縮尺に変更されます。

MEMO

オートフリーズームは、「ルートの初期設定」メニューの「オートフリーズーム」（P.159）でON/OFFします。

自宅に戻るルートを探させる

前もって「自宅」の場所を登録(P.81)しておけば、簡単に自宅へ戻るルートを探させることができます。

ワンタッチ操作で行う場合

この場合は、最も効率のよいルートが1本だけ探索され、自動的に設定されます。

1. [リルート]ボタンを2秒以上長く押す



メニュー操作で行う場合

この場合は、通常のルート探索と同様の操作になります。

1. メインメニューの【行き先】【自宅にする】を選び、[決定]ボタンを押す



2. 34ページの手順3以降の操作で、ルート探索を開始する

探索条件を指定する

「高速道路を使いたくない」「フェリー航路を積極的に使いたい」など、条件を指定してルートを探ることができます。立寄り地指定(P.43)を行った場合には、現在地・立寄り地・行き先の各区間ごとに条件を細かく指定できます(区間別条件指定)。



「ルートの初期設定」メニューの「ルート探索の候補数」(P.162)を「6」に設定しているときは、「フェリー」の条件のみ変更できます。「探索基準」と「有料道路」は、本機が自動的に条件を変えたルートが6本の候補ルートになるため、条件を変える必要がありません。

「ルートの初期設定」メニューの「ルート探索の候補数」(P.162)を「3」に設定しているときは、「有料道路」と「フェリー」の条件を変更できます。「探索基準」は、本機が自動的に条件を変えたルートが3本の候補ルートになるため、条件を変える必要がありません。

「立寄り地指定」(P.43)や「軌跡使用」(P.49)を指定したとき、または「ルートの初期設定」メニューの「ルート探索の候補数」(P.162)を「1」に設定しているときは、「探索基準」「有料道路」「フェリー」のすべてを変更できます。

有料道路回避の例

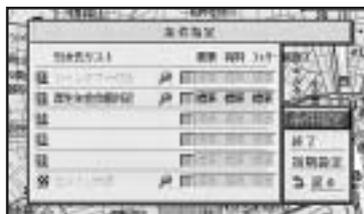
- 34ページの手順1～2の操作で、行き先となる場所を決める
- 【条件指定】を選び、【決定】ボタンを押す



- 条件を指定したいポイントを選び、【決定】ボタンを押す



- 【条件指定】を選び、【決定】ボタンを押す



5. 条件(この例では【有料道路】)を選び、
〔決定〕ボタンを押す



MEMO

〔決定〕ボタンを押すごとに、項目右のランプの点灯/消灯が切り換わりま
す。この例では、〔決定〕ボタンを押
して「優先」のランプを黄色く点灯させ
てください。

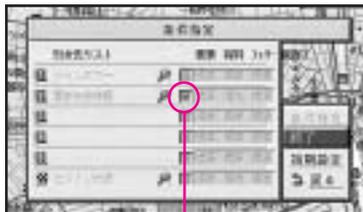
6. 【終了】を選び、〔決定〕ボタンを押す



MEMO

【初期設定の条件に戻す】を選んで
〔決定〕ボタンを押すと、「ルート
の初期設定」メニュー(P.162)の「ルート
探索基準」「有料道路」「フェリー航路」
での設定に戻ります。

7. 行き先リストの画面で【終了】を選び、
〔決定〕ボタンを押す



条件指定を行うとチェックマークが付
く。

8. 34ページの手順3以降の操作で、ルー
ト探索を開始する

立ち寄りたい場所を指定する

「友人を迎えに行ってから遊園地に行く」など、前もって寄っていきたい場所があるときは、その場所を立寄地として指定しておくことができます。



立寄地は、5カ所まで指定できます。ただし、軌跡使用(P.49)を指定したときは軌跡の最初と最後が立寄地として扱われるので、3カ所になります。

複数の立寄地を指定する場合、通常は入力した順に立ち寄るルートが探索されます。

「地図の初期設定」メニュー(P.161)の「道のり・到着時刻表示」を「立寄地」にすると、立寄地までの到着予想時刻を表示できます。

登録した場所に探索条件を設定しておき(P.88)、その場所を立寄地として指定すると、より簡単に、より好みに近いルートにすることができます。

立寄地への道塗りは行われなことがあります。画面上立寄地を通るルートになっていないように見えますが、故障ではありません。

1. 34ページの手順1～2の操作で、行き先となる場所を決める
2. 【立寄地指定】を選び、〔決定〕ボタンを押す



3. 【地図で探す】を選び、〔決定〕ボタンを押す



MEMO

立寄地指定では【地図で探す】以外に、地名や施設名などで場所を探すことも可能です。

【名前を入力して探す】(P.52)

【住所を指定して探す】(P.54)

【ジャンルを指定して探す】(P.56)

【電話番号を入力して探す】(P.60)

【郵便番号を入力して探す】(P.61)

【最近探した場所から探す】(P.62)

【登録した場所から探す】(P.63)

【周辺で探す】(P.65)

【緯度経度を入力して探す】(P.67)

4. 最初の立寄地となる場所に十字カーソルを合わせ、〔決定〕ボタンを押す



5. 最初の立寄地を指定し終わったら、【継続】を選び、〔決定〕ボタンを押す
立寄地が1つのときは、【終了】を選んで〔決定〕ボタンを押して手順8に進んでください。



6. 手順3～4の操作を繰り返して次の立寄地を指定する
7. 立寄地を指定し終わったら、【終了】を選び、〔決定〕ボタンを押す



8. 【終了】を選び、〔決定〕ボタンを押す



立寄地までの探索条件を指定したいときは、「探索条件を指定する」(P.41)の手順4～5の操作をご覧ください。

9. 34ページの手順3以降の操作で、ルート探索を開始する

立寄地を追加する

探索開始前であれば、立寄地を追加することができます。

MEMO

探索開始後は、メインメニューの「案内中のルート」「立寄地を加える」で追加できます。(P.72)

1. 探索開始の画面で、【立寄地指定】を選び、〔決定〕ボタンを押す
2. 目的地/立寄地リストの【追加】を選び、〔決定〕ボタンを押す



3. 追加する位置を選び、〔決定〕ボタンを押す



4. 前ページの手順3以降の操作で、追加する立寄地の場所を決める
5. 目的地/立寄地リストの【終了】を選び、〔決定〕ボタンを押す
6. 34ページの手順3以降の操作で、ルート探索を開始する

立寄地を削除する

間違っって指定した場合には、立寄地を削除できます。



目的地を選択した場合は、目的地直前の立寄地が、新しい目的地になります。

1. 探索開始の画面で、【立寄地指定】を選び、〔決定〕ボタンを押す
2. 目的地 / 立寄地リストの【削除】を選び、〔決定〕ボタンを押す



3. 削除する立寄地を選び、〔決定〕ボタンを押す



4. 目的地 / 立寄地リストの【終了】を選び、〔決定〕ボタンを押す
5. 34ページの手順3以降の操作で、ルート探索を開始する

立ち寄る順序を並べ替える

ここで指定した順番に通るルートが探索されます。

1. 探索開始の画面で、【立寄地指定】を選び、〔決定〕ボタンを押す
2. 目的地 / 立寄地リストの【ソート】を選び、〔決定〕ボタンを押す



3. 【任意】を選び、〔決定〕ボタンを押す



4. 入れ換える立寄地を選び、〔決定〕ボタンを押す



5. 入れ換え先を選び、〔決定〕ボタンを押す



6. 【設定終了】を選び、〔決定〕ボタンを押す



7. 目的地 / 立寄地リストの【終了】を選び、〔決定〕ボタンを押す
8. 34ページの手順3以降の操作で、ルート探索を開始する

オートで並べ替えるには
手順3で【オート】を選んで〔決定〕ボタンを押すと、次のような順序に自動で並べ替えることができます。〔決定〕ボタンを押すたびに、 の順に並べ替えの方法が変わります。

立寄地のみを現在地から近い順に並べ替える。

目的地を含めて現在地から近い順に並べ替える。(この場合、最も遠い立寄地が目的地に置き換わる)

入力した順に並べ替える。(この場合、最後に入力した立寄地が目的地に置き換わる)

MEMO

【元に戻す】を選んで〔決定〕ボタンを押すと、並び替える前の順序に戻ります。

出発地を指定する

現在地以外の場所をルート上の始点(出発地)に指定して、その場所から目的地までのルートを探索できます。「自宅前で、遠方の高速道路の入口から目的地までのルートを探したい」といったときに利用できます。

1. 34ページの手順1～2の操作で、行き先となる場所を決める
4. 出発地となる場所に十字カーソルを合わせ、〔決定〕ボタンを押す

2. 【出発地指定】を選び、〔決定〕ボタンを押す



3. 【地図で探す】を選び、〔決定〕ボタンを押す



5. 指定し終わったら、【はい】を選び、〔決定〕ボタンを押す

出発地指定を取り消したいときは、手順5で【いいえ】を選んで〔決定〕ボタンを押してください。



6. 34ページの手順3以降の操作で、ルート探索を開始する

出発地を現在地に戻すには

手順3で【自転車位置にする】を選んで〔決定〕ボタンを押してください。

MEMO

出発地指定では【地図で探す】以外に、地名や施設名などで場所を探すことも可能です。

【名前を入力して探す】(P.52)

【住所を指定して探す】(P.54)

【ジャンルを指定して探す】(P.56)

【電話番号を入力して探す】(P.60)

【郵便番号を入力して探す】(P.61)

【最近探した場所から探す】(P.62)

【登録した場所から探す】(P.63)

【周辺で探す】(P.65)

【緯度経度を入力して探す】(P.67)

ふだんよく通る道をルートに使う

本機が自動的に学習した、ふだんよく通る道をルートの一部に使うことができます。



学習ルートは、出発地、目的地、立寄り地周辺で有効です。

よく通る道が必ず使われるとは限りません。

「学習ルート使用」は、ルート設定操作をすると、「ルートの初期設定」メニューの「学習ルート探索」(P.163)の設定状態になっています。(「学習ルート探索」がONのときはランプが点灯した状態に、OFFのときはランプが消灯した状態になっています。)

1. 34ページの手順1～2の操作で、行き先となる場所を決める
 2. 【学習ルート使用】を選び、〔決定〕ボタンを押して項目右のランプを点灯させる
〔決定〕ボタンを押すごとにランプの点灯/消灯が切り換わります。
- 学習ルートの使用をやめるときには手順2以降の操作をもう一度行って、項目右のランプを消灯させてください。



3. 34ページの手順3以降の操作で、ルート探索を開始する

走行軌跡をルートに使う

本機に保存された走行軌跡をルートに変換することができます(これを軌跡変換ルート探索といいます)。複雑な抜け道やよく使う近道などの軌跡を保存しておけば、その軌跡部分をルートの一部に使うことができます。

参照 走行軌跡の保存のしかた 「走行軌跡を登録・編集する」(P.145)



ルート探索の対象外の、道幅5.5m未満の道路(細街路)もルートとして利用できます。軌跡ルート部分は黄色で表示されます。

軌跡変換ルート探索を行う際は、「地図の初期設定」メニューの「軌跡表示」(P.161)をONにしてください。

軌跡変換ルートの始点と終点は立寄地の扱いとなるため、立寄地指定(P.43)が3カ所までになります。

使用できる走行軌跡は1データのみです。複数指定はできません。

目的地の後は指定できません。

軌跡変換ルート探索は、走行軌跡を使わないときよりも、ルート探索にかかる時間が長くなります。

走行軌跡データによっては、ルートに変換できない場合があります。

軌跡変換ルートの部分では、音声案内や交差点拡大図が出ない場合があります。

「軌跡使用」で設定したルートを走行中にリルート(オートリルートを含む)すると、指示した軌跡を使用しないルートになることがあります。「軌跡使用」で設定したルートを走行するときは、「ルートの初期設定」メニューの「オートリルート」(P.162)や「リアルタイムリルート」(P.162)をOFFにしておくことをおすすめします。

「軌跡使用」で設定したルート走行中のリルートは、探索に時間がかかることがあります。

- 34ページの手順1～2の操作で、行き先となる場所を決める
- 【軌跡使用】を選び、〔決定〕ボタンを押す
- 軌跡名を選び、〔決定〕ボタンを押す



4. 【決定】を選び、〔決定〕ボタンを押す



軌跡使用をやめるときには
手順 2 以降の操作をもう一度行って、チェックマークが付いた走行軌跡を選び、〔決定〕ボタンを押してください。(チェックマークが消え、走行軌跡は使用されなくなります。)

MEMO

使用する走行軌跡を確認したいときは、【確認】を選んで〔決定〕ボタンを押してください。操作方法は、「走行軌跡を地図上に表示する」(P.147)をご覧ください。

5. 34ページの手順3以降の操作で、ルート探索を開始する

Chapter 3

場所を探す

この章の内容

名前を入力して探す	52
住所を指定して探す	54
ジャンルを指定して探す	56
電話番号を入力して探す	60
郵便番号を入力して探す	61
最近探した場所から探す	62
登録した場所から探す	63
近くのカソリンスタンドなどを探す	65
緯度経度を入力して探す	67
検索におけるデータベースについて	68

名前を入力して探す

例えば「パイオニア本社」なら「はいおにあほん」というように、会社やお店などの名前の読みを入力して場所を探すことができます。読みを全部入力する必要はなく、わかっている部分だけを入力します。1文字入力するごとに検索対象が絞られていきます。絞り込んだ検索対象をリスト表示させ、目的の場所をリストから選んでください。



名前は、最大10文字まで指定できます。濁音(゜)や半濁音(゜)の入力は不要です。名前による絞り込みの結果、検索対象が1万件以下になると、ジャンルやエリア(都道府県など)での絞り込みも可能になります。部分一致(入力した文字が一部のみ一致する場所)では検索対象が多すぎる場合、絞り込みができるまで、自動的に完全一致(入力した文字が全て一致する場所)での検索となります。部分一致、完全一致の種類および絞り込まれている件数は、入力した文字の横に表示されます。

1. メインメニューの【場所を探す】を選び、
〔決定〕ボタンを押す



2. 【名前を入力して探す】を選び、〔決定〕
ボタンを押す



3. 見たい場所の読みを入力する



MEMO

10キーで入力することもできます。文字入力のしかたは、「文字を入力する」(P.28)をご覧ください。

4. 【リスト】を選び、〔決定〕ボタンを押す



5. 探したい場所の名前を選び、〔決定〕ボタンを押す



6. 【地図】を選び、〔決定〕ボタンを押す



このメッセージが表示されている間に、〔戻る〕ボタンを押すと、検索の画面に戻る。

MEMO

手順6の操作で【詳細情報】を選んで〔決定〕ボタンを押すと、詳細情報が表示されます。

インターネットに接続できる環境にしておくと、詳細情報で表示される【インターネット】を選んで〔決定〕ボタンを押すだけで、その施設に関連するホームページにアクセスできます（ダイレクトインターネットアクセス）。

手順6の操作で【電話】を選んで〔決定〕ボタンを押すと、携帯電話から電話をかけられます。詳しくは、「携帯電話を利用する」（P.110）をご覧ください。

ジャンルで絞り込む

手順4の操作で【ジャンル】を選んで〔決定〕ボタンを押すと、ジャンルによる絞り込みができます。

表示されたジャンル名を順次選んで〔決定〕ボタンを押していくと、検索対象が絞り込まれます。【リスト】を選んで〔決定〕ボタンを押すと、ジャンルで絞り込まれたリストが表示されます。

エリア（都道府県）で絞り込む

手順4の操作で【エリア】を選んで〔決定〕ボタンを押すと、エリア（都道府県）による絞り込みができます。

表示された都道府県名や市区町村名を順次選んで〔決定〕ボタンを押していくと、検索対象が絞り込まれます。【リスト】を選んで〔決定〕ボタンを押すと、エリアで絞り込まれたリストが表示されます。

住所を指定して探す

住所がわかっているときは、住所を指定して目的の地図を呼び出せます。政令指定都市の大部分で、「丁目番号」まで指定できます。ここでは、「東京都新宿区北新宿1-1-1」の地図を呼び出す場合を例に説明します。



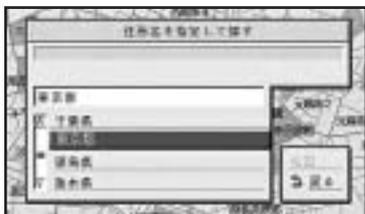
都道府県名、市区町村名、地名のリストでは、スケールコントローラーを「広域」側や「詳細」側に倒すと、50音の行（アカサタナ...）をとばしながら選ぶことができます。また、番地や号を指定するリストでは、10の桁ずつとばすことができます。

政令指定都市レベルの地域では、番地まで指定することができます。（一部の政令指定都市で番地を指定できない場合があります。また、一部、政令指定都市でなくても番地を指定できる地域もあります。）

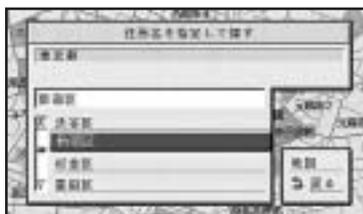
1. メインメニューの【場所を探す】を選び、〔決定〕ボタンを押す
2. 【住所を指定して探す】を選び、〔決定〕ボタンを押す



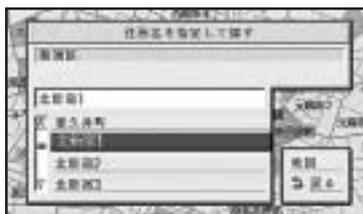
3. 都道府県名を選び、〔決定〕ボタンを押す



4. 市区町村名を選び、〔決定〕ボタンを押す



5. 地名(丁目)を選び、〔決定〕ボタンを押す



6. 番地を選び、〔決定〕ボタンを押す



MEMO

番地を指定できない地域ではこの操作は必要ありません。

7. 号を選び、〔決定〕ボタンを押す



MEMO

号を指定できない地域ではこの操作は必要ありません。

8. 【地図】を選び、〔決定〕ボタンを押す



このメッセージが表示されている間に、〔戻る〕ボタンを押すと、検索の画面に戻る。

ジャンルを指定して探す

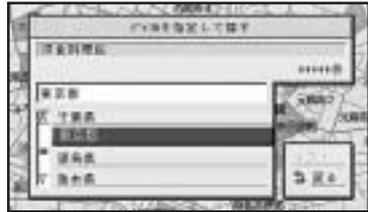
都道府県名や施設の分類などで検索対象を絞り込んでいき、該当するお店の名前をリストから選んで目的の地図を呼び出すことができます。ここでは、洋食料理店を選んで地図を呼び出す場合を例に説明します。



表示された場所がピンポイントでない場合は、その代表地点が市区町村レベルで「～周辺」、丁目レベルで「～付近」というメッセージで表示されます。

1. メインメニューの【場所を探す】を選び、〔決定〕ボタンを押す
5. 都道府県名を選び、〔決定〕ボタンを押す

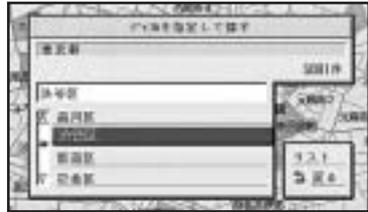
2. 【ジャンルを指定して探す】を選び、〔決定〕ボタンを押す



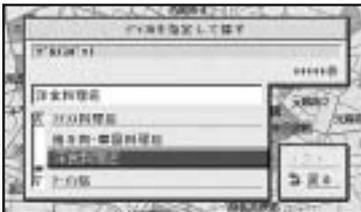
3. ジャンルを選び、〔決定〕ボタンを押す



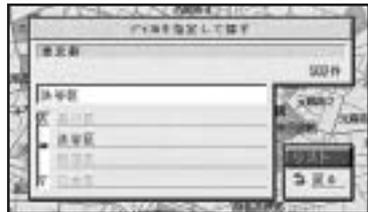
6. 市区町村名を選び、〔決定〕ボタンを押す



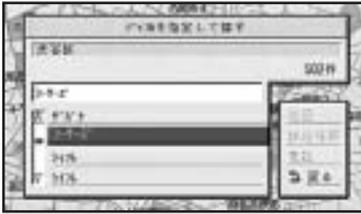
4. ジャンルの小分類を選び、〔決定〕ボタンを押す



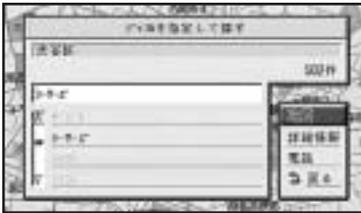
7. 【リスト】を選び、〔決定〕ボタンを押す



8. 店名を選び、〔決定〕ボタンを押す



9. 【地図】を選び、〔決定〕ボタンを押す



このメッセージが表示されている間に、〔戻る〕ボタンを押すと、検索の画面に戻る。

MEMO

手順9の操作で【詳細情報】を選んで〔決定〕ボタンを押すと、詳細情報が表示されます。

インターネットに接続できる環境にしておくと、詳細情報で表示される【インターネット】を選んで〔決定〕ボタンを押すだけで、その施設に関連するホームページにアクセスできます（ダイレクトインターネットアクセス）。詳細情報で表示される【画像】を選んで〔決定〕ボタンを押すと、その場所に設定された画像が表示されます。

手順9の操作で【電話】を選んで〔決定〕ボタンを押すと、携帯電話から電話をかけられます。詳しくは、「携帯電話を利用する」（P.110）をご覧ください。



一部の施設で、検索後に表示される位置と、地図上にその施設がある位置が異なることがあります。（例えば、高速道路の上り・下りで場所が大きく異なるサービスエリアなどは、上り・下りの中間点などが検索後の表示の際に使われます。）このような場合でも、ルート探索の際には、走行する道路や進行方向に合わせて、その施設を通るルートが探索されます。（検索した施設には、ルート探索時に使われる位置データが、表示用の位置データとは別に含まれています。）したがって、その施設を目的地にしたり、場所登録したりするときは、表示された位置から地図を一切スクロールせずに〔決定〕ボタンを押してください。

検索できるジャンルの種類

このジャンルでは...	こんな場所が呼び出せます
駅名(路線別)	全国の鉄道会社の駅
駅名(50音)	
高速道路(路線別)	全国のインターチェンジ、ジャンクション、サービスエリア、
高速道路(50音)	パーキングエリア
交差点、	全国の主な交差点
交差点(50音)	
空港	全国の主な空港
フェリーターミナル	全国の主なフェリーターミナル
公共施設	国の機関、警察、消防署、灯台、保健所、役所、郵便局
道の駅・旅の駅	全国の主なドライブイン
金融機関	都市銀行、地方銀行、第2地方銀行、その他銀行、信用金庫、証券会社
グルメスポット	ファーストフード、ファミリーレストラン、和食料理店、うどん・そば店、寿司屋、うなぎ料理店、お好み焼屋、おでん屋、日本料理店、とんかつ・串かつ料理店、てんぷら料理店、なべ料理店、鳥料理店、洋食料理店、中華料理店、ラーメン店、カレー店、喫茶店、イタリア料理店、焼き肉・韓国料理店、海鮮料理店、フランス料理店、ピザハウス、スパゲティ専門店、ステーキハウス、地ビール、地ワイン、その他料理店
宿泊施設	旅館、ホテル、ペンション、民宿、公共宿舎
プレイスポット	公園、遊園地、リゾート施設、キャンプ場、温泉・ヘルスセンター・サウナ、動物園、植物園、水族館、博物館、美術館、図書館、天文台、プラネタリウム、映画館、劇場・寄席、カラオケボックス、ライブハウス、ゲームセンター、ディスコ、公営ギャンブル場、パチンコ、
スポーツスポット	ゴルフ場、ゴルフ練習場、スキー場、スケート場、ヨットハーバー、プール、テニスコート、バッティングセンター、釣り堀、バス釣り場、レンタサイクル、ボウリング場、ビリヤード場、野球場、トレーニングセンター、競技場、スポーツ施設
季節の味覚スポット	あまなつ狩り、いちご狩り、いも掘り、かき狩り、キウイ狩り、きのご狩り、くり拾い、さくらんぼ狩り、しいたけ狩り、潮干狩り、たけのご狩り、とうもろこし狩り、トマト狩り、なし狩り、ぶどう狩り、プラム狩り、ブルーベリー狩り、プルーン狩り、まつたけ狩り、みかん狩り、もも狩り、りんご狩り
おすすめスポット	川・野遊び、紅葉名所、さくら名所、自然100選、滝100選、渚、白浜青松、祭り・イベント、名山100選、名木100選、森100選、夜景、湧水

次ページに続く

このジャンルでは...	こんな場所が呼び出せます
自動車	カー用品店、ガソリンスタンド、カーディーラー、駐車場、整備工場、ロードサービス、洗車場、レンタカー、中古車販売
おみせ	コンビニ、スーパー、百貨店、家電店、ディスカウントストア、ホームセンター、書店、スポーツ用品店、薬局・薬店、手・工芸品店、お土産屋、医療品・化粧品店、レンタルCD・ビデオショップ、レンタルショップ、酒屋、プレイガイド、家具・インテリア店、文具・雑貨店、自転車・バイク店、花屋・園芸店、めがね店、くつ店、衣料品店、レコード店、おもちゃ屋、ペットショップ、お菓子・ケーキ店、パン店、市場
病院	総合病院、医院・診療所、内科、外科、小児科、歯科、眼科、耳鼻咽喉科、産婦人科、皮膚科、動物病院・獣医師
教育施設	保育園、幼稚園、小学校、中学校、高校、大学、各種専修学校、その他
その他	パイオニア及び関連会社、観光案内、観光バス、キリスト教教会・修道院、寺院・仏教教会、神社、霊園、結婚式場、峠



「おすすめスポット」や、「その他」の峠など、自然を対象とした検索では、周囲に道路がないポイントが表示されることがあります。このような場所までのルートを探索するときは、近くの道路上に目的地を設定してください。周囲に道路がない場所を目的地にすると、ルート探索できないことがあります。

電話番号を入力して探す

電話番号を指定するだけで目的の場所付近の地図をすばやく呼び出せます。



市外・市内局番は必ず入力してください。その他の番号は全桁入力しなくても検索可能です。

該当する電話番号がディスクに収録されていない場合や、全桁入力しなかった場合は局番地域の市区町村役場を検索します。局番が複数の地域にまたがっている場合は、そのいずれかの市区町村役場を検索します。

フリーダイヤル(0120-)、ダイヤルQ2(0990-)、携帯電話、短縮ダイヤルは、対象外です。

MEMO

地図の画面で10キーの〔0〕を押すと、手順3の画面が表示されます(「10キーをカスタマイズする」(P.180)でボタンを変更できます)。

1. メインメニューの【場所を探す】を選び、〔決定〕ボタンを押す
2. 【電話番号を入力して探す】を選び、〔決定〕ボタンを押す



3. 10キーで電話番号を入力すると、自動的に探し始めます。



このメッセージが表示されている間に〔戻る〕ボタンを押すと、検索の画面に戻る。

MEMO

ジョイスティックで入力することもできます。

入力のしかたは、「文字を入力する」(P.28)をご覧ください。

市外・市内局番以降、全桁入力する前に検索するときは、【探す】を選んで〔決定〕ボタンを押してください。

郵便番号を入力して探す

7桁の郵便番号を指定するだけで目的の場所付近の地図をすばやく呼び出せます。



郵便番号は、7桁すべて入力してください。

事業所などの郵便番号では、該当する場所の地図が表示されます。ただし、事業所などの郵便番号は、一部収録されていないものもあります。

1. メインメニューの【場所を探す】を選び、〔決定〕ボタンを押す
2. 【郵便番号を入力して探す】を選び、〔決定〕ボタンを押す



3. 10キーで郵便番号を入力する
全桁入力すると、自動的に探し始めます。



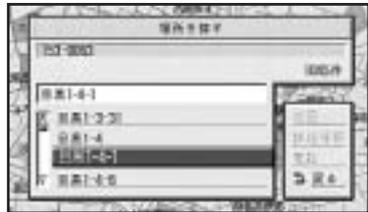
郵便番号に該当する地域がリスト表示されます。

MEMO

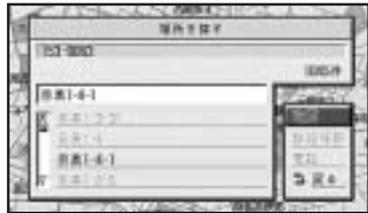
ジョイスティックで入力することもできます。

入力のしかたは、「文字を入力する」(P.28)をご覧ください。

4. 探したい場所の地名を選び、〔決定〕ボタンを押す



5. 【地図】を選び、〔決定〕ボタンを押す



このメッセージが表示されている間に、〔戻る〕ボタンを押すと、検索の画面に戻る。

最近探した場所から探す

以前に調べた場所は過去50件まで自動的に記憶されています。同じ場所をもう一度すばやく呼び出すことが可能です。

1. メインメニューの【場所を探す】を選び、〔決定〕ボタンを押す
2. 【最近探した場所から探す】を選び、〔決定〕ボタンを押す



リストから最近探した場所を消したいときは

最近探した場所を消して、リストを整理することができます。操作方法は、「最近探した場所を消す」(P.151)をご覧ください。

3. 呼び出したい場所の名前を選び、〔決定〕ボタンを押す



このメッセージが表示されている間に、〔戻る〕ボタンを押すと、検索の画面に戻る。

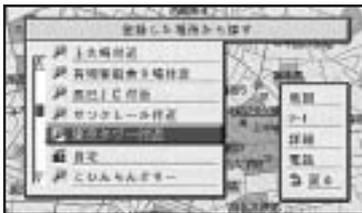
登録した場所から探す

よく行く友人宅やお気に入りのレストランなどをあらかじめ登録(P.80)しておけば、登録した場所の地図をすばやく呼び出すことができます。

1. メインメニューの【場所を探す】を選び、〔決定〕ボタンを押す
2. 【登録した場所から探す】を選び、〔決定〕ボタンを押す
3. 呼び出したい場所の名前を選び、〔決定〕ボタンを押す
4. 【地図】を選び、〔決定〕ボタンを押す



3. 呼び出したい場所の名前を選び、〔決定〕ボタンを押す



このメッセージが表示されている間に、〔戻る〕ボタンを押すと、検索の画面に戻る。

リストから登録した場所を消したいときは

登録した場所を消して、リストを整理することができます。操作方法は、「登録した場所を消す」(P.90)をご覧ください。

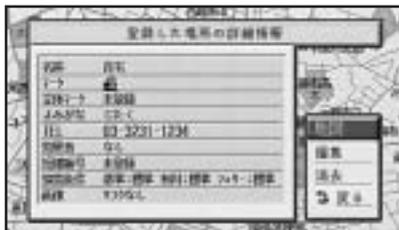
登録した場所のリストを並べ替える
手順4の操作で【ソート】を選んで〔決定〕ボタンを押すと、リストを次のような順序に並べ替えることができます。



- 入力順(登録した時間順)
- 文字コード順
- 呼び出し頻度順
- マークの多い順
- 最近探した順
- マークの表の順
- よみがなの順

希望の並び順を選んで〔決定〕ボタンを押してください。

登録した場所の詳細情報を見る
手順4の操作で【詳細】を選んで〔決定〕ボタンを押すと、登録した場所の詳しい情報を見ることができます。



- 詳細情報で【編集】を選んで〔決定〕ボタンを押すと、詳細情報を変更できます(P.83)。
- 詳細情報画面で【消去】を選んで〔決定〕ボタンを押すと、その登録した場所を消去できます(P.90)。

詳細情報を確認し終わったら、〔戻る〕ボタンを押してください。

登録した場所に電話をかける

携帯電話を接続していて、登録した場所に電話番号を入力していれば、手順4の操作で【電話】を選んで〔決定〕ボタンを押すと、登録した場所に電話をかけることができます。

近くのガソリンスタンドなどを探す

近くにあるガソリンスタンドやコンビニを探して、ドライブ中にちょっと立ち寄るなど、現在地やスクロールした場所から約7.5km四方周辺にある施設を検索できます(周辺検索)。検索した施設は、地図上にロゴマーク表示されるので目印にできます。



電源をOFFにすると検索した施設のロゴマーク表示は消えます。
周辺検索で指定できるジャンルは1つのみです。複数指定はできません。
一部の地域で情報が収録されていないことにより、機能しないことがあります。

1. メインメニューの【場所を探す】を選び、〔決定〕ボタンを押す
2. 【周辺から探す】を選び、〔決定〕ボタンを押す



3. 探したいお店のジャンルを選び、〔決定〕ボタンを押す



選んだジャンルにチェックマークが付く。

MEMO

駐車場とATMでは、営業時間を考慮して、現在利用できる施設と利用できない施設が区別されて表示されます(営業時間考慮検索)。

4. 【終了】を選び、〔決定〕ボタンを押す



5. 【次へ進む】または【前へ戻る】を選び、〔決定〕ボタンを押す



矢印が移動して、画面に店名が表示される。

MEMO

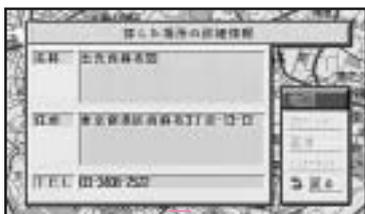
手順5の画面で〔迂回〕ボタンを押し続けると、メニュー表示や他のマークが消え、矢印が示しているところが見やすくなります。

【表示選択】を選んで〔決定〕ボタンを押すと、手順3のジャンル指定の画面に戻ります。

6. 【これを見る】を選び、〔決定〕ボタンを押す



7. 【地図】を選び、〔決定〕ボタンを押す



このメッセージが表示されている間に〔戻る〕ボタンを押すと、検索の画面に戻る。

店名まで細かく指定したいときは

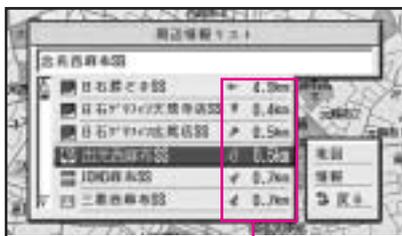
手順4で【詳細選択】を選んで〔決定〕ボタンを押すと、会員カードを持っているお店など、特定のお店だけを探せます。



- 店名を選んで〔決定〕ボタンを押した後、【終了】を選んで〔決定〕ボタンを押すと、選んだお店だけが表示されます。
- 上の画面で【他選択】を選んで〔決定〕ボタンを押すと、手順3のジャンル指定の画面に戻ります。

近い順に並んだ店名のリストから指定したいときは

手順5で【リスト】を選んで〔決定〕ボタンを押すと、検索された周辺施設が近い順にリスト表示されます。



自車マーク、または十字カーソルの位置からの方角と距離

- 上の画面で見たいお店を選んで〔決定〕ボタンを押した後、【地図】を選んで〔決定〕ボタンを押すと、そのお店の地図が表示されます。
- 【情報】を選んで〔決定〕ボタンを押すと、選んだお店の詳細情報が表示されます。

表示させたロゴマークを消すには
手順4で【選択解除】を選んで〔決定〕ボタンを押すと、「周辺で探す」で表示させたロゴマークが地図上から消えます。

緯度経度を入力して探す

緯度・経度がわかる地図帳などで緯度・経度がわかっているときには、その値を指定して目的の地図を呼び出すことができます。

1. メインメニューの【場所を探す】を選び、
〔決定〕ボタンを押す
2. 【緯度経度を入力して探す】を選び、
〔決定〕ボタンを押す



3. 10キーで緯度と経度を入力する
全桁入力すると、自動的に探し始めます。



このメッセージが表示されている間に
〔戻る〕ボタンを押すと、検索の画面に
戻る。

MEMO

ジョイスティックで入力することもできます。

入力のしかたは、「文字を入力する」
(P.28)をご覧ください。

検索におけるデータベースについて

検索時に表示されるポイント（位置）は必ずしもピンポイントではなく、ベースとなっているデータによっては、表示されるポイントが実際のポイントと離れている場合があります。

タウンページデータについて

NTTタウンページをもとに位置データの整備を行っています。もとのデータそのものが間違っている場合もあります。また、住所番地が広大な場所やもとのデータからは該当施設を特定できない場所では、代表地点が表示されます。

検索後の画面上のメッセージで、「～周辺」と表示される場合は市区町村レベルでの代表地点、「～付近」と表示される場合は丁目、街区レベルでの代表地点を表しています。

ピンポイント表示されない場所を目的地としてルートを設定した場合は、その施設から離れた場所が最終の案内地となる場合があります。

おすすめスポット検索などの自然系データについて

施設を表す検索ポイントではなく、場所そのものや、山や川などの自然物を表す検索データについては、その代表地点が表示されます。

季節の味覚スポット検索のデータについて

実際の農園と離れた場所が表示されることがあります。その場合は、その農園を管理している施設が表示されます。

電話番号検索のデータについて

電話番号検索のデータとしては、「タウンページ」約1,100万件のデータと、個人宅などの約3,800万件のデータが収録されています。

個人宅の電話番号データは、プライバシーの問題により、その該当地点をピンポイントで表示することはできません。この場合は、町村丁目レベルの代表地点が表示されます。

ロゴマーク表示について

ロゴマークの表示されるポイントは、実際の場所とは異なっている場合があります。

NTTタウンページのデータがピンポイントで表現できないような場合は、そのエリアの代表地点にロゴマークが表示されます。

営業時間考慮周辺検索について

営業時間を考慮するのはATM・駐車場のみで、隔週休日、不定期休日には対応していません。

営業時間考慮周辺検索では、1999年4月から2000年3月までの1年間のカレンダーに基づいた休日データが収録されています。2000年4月以降は、体育の日が10月第2月曜日、成人の日が1月第2月曜日となるため、この2つの祝日による休業日がずれる可能性があります。（本機では、実際のカレンダーと異なり10月10日、1月15日の両日が休日扱いになります。）

Chapter 4

案内中のルート

この章の内容

行き先までの新たなルートを再探索する	70
渋滞などを迂回する	71
案内中のルートに立寄地を追加する	72
案内中のルートの立寄地を削除する	73
案内中のルートの立ち寄り順序を変える	74
ルートの案内順を確認する	75
案内中のルートを登録する	76
案内中のルートを帰り道にする	77
案内中のルートを消す	78

行き先までの新たなルートを再探索する

突然の工事などによる回り道など、大幅にルートを外れてしまった場合、今まで設定されていたルートをキャンセルして、同じ行き先へのルートを再計算し、新たなルートを探索することができます(全ルート再探索)。



〔リルート〕ボタンによる全ルート再探索はスクロール画面やメニューが表示されているときは機能しません。〔現在地〕ボタンを押してから、操作を始めてください。すでに通過した立寄地は、ルートの再探索を行っても考慮されません。

ワンタッチ操作で行う場合

この場合は、最も効率のよいルートが1本だけ探索され、自動的に設定されます。

1. 〔リルート〕ボタンを押す



探索し終わると、ルートが修正され、自動的に地図画面に戻る。

メニュー操作で行う場合

この場合は、通常のルート探索と同様の操作になります。

1. メインメニューの【案内中のルート】 【再び探索する】を選び、〔決定〕ボタンを押す



2. 34ページ手順3以降の操作を行い、ルート探索を開始する

渋滞などを迂回する

前方の道路の渋滞などを迂回するような場合には、ワンタッチでルートを修正できます。



〔迂回〕ボタンによる迂回路探索はスクロール画面やメニューが表示されているときは機能しません。〔現在地〕ボタンを押してから、操作を始めてください。

購入した直後の迂回距離は、1kmです。

迂回する距離は、必ずしも指定した距離になるとは限りません。

ワンタッチ操作で行う場合

この場合は、最後にメニュー操作で指定した距離を迂回するルートが探索されます。

1. 〔迂回〕ボタンを押す



探索が終わると、ルートが修正され、自動的に地図画面に戻る。

メニュー操作で行う場合

この場合は、距離を指定した迂回路探索ができます。

1. メインメニューの【案内中のルート】

【迂回する】を選び、〔決定〕ボタンを押す



2. 距離を選び、〔決定〕ボタンを押す



探索が終わると、ルートが修正され、自動的に地図画面に戻る。

案内中のルートに立寄地を追加する

案内中のルートに、新たな立寄地を追加できます。急に寄らなくてはならない場所が増えた場合にルートを引き直してくれます。初めて追加する場合と、案内中のルートに立寄地がある場合とでは、操作の流れが一部異なります。

初めて追加する場合

1. メインメニューの【案内中のルート】
【立寄地を加える】を選び、〔決定〕ボタンを押す



2. 37ページの手順4～8の操作で、立寄地を追加する
3. 34ページの手順3以降の操作で、ルート探索を開始する

すでに立寄地がある場合

1. メインメニューの【案内中のルート】
【立寄地を加える】を選び、〔決定〕ボタンを押す

2. 目的地/立寄地リストの【追加】を選び、〔決定〕ボタンを押す



3. 追加する位置を選び、〔決定〕ボタンを押す



4. 43ページの手順3以降の操作で、追加する立寄地の場所を決める
5. 目的地/立寄地リストの【終了】を選び、〔決定〕ボタンを押す
6. 34ページの手順3以降の操作で、ルート探索を開始する

案内中のルートの立寄地を削除する

立ち寄る必要がなくなった場合など、案内中のルートから立寄地を削除することができます。立寄地を削除すると、残った立寄地を通るルートに修正されます。

1. メインメニューの【案内中のルート】
【立寄地を加える】を選び、〔決定〕ボタンを押す
2. 目的地／立寄地リストの【削除】を選び、
〔決定〕ボタンを押す



3. 削除する立寄地を選び、〔決定〕ボタンを押す



4. 目的地／立寄地リストの【終了】を選び、
〔決定〕ボタンを押す
5. 34ページの手順3以降の操作で、ルート探索を開始する

案内中のルートの立ち寄り順序を変える

予定変更などで立ち寄り順序が変わった場合には、案内中のルートの立ち寄り順序を変えることができます。立ち寄り順序を変えると、その順序に従ったルートに修正されません。



案内中のルートでは、オートで並べ替えることはできません。

1. メインメニューの【案内中のルート】
【立ち寄地を加える】を選び、〔決定〕ボタンを押す
2. 目的地 / 立ち寄りリストの【ソート】を選び、〔決定〕ボタンを押す



3. 45ページの手順3～6の操作で、立ち寄り順序を指定する
4. 目的地 / 立ち寄りリストの【終了】を選び、〔決定〕ボタンを押す



5. 34ページの手順3以降の操作で、ルート探索を開始する

ルートの案内順を確認する

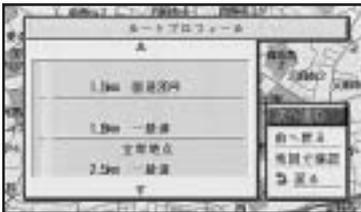
出発地から行き先までの間に通る道路名や区間距離、有料道路を使うときはその料金などの情報(ルートプロフィールといいます)を表示できます。また、ルートをなぞるように地図を動かす「ルートスクロール」で、案内中のルートをひとつおき確認することも可能です。

ルートプロフィールで確認する

1. メインメニューの【案内中のルート】
【確認する】を選び、〔決定〕ボタンを押す



2. 【次へ進む】や【前へ戻る】を選び、〔決定〕ボタンを押す
先の情報や前の情報に切り換わります。

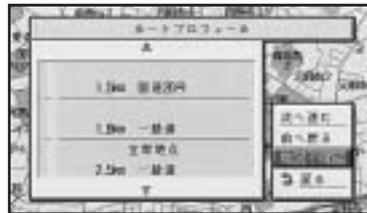


ルートプロフィール

3. 確認し終わったら、【戻る】を選んで
〔決定〕ボタンを押す

ルートスクロールで確認する

1. メインメニューの【案内中のルート】
【確認する】を選び、〔決定〕ボタンを押す
2. ルートプロフィール画面の【地図で確認】を選び、〔決定〕ボタンを押す



3. 先に進むときはジョイスティックを右に、前に戻るときは左に倒す
しばらく倒し続けてからジョイスティックを離すと、後は自動的に動きます。
止めるときはジョイスティックを逆方向に倒してください。



ルートスクロールモード

案内中のルートを登録する

地図上に表示されたルートを登録することができます。登録したルートは、後で呼び出して、利用することができます。



ルートは、最大10本まで登録できます。

登録時には出発地と目的地、立寄地の位置、探索条件の情報のみが保存されます。ルートと呼び出した際は、この情報を元にルートが探索されます(登録時と同じ道順になるとは限りません)。

軌跡使用を指定したルートでは走行軌跡の情報も保存されますが、該当する走行軌跡を消去した場合には、そのルートと呼び出しても軌跡使用は反映されません。

ルートの登録時には、自動的に「目的地付近の地名+「付近」」という名前が付きます。この名前は任意に変更できます。

1. メインメニューの【案内中のルート】
【登録する】を選び、〔決定〕ボタンを押す



名前を入力して登録するには
手順2で【名前を変更する】を選んで〔決定〕
ボタンを押すと、ルートの名前を入力でき
ます。

参照 登録するルートの名前の変更かた
「文字を入力する」(P.28)

登録したルートと呼び出すには
登録したルートは、いつでも必要に応じて
呼び出して、ルート案内させることができ
ます。

参照 登録したルートの呼び出しかた
「登録したルートと呼び出す」
(P.142)

2. 【登録】を選び、〔決定〕ボタンを押す



案内中のルートを帰り道にする

目的地に到着後、現在位置から出発地に向けて、簡単に帰り道のルートが設定できます。



最初にルート探索を行ったときの出発地が帰りの目的地になります。オートリルートや全ルート再探索などによって変更された出発地は、帰り道の対象にはなりません。

立寄地は消去されます。

そのときの交通状況にあったルートが再探索されるため、行きのルートと同じルートになるとは限りません。

1. メインメニューの【案内中のルート】
【出発地へ帰る】を選び、〔決定〕ボタン
を押す



2. 34ページの手順3以降の操作で、ルート探索を開始する

案内中のルートを消す

案内中のルートが不要になったときは、次の手順で操作して消去できます。

また、目的地に到着後、一度電源を切ると自動的にルートの道塗りが消去されますが、目的地マークなどは残ったままです。残った目的地マークは、ここで説明する操作で消去できます(新たなルートを設定すると、自動的に残った目的地マークも消去されます)。

1. メインメニューの【案内中のルート】

【消す】を選び、〔決定〕ボタンを押す



このメッセージが表示されている間(約8秒間)は、〔戻る〕ボタンを押すことで消去を取り消すことができる。

(〔現在地〕ボタンを押したり、ジョイスティックを倒したりすると、メッセージはすぐに解除される。)

Chapter 5

登録する場所

この章の内容

友人宅などを登録する	80
自宅を登録する	81
回避地を登録する	82
登録した場所の詳細情報を編集する	83
登録した場所を消す	90

友人宅などを登録する

気に入ったレストランや友人宅など忘れたくない場所にマークを付けて登録できます。



最大100ヶ所まで登録できます。

登録時には、自動的に「施設名や周辺の地名+“付近”」という名前が付きます。(【登録する場所】 【探して決める】で探した場所をそのまま登録するときは、“付近”は付きません。)また、地図上に表示されるマークは虫ピンのマークが付きます。

自動的に付けられた名前やマークは、わかりやすい名前やお好みのマークに変更できます。

1. メインメニューの【登録する場所】

【地図で決める】を選び、〔決定〕ボタンを押す



3. 【登録】を選び、〔決定〕ボタンを押す



登録した場所のマーク

MEMO

次の方法で場所を探すことも可能です。

【画像で決める】：位置情報（緯度・経度情報）が記録されている画像から、その場所を探すとき（画像について詳しくは P.87）

【探して決める】：地名などで探す（P.51）

【ここにする】：すでに登録したい場所に十字カーソルを合わせてあるとき

2. 登録したい場所に十字カーソルを合わせ、〔決定〕ボタンを押す



MEMO

登録する前に名前やマークなどを変更したいときは、変更したいメニュー項目を選んで〔決定〕ボタンを押します。詳しくは、83ページ以降の説明をご覧ください。

自宅を登録する

本機に自宅の場所を登録しておく、ドライブ先から自宅へ帰る際、ルート設定が簡単に行えるようになります。



自宅登録の操作を行うと、「自宅」という名前と「じたく」というよみがなが自動的に入力されます（本機は、「じたく」というよみがなが登録された場所を自宅として認識します）。

自宅登録した場所には、自宅マークが設定されます。

自宅ルート探索時は、よみがなが「じたく」の登録地が対象となります。

よみがなを「じたく」で登録できるのは、1カ所のみです。

1. 80ページの手順1～2の操作で、自宅のある場所に十字カーソルを合わせ、〔決定〕ボタンを押す
2. 【「自宅」で登録する】を選び、〔決定〕ボタンを押す
3. 【登録】を選び、〔決定〕ボタンを押す



自宅マーク

回避地を登録する

工事中や通行止めなど前もって通りたくない場所があるときは、その場所を「回避地」として登録しておくことができます。以降、回避地として登録した場所を避けるルートが探索されます。



回避地は最大5ヶ所まで登録できます。

回避地登録の操作を行うと、自動的に「回避地1」～「回避地5」という名前が入力されます。

回避地登録した場所には、回避地マーク(×)が設定されます。

回避地として登録した場所は、名前やマークを変えるなどの編集操作はできません。

ルート探索時に他に候補がない場合、回避地を通るルートが探索されることがあります。

1. 80ページの手順1～2の操作で、回避地にしたい場所に十字カーソルを合わせ、〔決定〕ボタンを押す

2. 【「回避地」で登録する】を選び、〔決定〕ボタンを押す



3. 【登録】を選び、〔決定〕ボタンを押す



回避地マーク

登録した場所の詳細情報を編集する

名前、マーク、よみがな、電話番号、効果音といった、登録した場所の詳細情報は、後から変更することができます。

名前を変更する



全てひらがなで名前を入力すると、よみがなも自動的にその名前を入力されます。

全角で10文字(半角で20文字)まで入力できます。

1. メインメニューの【その他の操作】
【データを編集する】を選び、〔決定〕ボタンを押す



2. 【登録した場所】を選び、〔決定〕ボタンを押す



3. 【編集】を選び、〔決定〕ボタンを押す



4. 登録した場所を選び、〔決定〕ボタンを押す



5. 【名前を変更する】を選び、〔決定〕ボタンを押す



6. 名前を入力(P.28)し、【終了】を選んで〔決定〕ボタンを押す
7. 「登録地を編集する」の画面で【終了】を選び、〔決定〕ボタンを押す

マークを変更する

2D地図上に表示されるマークを変更できます。

1. 83ページの手順1から4までの操作で、マークを変更する場所を決める
2. 【マークを変更する】を選び、〔決定〕ボタンを押す



3. 新しいマークを選び、〔決定〕ボタンを押す



4. 「登録地を編集する」の画面で【終了】を選び、〔決定〕ボタンを押す

登録した場所の名前を地図上に表示させる

以下のマークを選ぶと、マークに加え登録した場所の名前も地図上に表示されます。



このマークを指定する。

立体マークを変更する

立体マークを設定しておくと、3D地図のときに立体的なマークで表示されます。



立体マークを設定していないときは、2D地図と同じマークで表示されます。2kmよりも広域の地図では、2D地図と同じマークで表示されます。

1. 83ページの手順1から4までの操作で、立体マークを変更する場所を決める
2. 【立体マークを変更する】を選び、〔決定〕ボタンを押す



3. 新しい立体マークを選び、〔決定〕ボタンを押す

項目のランプを黄色で点灯させます。設定を取り消すときは、ランプを消灯させます。



4. 【終了】を選び、〔決定〕ボタンを押す
5. 「登録地を編集する」の画面で【終了】を選び、〔決定〕ボタンを押す

よみがなを変更する

よみがなを設定しておく、音声で操作する際にそのよみがなで登録地を呼び出せるようになります。



全角で10文字まで登録できます。

よみがなは、ボイスコントロール対応のナビゲーションで音声操作で呼び出すために使用します。ボイスコントロール未対応の場合、よみがなは不要です。

「ん」「っ」など日本語として発声できない音声操作のよみがなは付けしないでください。

「げんざいち」など、音声認識語(P.187)と同じよみがなは付けしないでください。誤動作の原因になります。

1. 83ページの手順1から4までの操作で、よみがなを変更する場所を決める
2. 【よみがなを変更する】を選び、〔決定〕ボタンを押す



3. よみがなを入力(P.29)し、【終了】を選んで、〔決定〕ボタンを押す
4. 「登録地を編集する」の画面で【終了】を選び、〔決定〕ボタンを押す

MEMO

10キーの〔6〕を押すと、名前のリスト表示をよみがなの表示に切り換えられます。同じ操作で名前の表示に戻ります。

電話番号を変更する

電話番号を設定しておく、電話番号からその場所を検索できるようになります。また、携帯電話を接続していれば、簡単にその場所に電話をかけられます。



半角で13桁まで登録できます。ハイフン(-)を含めて入力することも可能です。

ジャンル検索などで呼び出した施設などをそのまま登録する場合、その施設に電話番号のデータがあれば、自動的にその番号が登録されます。

1. 83ページの手順1から4までの操作で、電話番号を変更する場所を決める
2. 【電話番号を変更する】を選び、〔決定〕ボタンを押す



3. 10キーで番号を入力(P.28)し、【終了】を選んで、〔決定〕ボタンを押す

MEMO

ジョイスティックで入力することもできます。

入力のしかたは、「文字を入力する」(P.28)をご覧ください。

4. 「登録地を編集する」の画面で【終了】を選び、〔決定〕ボタンを押す

効果音を変更する

効果音を設定しておくと、自転車マークが登録した場所に近づいたときに効果音が鳴ります。注意を要する場所に設定しておくとう便利です。

1. 83ページの手順1から4までの操作で、効果音を変更する場所を決める
2. 【効果音を変更する】を選び、〔決定〕ボタンを押す



3. 効果音を選び、〔決定〕ボタンを押す



4. 【決定】を選び、〔決定〕ボタンを押す



MEMO

【試聴】を選んで〔決定〕ボタンを押すと、効果音を聞くことができます。

5. 「登録地を編集する」の画面で【終了】を選び、〔決定〕ボタンを押す

効果音の鳴りかた

- 効果音を設定した登録地が、自転車マークから500m未満になると効果音が鳴ります。
- 登録地が複数ある場合は、最も近い場所の効果音が鳴ります。
- 効果音が鳴っているときに〔戻る〕ボタンを押すと、効果音が止まります。
- 効果音よりも、ルートやVICSの音声案内が優先されます。
- 一度効果音が鳴ると、30分経過するか、本機の電源をON/OFFしないと同じ場所の効果音は鳴りません。

画像を変更する

画像を設定しておく、自車マークが登録した場所に近づいたときにその画像を表示させることができます。また、デジタルカメラなどで撮影した画像を設定することもできます（デジカメリンク）。



あらかじめディスクに収録されている画像を設定することができます。

デジタルカメラなどで撮影した画像を設定するには、ナビゲーション本体に画像が保存されているPCカードをセットしてください。また、近づいたときに画像を表示させるには、その画像が保存されているPCカードをナビゲーション本体にセットしたままにしておく必要があります。

対応している画像形式は、デジタルカメラのexif形式および一般のjpeg形式の画像のみです。さらにファイル名として半角で8文字以内 + “.jpg” の拡張子（xxxxxxx.jpg）のファイルのみがナビゲーションのメニュー内の画像リストに表示されます。

ナビゲーション本体にPCカードスロットがない場合には、デジカメリンク機能は使用できません。

- 83ページの手順1から4までの操作で、画像を変更する場所を決める
- 【画像を変更する】を選び、〔決定〕ボタンを押す



- 画像を選び、〔決定〕ボタンを押す



MEMO

PCカードをセットしている場合は、PCカード内の “.jpg” ファイルもリストに表示されます。

- 【決定】を選び、〔決定〕ボタンを押す



MEMO

手順4で【画像を見る】を選んで〔決定〕ボタンを押すと、選んだ画像を確認できます。

手順4で【リンク解除】を選んで〔決定〕ボタンを押すと、画像がない設定になります。

- 【画像のみを使う】を選び、〔決定〕ボタンを押す



MEMO

あらかじめディスクに収録されている画像の中には、位置情報（緯度・経度）も合わせて記録されているものがあります。このような画像で、【この位置を使う】を選んで〔決定〕ボタンを押すと、画像に記録されている位置に変更されます。

5. 「登録地を編集する」の画面で【終了】を選び、〔決定〕ボタンを押す

画像表示のされかた

- 画像を設定した登録地が、自車マークから500m未満になると画像が表示されます。
- 登録地が複数ある場合は、最も近い場所の画像が表示されます。
- 距離が500m以上になったとき、または〔戻る〕ボタンを押すと、画像が消えます。
- 画像表示よりも、ルートやVICISの割込表示が優先されます。
- 一度画像の表示が終わると、30分経過するか、本機の電源をON/OFFしないと画像は表示されません。

位置情報が記録されている画像を新しく登録するときは

位置情報（緯度・経度）が記録されている画像をメインメニューの【登録する場所】

【画像で決める】で登録すると、自動的に画像に記録された位置とその画像がリンクされた状態で登録されます。

探索条件を変更する

登録した場所を行き先(または立寄地)にした場合に、ここで設定した条件でその場所までのルートが探索されます。ルート設定時に探索条件を毎回設定する手間が省けます。

1. 83ページの手順1から4までの操作で、探索条件を変更する場所を決める
2. 【探索条件を変更する】を選び、〔決定〕ボタンを押す



3. 条件(この例では【有料道路】)を選び、〔決定〕ボタンを押す



MEMO

〔決定〕ボタンを押すごとに、項目右のランプの点灯/消灯が切り換わります。この例では、〔決定〕ボタンを押して「優先」のランプを黄色く点灯させています。

4. 【終了】を選び、〔決定〕ボタンを押す



MEMO

【初期設定の条件に戻す】を選んで〔決定〕ボタンを押すと、「ルート of 初期設定」メニュー（P.162）の「ルート探索基準」「有料道路」「フェリー航路」での設定に戻ります。

5. 「登録地を編集する」の画面で【終了】を選び、〔決定〕ボタンを押す



登録した場所を行き先（または立寄地）にしてルート探索をするとき、ルート探索の操作中で探索条件を指定した場合も、その条件が自動的に登録した場所に記憶されます。

位置を移動する

- 83ページの手順1から4までの操作で、位置を変更する場所を決める
- 【場所を移動する】を選び、〔決定〕ボタンを押す



- 移動したい場所に十字カーソルを合わせ、〔決定〕ボタンを押す



- 「登録地を編集する」の画面で【終了】を選び、〔決定〕ボタンを押す

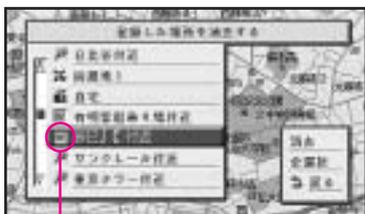
登録した場所を消す

不要になった場所は、消去することができます。

1. メインメニューの【その他の操作】
【データを編集する】を選び、〔決定〕ボタンを押す
2. 【登録した場所】を選び、〔決定〕ボタンを押す
3. 【消去】を選び、〔決定〕ボタンを押す
5. 【消去】を選び、〔決定〕ボタンを押す



4. 消去したい場所を選び、〔決定〕ボタンを押す



選んだ名前にチェックマークが付く。

MEMO

複数選ぶことができます。全部まとめて消去するときは【全選択】を選んで〔決定〕ボタンを押してください。



このメッセージが表示されている間（約8秒間）は、〔戻る〕ボタンを押すことで消去を取り消すことができる。（〔現在地〕ボタンを押したり、ジョイスティックを倒したりすると、メッセージはすぐに解除される。）

誤って必要な場所を消してしまったら消去した後何らかの操作をすると、消してしまった場所は元に戻りません。消してしまった場所に十字カーソルを合わせ、もう一度登録の操作(P.80)を行ってください。

MEMO

ナビゲーション本体にPCカードスロットがある場合は、PCカード「CNFC-8M」（別売）に、登録した場所を保存しておくことができます。

Chapter 6 VICS情報

この章の内容

VICSの概要	92
渋滞や交通規制などの地図情報を見る	94
VICS情報を簡易図形や文字で見る	98
今いる地域以外の放送局を選局する	100
ビーコンからの情報を見る	103
渋滞を考慮したルートを探索する	104
VICSセンターからの連絡を見る	105

VICSの概要

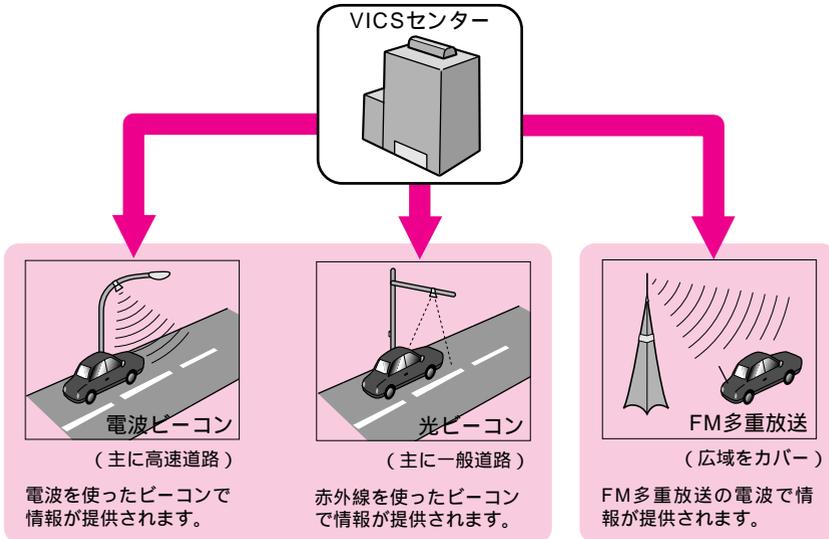
VICS情報を利用すると、ナビゲーションの画面上で「渋滞している道」を確認できるため、「渋滞の手前で空いている道に入り、快適にドライブする」というようなことができます。

VICSとは

VICS(Vehicle Information & Communication System : 道路交通情報通信システム) 1996年春、首都圏からサービスが開始された、最新の交通情報を車のドライバーに伝えるための通信システムです。VICS情報を受信すると、渋滞や事故、交通規制などの最新情報をナビゲーションの地図上に表示できます。また、簡単な地図イラストや文字で見ることができます。

VICS情報の提供方法

道路・交通に関するさまざまな情報は、一度VICSセンターに集められます。その後、次の3つの方法で、最新の道路交通情報(VICS情報)が提供されます。



ビーコンは、道路脇に一定間隔で設置された、VICSの情報を送信する装置です。設置された場所周辺の交通情報がここから送信されます。VICS用ビーコン受信機「ND-B3」（別売）で、ビーコンによるVICS情報を受信できます。

本機に内蔵のVICS/FM多重チューナーで、FM多重放送によるVICS情報を受信できます。

 VICS は、財団法人道路交通情報通信システムセンターの商標です。

VICS情報の表示形態

VICS情報には、レベル1からレベル3までの3種類の表示形態があります。ドライバーはVICSセンターから提供される、次のような道路交通情報を活用できます。

渋滞情報(順調情報も含む) 旅行時間情報 交通障害情報
交通規制情報 駐車場情報

レベル3：地図

レベル2：簡易図形

レベル1：文字



ナビゲーションの地図上に、直接、道路交通情報を表示します。



簡単な地図イラストなどで、道路交通情報を表示します。



文字により、道路交通情報を表示します。

渋滞や交通規制などの地図情報を見る

レベル3の表示形態では、VICSセンターから受信した道路交通情報を、渋滞の道塗りやVICS情報マークで地図上に表示します。

渋滞：	一般道路(赤色に白い縁どり)/高速道路(赤色に青い縁どり)
混雑：	一般道路(オレンジ色に白い縁どり)/高速道路(オレンジ色に青い縁どり)
順調：	一般道路(明るいブルーに白い縁どり)/高速道路(明るいブルーに青い縁どり)
規制区間表示：	黄色に黒い縁どり



VICS情報提供時刻表示：

オレンジ	情報が受信できている状態
ブルー	情報が受けられなくなって5分以上経過した状態
- - : - -	VICS情報が受信できない状態(受信開始時、または情報が受けられなくなって20分以上経過したとき。このときはVICS情報はクリアされる。)

VICS情報マークの種類

VICS情報により、次のようなマークも地図上に表示されます。メニューの操作でVICS情報マークの詳細を見ることも可能です。



駐車場(空き：青、混雑：オレンジ、満車：赤、不明：黒)



「VICSの初期設定」メニューの「FM多重チューナーの設定」(P.165)を「VICS/D-GPSダブル」に設定すると、VICSとD-GPSの両方の情報を切り換えながら受信するため、VICS情報の更新間隔が長くなる場合があります。

本機の電源をONにした後、受信したVICS情報を表示するまで時間がかかる場合があります。

VICS情報を表示する設定のときは、VICSの規定により走行中は道幅5.5m未満の道路(細街路)を表示しない仕様になっています。

希望するエリアの放送が受信できていないときは、「今いる地域以外の放送局を選局する」(P.100)をご覧になって希望するエリアの放送局に切り換えてください。

「VICSの初期設定」メニューの「FM多重チューナーの設定」(P.165)を「D-GPS」または「文字多重放送」にしたときは、FM多重チューナーはD-GPSまたはFM文字多重放送の情報だけを受信します(VICS情報は受信しません)。このため、VICS用ピーコン受信機「ND-B3」(別売)などが接続されていないと、VICS情報を見ることはできません。

VICS用ピーコン受信機「ND-B3」(別売)を接続した場合は、ピーコンからのVICS情報とFM多重放送によるVICS情報を同時に表示します。ただし、「順調表示」(P.164)をONに設定した場合は、地図上に道塗り表示する情報が多くなりすぎるのを防ぐため、道塗り情報に限りFM多重放送によるVICS情報だけが表示されます(FM多重放送のVICS情報が受信できないときは、ピーコンの情報が受信できた時点でピーコンの情報をもとに道塗り表示します)。

ハイウェイマップでは高速道路の渋滞の道塗りは、白い緑どりで表示されます。

「VICS情報提供時刻表示」の内容

本機のみの場合、FM多重のVICS情報提供時刻が表示されます(約5分ごとに更新されます)。

本機にVICS用ピーコン受信機「ND-B3」(別売)が接続されている場合は、FM多重とピーコンのVICS情報の両方の提供時刻が同時に表示されます(ピーコンの提供時刻は、レベル3:地図情報を受信して少し経つと更新されます)。

ただし、「VICSの初期設定」メニューの「FM多重チューナーの設定」(P.165)が「D-GPS」または「文字多重放送」のときは、FM多重での情報提供時刻は表示されません。(別売のVICS用ピーコン受信機「ND-B3」が接続されている場合には、ピーコン情報の提供時刻のみが表示されます。)

提供時刻の表示に時間がかかるときは「今いる地域以外の放送局を選局する」(P.100)をご覧になり、受信中の放送局の受信感度を確認してください。

2つの放送エリアにまたがって走行しているときは

本機ではどのレベルの表示形態でも、現在地周辺のVICS情報を残しておきながら、別のエリアのVICS情報(隣接する都道府県など)を表示できるので、県境など2つの放送エリアをまたがって走行しても必要な情報を逃さず見ることができます。

渋滞情報自動案内について

ルート案内中に、ルート上の渋滞情報が自動的に音声案内されるように設定できます。リアルタイムリルート(P.39)の結果、ルートが変わらなかった場合に渋滞が発生すると、「およそ3km先、渋滞が発生しています。」といった音声で、渋滞を案内します。「VICSの初期設定」メニューの「渋滞情報自動案内」(P.165)でON/OFFすることができます。

ルート上の渋滞情報を知りたいときは〔案内〕ボタンを2秒以上長く押すと、ルート上で最も近い渋滞情報までの距離を音声で案内します。同時に渋滞情報付近の地図を表示します。

VICS情報マークの詳細を見る

1. メインメニューの【VICS情報】【地図情報】を選び、〔決定〕ボタンを押す



2. 【次へ進む】または【前へ戻る】を選び、〔決定〕ボタンを押す



矢印が移動して、画面にそのマークの詳細が表示される。

MEMO

手順2の画面で〔迂回〕ボタンを押し続けると、メニュー表示や他のマークが消え、矢印が示しているところが見やすくなります。

3. 情報を見終わったら、【終了】を選んで〔決定〕ボタンを押す



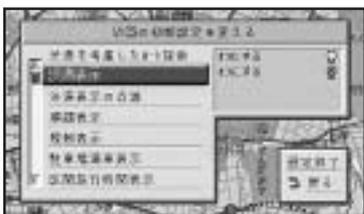
特定の情報だけが知りたいときは

VICSの初期設定を変えることで、道路の渋滞情報だけを表示させたり、駐車場の空き状況だけを表示させたりできます。

1. メインメニューの【VICS情報】【地図情報】を選び、〔決定〕ボタンを押す
2. 【初期設定】を選び、〔決定〕ボタンを押す



3. 設定を変えたい項目を選び、〔決定〕ボタンを押す
各設定項目の詳細は、164ページの説明をご覧ください。



MEMO

〔決定〕ボタンを押すたびに項目右のランプの色が変わります。黄色で点灯させているときはON設定に、消灯させているときはOFF設定になります。VICSの初期設定は、メインメニュー「その他の操作」「設定を変える」からでも操作できます(P.156)。

4. 【設定終了】を選び、〔決定〕ボタンを押す

VICS情報を簡易図形や文字で見る

簡易図形や文字で表示されるVICS情報で、渋滞・規制情報の概略を見ることができます。

簡易図形表示で見る

1. メインメニューの【VICS情報】【FM図形情報】を選び、〔決定〕ボタンを押す



2. ジョイスティックを左右に倒して見たい情報番号を選び、〔決定〕ボタンを押す画面内にある情報番号のみが選択可能です。



情報番号

3. ジョイスティックを上下に倒して【前項】や【次項】を選び、〔決定〕ボタンを押す



放送局を切り換えたいときは希望するエリアの放送が受信されていないときは、ジョイスティックを上下に倒して【選局】を選んで〔決定〕ボタンを押してください。



選局画面になりますので、希望する放送局を選局してください。選局のしかたは、「今いる地域以外の放送局を選局する」(P.100)をご覧ください。

文字表示で見る

1. メインメニューの【VICS情報】【FM文字情報】を選び、〔決定〕ボタンを押す



2. ジョイスティックを左右に倒して見たい情報番号を選び、〔決定〕ボタンを押す
画面内にある情報番号のみが選択可能です。



情報番号

3. ジョイスティックを上下に倒して【前項】や【次項】を選び、〔決定〕ボタンを押す



放送局を切り換えたいときは希望するエリアの放送が受信されていないときは、ジョイスティックを上下に倒して【選局】を選んで〔決定〕ボタンを押してください。



選局画面になりますので、希望する放送局を選局してください。選局のしかたは、「今いる地域以外の放送局を選局する(P.100)」をご覧ください。

今いる地域以外の放送局を選局する

VICS/FM多重放送はエリア単位の放送なので、「東京の情報はVICS東京から」「埼玉の情報はVICS浦和から」と分かれて放送されています。

購入直後の状態では、自車位置の情報をもとに、そのエリアで受信可能な放送局が自動的に選局されますから、通常は選局の操作は必要ありません。これをオート選局といいます。希望するエリアの放送が受信されていないときや、受信中の放送局の受信感度が悪いときは、他の放送局を選局してください。

MEMO

お使いになるDVD-ROMディスクの発売日以降に、FM多重によるVICS情報提供サービスが開始された放送局は、「シークで選ぶ」(P.101)や「マニュアルで選ぶ」(P.102)の方法で受信してください。

放送局の受信感度を確認する

メインメニューの「VICS情報」「放送局選局」を選んで〔決定〕ボタンを押すと、VICS放送局を選局する画面になります。この画面では、現在受信している放送局の受信感度を確認することができます。



受信感度表示：バーが多いほど受信感度が良好。バーが2本以下の場合、受信に時間がかかったり受信できないことがあります。

オートで選ぶ：通常はこの設定にしておきます。現在地の情報を元に、自動的に放送局が選局されます。

リストから選ぶ(P.100)

シークで選ぶ(P.101)

マニュアルで選ぶ(P.102)

リストから選ぶ

VICS放送局の一覧から、受信する放送局を選ぶことができます。

1. メインメニューの【VICS情報】【放送局選局】を選び、〔決定〕ボタンを押す



2. 【リストで選ぶ】を選び、〔決定〕ボタンを押す



3. 受信したいVICIS放送局名を選び、〔決定〕ボタンを押す



MEMO

自転車位置に近い放送局だけがリストに表示されます。放送局によっては十分な受信感度が得られない場合があります。

4. 【終了】を選び、〔決定〕ボタンを押す



MEMO

操作が終わったら、必ず【終了】を選んで〔決定〕ボタンを押してください。【終了】を選ばないと、変更内容が記憶されません。

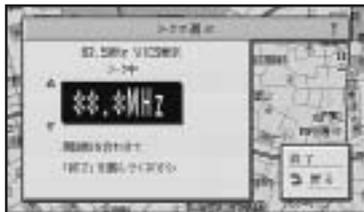
シークで選ぶ

受信状態のよい放送局を探して受信させることができます。

1. メインメニューの【VICIS情報】【放送局選局】を選び、〔決定〕ボタンを押す
2. 【シークで選ぶ】を選び、〔決定〕ボタンを押す



3. ジョイスティックを上下に倒して周波数をシークする



MEMO

感度の良い周波数を受信すると、シークが自動的に止まります。同じ操作を繰り返せば、周波数が順次切り換わります。

4. 希望の周波数になったら、【終了】を選んで〔決定〕ボタンを押す

MEMO

操作が終わったら、必ず【終了】を選んで〔決定〕ボタンを押してください。【終了】を選ばないと、変更内容が記憶されません。

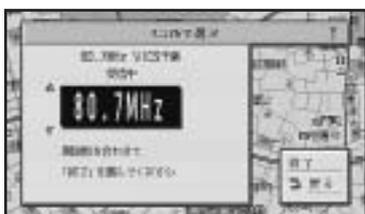
マニュアルで選ぶ

シークで選局できない放送局を選局したいときは、手動で選局できます。

1. メインメニューの【VICS情報】【放送局選局】を選び、〔決定〕ボタンを押す
2. 【マニュアルで選ぶ】を選び、〔決定〕ボタンを押す



3. ジョイスティックを上下に倒して周波数を切り換える
倒し続けると連続して送られます。



4. 希望の周波数になったら、【終了】を選んで〔決定〕ボタンを押す

MEMO

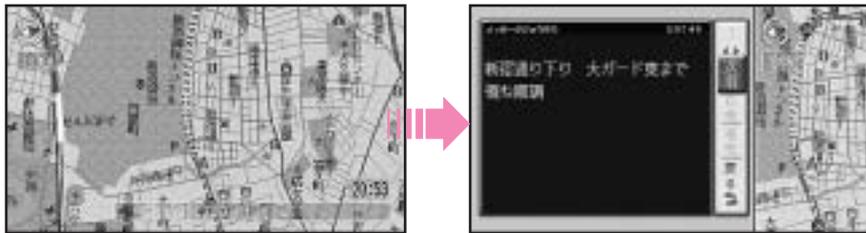
操作が終わったら、必ず【終了】を選んで〔決定〕ボタンを押してください。
【終了】を選ばないと、変更内容が記憶されません。

ビーコンからの情報を見る

VICS用ビーコン受信機「ND-B3」(別売)を接続している場合には、ビーコンから送られてくる図形または文字の情報を受信したときに、自動的にその内容を画面に表示させることができます。これを「ビーコン文字図形表示」といいます。

ビーコン文字図形表示は、走行中の現在地画面とハイウェイモード画面で表示されます。

ビーコンの情報を受信すると



約15秒経つか、[戻る]ボタンを押すと、ビーコン文字図形表示が消える。

MEMO

ルートの交差点案内表示中でも、ビーコン文字図形表示が優先的に表示されます。

ビーコン文字図形表示をやめるときは、「VICSの初期設定」メニューの「ビーコン文字図形表示」(P.165)を「しない」にしてください。

ビーコン情報を再表示させる

「ビーコン文字図形表示」が「しない」になっていても、ビーコン情報が受信できていれば、受信した情報を表示できます。

1. メインメニューの【VICS情報】【ビーコン図形情報】または【ビーコン文字情報】を選び、[決定]ボタンを押す



2. 確認し終わったら、[戻る]ボタンを押す



渋滞を考慮したルートを探査する

VICS用ビーコン受信機「ND-B3」(別売)を接続している場合には、ビーコンの渋滞情報を考慮して、目的地まで最短時間で到着できる可能性があるルートを探査するように設定できます。これを「渋滞考慮ルート設定」といいます。

渋滞情報を受けた後、ルート探索の操作(P.33)を行うだけで、渋滞を考慮したルート探索が自動的に行われます。特別な操作は必要ありません。



ビーコンのVICS情報が取得できていないときは、渋滞は考慮されません。

通常のルート探索よりも、探索時間が長くなる場合があります。

渋滞を避けるルートがない場合があります。

MEMO

渋滞を考慮したルート探索は、「ルートの初期設定」メニューの「渋滞を考慮したルート探索」(P.164)でON/OFFします。

「渋滞を考慮したルート探索」をONにすると、オートリルートやリアルタイムリルートの際にも渋滞が考慮されます。

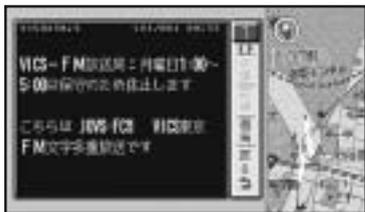
VICSセンターからの連絡を見る

情報提供時刻の変更やサービス内容のお知らせなど、VICSセンターからの連絡や案内用の番組を見ることができます。

1. メインメニューの【VICS情報】
【VICSセンター情報】を選び、〔決定〕
ボタンを押す



2. 確認し終わったら、〔戻る〕ボタンを押す



MEMO

操作の詳細は、「VICS情報を簡易図形や文字で見る」(P.98)をご覧ください。

【選局】を選んで〔決定〕ボタンを押すと、VICS放送局を選局することができます。選局のしかたは、「今いる地域以外の放送局を選局する」(P.100)をご覧ください。

Chapter 7

インターネット / 通信

この章の内容

通信機能を利用する前に	108
携帯電話を利用する	110
インターネット接続の準備をする	113
天気予報を見る	118
ホームページを見る	121
インターネットの基礎知識	128

通信機能を利用する前に

本機の通信機能では、デジタル携帯電話を使い、インターネットに接続して、さまざまな情報を取得することができます。



本機の電源ON/OFFに関係なく、携帯電話を接続・取り外しできます。

ナビゲーション本体に携帯電話を接続すると、通話中のとき以外は携帯電話の電源が一度OFFになります。(呼び出し中の場合も一度電源がOFFになりますので、ご注意ください。)

ナビゲーション本体に携帯電話を接続すると、携帯電話の電源ボタンは機能しなくなります。(携帯電話の電源は、ナビゲーション本体の電源ON/OFFに連動します。)

本機は、キャッチホンおよび三者通話サービスには対応していません。これらの操作を本機のリモコンで行うことはできませんので、携帯電話で操作してください。なお、キャッチホンや三者通話サービスご利用中に本機のリモコンで操作すると、通話が切れることがあります。(キャッチホン、三者通話サービスの詳細は、携帯電話の説明書をご覧ください。)

機器の準備

通信機能を使うには、次の機器が必要です。

デジタル携帯電話(9600bpsデータ通信機能に対応)

本機 デジタル携帯電話間の専用ケーブル(AVIC-D9000には付属されています。AVIC-D9500/D7000では通信/音声認識キット「CD-HV100」(別売)をお使いください。)

本機と携帯電話を接続するだけで、本機のリモコンや音声認識コントローラーで、電話の発信・着信の操作ができるようになります。また音声認識用のマイクを通してハンズフリー通話もできます。

参照 接続のしかた 『取付説明書』

MEMO

デジタル携帯電話でも、機種によっては使用できない場合があります。(パケット通信方式でのデータ通信はできません。)

また、さらにサービス契約が必要な場合もあります。

日本移動通信(株)とDDI-セルラーグループの「cdmaOne」には対応していません。

インターネットをご利用になるには

インターネットの概要

インターネットとは世界中のコンピューターのネットワークのことです。インターネット上には、多くのホームページが公開されており、さまざまな情報が提供されています。本機では、携帯電話を使ってインターネットに接続することにより、専用の閲覧機能(Webブラウザ)でホームページの閲覧や電子メールの送受信を行うことができます。

MEMO

インターネットへの接続時間は、電話の受信状態や回線の混み具合によって異なります。

本機で表示できる画像データは、JPEG形式とGIF形式ですが、条件によっては表示できない場合もあります。また、フレームを使ったホームページやプラグインなどの利用を前提としたホームページも表示できません。ホームページの運営、内容、情報の更新頻度などは、それぞれのホームページの主催者によって異なります。情報提供の中断、URLの変更などは、各ホームページの主催者にお問い合わせください。

インターネットに関する基本的な知識は、「インターネットの基礎知識」(P.128)をご覧ください。

インターネットの接続契約の確認

インターネットに接続するには、インターネット接続サービスプロバイダー(以降、プロバイダーと略)と接続契約をする必要があります。

プロバイダーとの契約後初めて接続するときは、入会・契約手続き完了後に発行される接続ID、接続パスワードなどの情報を本機に入力する必要があります。



通信後、電話が切れたこと(回線の切断)を必ず確認してください。電話が切れていないと、その間の通話料などが課金されます。

インターネットナビシステム

インターネットナビシステムの概要

携帯電話を使って本機とインターネットナビシステムの情報センター間をインターネット経由でつなぎ、ドライバーが必要とする各種の最新情報を、情報センターから提供するサービスです。おすすめのドライブコースやレストランの情報など、ナビゲーションから利用できるサービスを提供していますので、さらに便利にドライブすることができます。

インターネットナビシステムをお使いになるにはインターネットナビシステムのサービスをご利用になる場合は、インターネットナビシステムの接続ID、接続パスワードが必要です。

インターネットナビシステムへの入会のしかたは、「インターネットナビシステムお客様ご相談窓口」にお問い合わせください。

フリーダイヤル 0120-821439

0120-821285 (FAX)

(受付時間) 9:00 ~ 12:00

13:00 ~ 17:00

(土・日・祭日を除く)

ホームページ

<http://www.internavi.ne.jp/>

携帯電話で通話するときは

ナビゲーション本体に携帯電話を接続してハンズフリー通話をするときには、通話相手の音声は受光部付きスピーカーまたは組み合わせたTVモニターの内蔵スピーカーからのみ出力されます。これらのスピーカーから、ナビゲーションのガイド音声は出力される設定でお使いください。(カーステレオのスピーカーなどに通話相手の音声を出力することはできません。)

また、通話相手の音声が聞きとりやすいように、ナビゲーションの音量(P.170)またはTVモニターの音量を調整してください。

携帯電話を利用する

ナビゲーション本体にデジタル携帯電話を接続した場合には、本機のリモコンで電話をコントロールできます。

⚠️注意

運転中は携帯電話の操作をしないでください。事故の原因となります。

MEMO

携帯電話の接続のしかたは、添付の『取付説明書』をご覧ください。

電話をかける / 切る

1. [オフフック / 切替] ボタンを 1 回押してオフフックにする
2. もう一度 [オフフック / 切替] ボタンを押す
3. 10キーの [0] ~ [9] を押してダイヤルする



4. 【電話】を選び、【決定】ボタンを押して電話をかける
5. 相手が出たら、話す
6. 話し終わったら、[オンフック / 確定] ボタンを押して電話を切る

MEMO

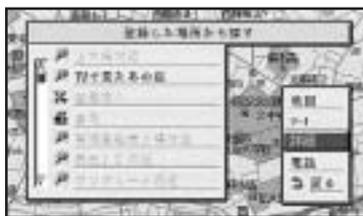
[オフフック / 切替] ボタンを押しても発信できます。
音声認識コントローラーの [発話] ボタンを押しても発信できます。

短縮ダイヤルを使う

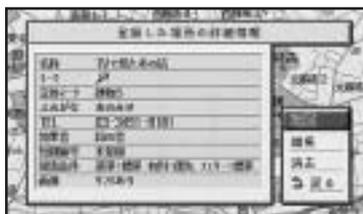
友人宅などを登録した際、電話番号も入力しておく、短縮ダイヤルとして登録することができます。

短縮ダイヤルに登録する
短縮ダイヤルは、「登録した場所の詳細情報」画面で登録します。

1. 「登録した場所から探す」(P.63)の操作を行って、短縮ダイヤルに登録したい番号が入力された場所を選ぶ
2. 【詳細】を選び、【決定】ボタンを押す



3. 登録したい短縮ダイヤルに該当する10キーの [0] ~ [9] を押す



MEMO

短縮ダイヤルを解除するときは、「登録した場所の詳細情報」画面を表示して、「短縮番号」に表示されているのと同じ数字のキーを押します。別のキーを押すと、書き換わります。

短縮ダイヤルで電話をかける / 切る

1. [オフフック / 切替]ボタンを1回押す
2. かけたい相手の短縮番号を10キーの〔0〕~〔9〕で押す
3. 相手が出たら、話す
4. 話し終わったら、[オンフック / 確定]ボタンを押して電話を切る

本機に登録された電話番号にかける

地図上の施設情報として電話番号が収録されている場合には、本機を電話帳代わりに利用することもできます。また、登録した場所に電話番号が入力されていれば、登録した場所のリストから相手を選び、電話をかけることもできます。

ここでは、登録した場所のリストから電話をかける操作を例に説明します。

1. 「登録した場所から探す (P.63)の手順1~2の操作で、登録した場所のリストを表示させる
2. 電話の相手先となる地点名を選ぶ



3. 【電話】を選び、[決定]ボタンを押す



詳細情報として入力されている電話番号にダイヤルを始める。

ハンズフリーで通話する

本機と携帯電話を接続している場合には、電話がかかってきたときに電話の着信を案内する、以下の画面が表示され、同時に着信案内の音が流れます。



かけてきた相手の電話番号が表示される。

- 登録した場所に入力されている電話番号と一致した場合には、その場所の名前が表示されます。
- 発信者番号通知サービスの利用状況によっては、かけてきた相手の電話番号や名前は表示されません。
- 電話がかかってきたときに〔オフフック / 切替〕ボタンを押すと、電話がつながります。通話中に〔オンフック / 確定〕ボタンを押すと電話が切れます。
- 電話がかかってきたときに〔オンフック / 確定〕ボタンを押すと、応答保留することができます。応答保留中は〔オフフック / 切替〕ボタンで電話につながり、〔オンフック / 確定〕ボタンで電話が切れます。



電話がかかってくると、メニュー操作やルート探索中の動作などはすべて中断されて電話の着信画面になります。電話の通話操作・ハンズフリー通話をやめるには、「その他の初期設定」メニューの「電話操作・ハンズフリー」(P.168)を「オフにする」に設定してください。(オフにしてもインターネットへの接続操作は行えます。)

音声認識コントローラーでの操作

電話がかかってきたときは、音声認識コントローラーでも電話を受けたり、切ったりすることができます。

電話を受ける / 切るの操作は、リモコンの〔オフフック / 切替〕ボタンと音声認識コントローラーの〔発話〕ボタン、〔オンフック / 確定〕ボタンと〔訂正〕ボタンが同じ働きになります。

インターネット接続の準備をする

インターネットシステムや一般のプロバイダーに接続するために、ナビゲーションのメニュー操作で接続設定をします。通常は使い始めに一度設定するだけで、以降は操作する必要はありません。

接続先プロバイダーの設定



プロバイダーによっては接続できない場合があります。

プロバイダーから発行された、接続IDやパスワードなどの情報を入力します。設定時には、加入したプロバイダーの契約書や説明書をお手元にご用意ください。手順3の【一覧から設定】でリストに表示されるプロバイダーは、1999年1月時点での調査によるものです。設定項目の内容（特に接続先電話番号）は変更になる可能性がありますので、自動入力後、一通りご確認ください。

接続IDや接続パスワードの指定

1. メインメニューの【インターネット】

【ホームページを見る】を選び、〔決定〕ボタンを押す

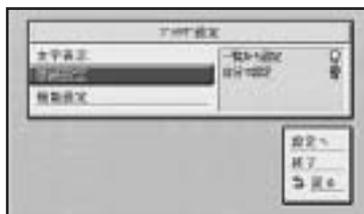


2. 【設定】を選び、〔決定〕ボタンを押す



3. 【接続設定】を選び、〔決定〕ボタンを押して設定方法を選ぶ

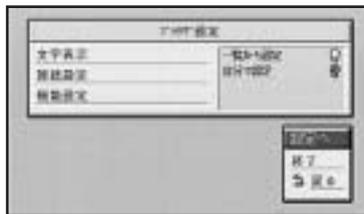
〔決定〕ボタンを押すごとに、「一覧から設定」と「自分で設定」が切り換わります。



一覧から設定：プロバイダーのリストから設定します。多くの設定が自動入力できます。最初はこちらを選んでください。

自分で設定：「一覧から設定」で加入しているプロバイダーがリスト表示されないときは、こちらを選んでください。

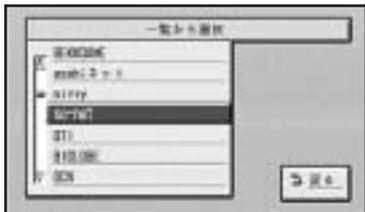
4. 【設定へ】を選び、〔決定〕ボタンを押す



MEMO

【自分で設定】を選んだときは、手順8に進みます。

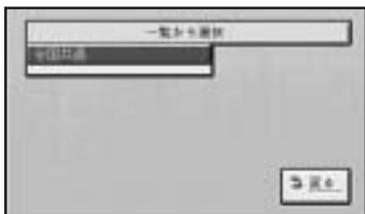
5. 加入しているプロバイダーを選び、〔決定〕ボタンを押す



6. 接続先(アクセスポイント)を選び、〔決定〕ボタンを押す



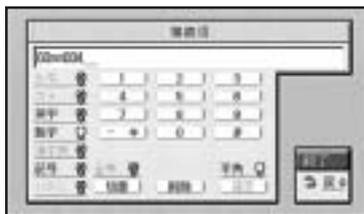
手順5で「NTT DoCoMo」を選んだときは、次の画面になります。そのまま〔決定〕ボタンを押してください。手順7に進みます。



7. 〔接続ID〕を選び、〔決定〕ボタンを押す



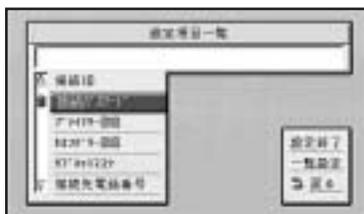
8. プロバイダー入会時に発行された接続IDを入力し、【終了】を選んで、〔決定〕ボタンを押す



MEMO

「自分で設定」を選んだときは手順10に進みます。

9. 〔接続パスワード〕を選び、〔決定〕ボタンを押す

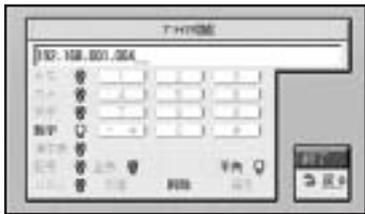


10. プロバイダー入会時に発行された接続パスワードを入力し、【終了】を選んで〔決定〕ボタンを押す
入力した文字は画面上“*”で表示されます。

MEMO

「一覧から設定」を選んだときは手順17に進みます。(接続IDと接続パスワード以外の項目は自動的に入力されています。設定内容を確認し、必要に応じて修正してください。)

11. プライマリ-DNSのIPアドレスを入力し、【終了】を選んで〔決定〕ボタンを押す

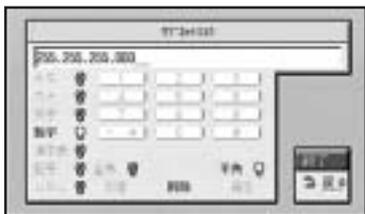


12. セカンダリ-DNSのIPアドレスを入力し、【終了】を選んで〔決定〕ボタンを押す

MEMO

自動的にプライマリ-DNSと同じIPアドレスが入力されます。必要に応じて削除してから入力してください。セカンダリ-DNSをプロバイダーから指示されていないときは、プライマリ-DNSと同じものを入力してください。

13. サブネットマスクを入力し、【終了】を選んで〔決定〕ボタンを押す



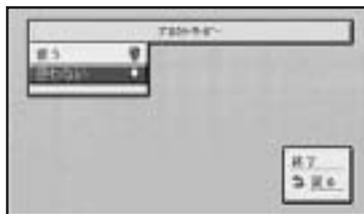
MEMO

自動的に入力されます。必要に応じて削除してから入力してください。

14. 接続先(アクセスポイント)の電話番号を入力し、【終了】を選んで〔決定〕ボタンを押す



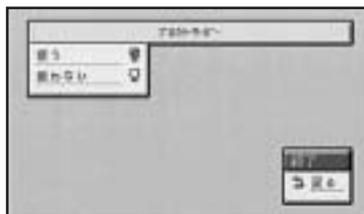
15. プロクシーサーバーの設定として【使わない】を選び、〔決定〕ボタンを押す



MEMO

プロクシーサーバーを利用する場合は、【使う】を選んで〔決定〕ボタンを押してください。設定方法は、「プロクシーサーバーの指定」(P.116)をご覧ください。

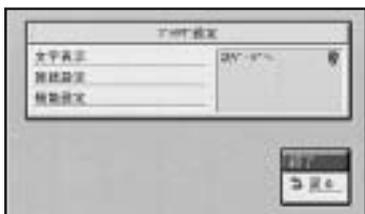
16. 【終了】を選び、〔決定〕ボタンを押す



- 17.【設定終了】を選び、〔決定〕ボタンを押す



- 18.【終了】を選び、〔決定〕ボタンを押す



MEMO

「文字表示」の詳細は、「ブラウザの文字表示の設定」(P.117)をご覧ください。

「機能設定」の詳細は、「ブラウザの機能の設定」(P.117)をご覧ください。

プロキシサーバーの指定

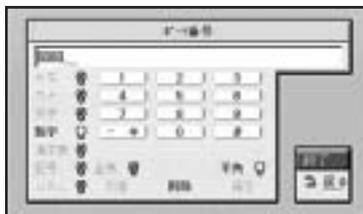
MEMO

プロキシサーバー名とポート番号は、加入したプロバイダーの説明書をご覧ください。

1. 前ページの手順15で【使う】を選び、〔決定〕ボタンを押した後、【終了】を選んで〔決定〕ボタンを押す
2. サーバー名を入力し、【終了】を選んで〔決定〕ボタンを押す



3. ポート番号を入力し、【終了】を選んで〔決定〕ボタンを押す

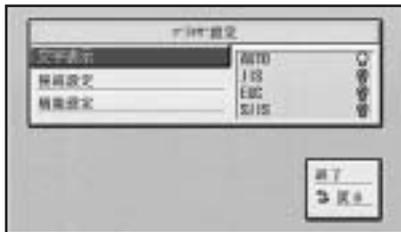


4. 左の手順17以降の操作を行い、設定を終了する

ブラウザの文字表示の設定

ブラウザ設定の「文字表示」は通常「AUTO」に設定しておきます。「AUTO」では、Webブラウザが日本語のコード体系を自動的に判別するため、文字化け(日本語が変な文字に置き換わって表示されてしまう現象のこと)が起きないようにしてくれます。

文字化けなどが起きたときは、【文字表示】を選んで〔決定〕ボタンを押して、他の設定にしてください。



ブラウザの機能の設定

ブラウザ設定の「機能設定」は通常「画像読み込み」がONのままにしておいてください。

「機能設定」を選んで〔決定〕ボタンを押すと、「画像読み込み」がOFFになります。OFFにすると、画像が読み込まれなくなる分、通信時間が短くなります。



天気予報を見る

インターネット上の専用サーバーから地域の天気予報を取得して、気象状況を地図上に表示させることができます（ウェザーライブ）。

天気予報の表示例

天気予報のデータの取得が終わると、現在地画面では自車位置、スクロール画面では十字カーソル位置の天気、マークで表示されます（予報時刻が現在から3時間以内の天気予報が表示されます）。また、スカイビュー、ナイアガラビュー表示時には空の色が天気に応じて変化します。



さらに、天気予報の詳細画面では、約2日分の予報まで細かく見ることができます。



ルートを設定すると

ルートを設定した直後に、“目的地付近の到着予想時刻頃の天気は晴れ、降水確率40%、気温25度の見込みです。”といった、目的地付近の到着予想時刻前後の天気が音声で案内されます。

MEMO

専用サーバーには約2日間の3時間間隔（降水確率は6時間間隔）の天気予報データが準備されています。天気予報データは毎日3:00と15:00に発表されるウェザーライン社の天気予報に基づいています（ただし、専用サーバー上のデータが更新されない場合もあります）。

天気予報データが取得できていない場合は、天気予報は表示されません。

発表時刻から24時間経過すると、天気予報データは本機から削除されます。再度、専用サーバーから天気予報データを取得してください。

天気予報の表示は、「地図の初期設定」メニューの「天気予報表示」（P.160）でON/OFFできます。

天気予報データについて詳しくは、「天気予報に関する注意事項」（P.231）をご覧ください。

専用サーバーによる天気予報サービスは、予告なく中断、停止される場合があります。

天気予報のデータを取得する

1. メインメニューの【インターネット】
【天気予報を見る】を選び、〔決定〕ボタンを押す



2. 【予報データを取る】を選び、〔決定〕ボタンを押す



3. データを取得する地域を選び、〔決定〕ボタンを押す



MEMO

データ取得エリアについて詳しくは、「天気予報に関する注意事項」(P.)をご覧ください。

4. 【データ取得】を選び、〔決定〕ボタンを押す



受信が終わると、自動的に手順2の画面に戻る。



通信後、電話が切れたこと(回線の切断)を必ず確認してください。電話が切れていないと、その間の通話料などが課金されます。

予報を見る

1. メインメニューの【インターネット】
【天気予報を見る】を選び、〔決定〕ボタンを押す
2. 【予報を見る】を選び、〔決定〕ボタンを押す



3. 気象状況を見たい地域まで地図をスクロールする

十字カーソルの位置の時刻での降水確率・気温

この色に合わせて地図が塗り分けられる。



現在の塗り分け、および降水確率・気温の対象となっている予報時刻が

十字カーソルの位置の3時間おきの天気予報

MEMO

天気予報データがない地域は、地図がピンク色で塗られます。

4. 確認し終わったら、〔戻る〕ボタンを押す

予報時刻を変える

天気予報の詳細画面で、地図の塗り分けや予報表示の対象となる時刻を変えることができます。

MEMO

天気予報の詳細画面（前ページ手順3の画面）で、〔オフフック / 切替〕ボタンや〔オンフック / 確定〕ボタンを押しても予報時刻を変更できます。

1. メインメニューの【インターネット】
【天気予報を見る】を選び、〔決定〕ボタンを押す
2. 【予報時刻を変える】を選び、〔決定〕ボタンを押す



3. 予報時刻を選び、〔決定〕ボタンを押す



手順2の画面に戻る。天気予報の詳細画面で の付く時刻が、ここで設定した時刻になる。

ホームページを見る

インターネットを使って、さまざまな情報を手に入れることができます。



接続中に5分以上、操作やデータのやりとりがない場合は、メッセージを表示して自動的に電話が切れます。

通信後、電話が切れたこと(回線の切断)を必ず確認してください。電話が切れていないと、その間の通話料などが課金されます。

インターネットに接続する

1. メインメニューの【インターネット】
【ホームページを見る】を選び、〔決定〕
ボタンを押す



2. 【接続開始】を選び、〔決定〕ボタンを
押す



ホームページ(「ホーム」に登録されたWebページ)が表示される。

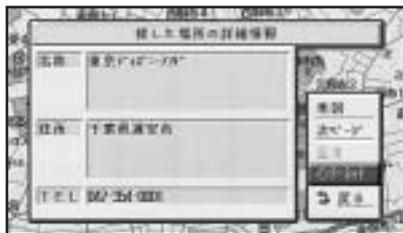
MEMO

接続IDと接続パスワードを登録していない場合には、接続設定を確認するメッセージが表示されます。〔メニュー〕ボタンを押してインターネットメニューを表示させ、「設定」で接続設定を確認してください。

最初は、「ホーム」にcarrozzeria.comのトップページが登録されています。表示するWebページによっては、砂時計マークが表示され、読み込みに時間がかかることがあります。〔メニュー〕ボタンを押すことでインターネットメニューが表示され、読み込みを中止できます(P.123)。

ダイレクトインターネットアクセスでインターネットに接続する

「場所を探す」メニューで検索した施設の詳細情報画面(P.53)から、【インターネット】を選んで〔決定〕ボタンを押すだけで、インターネットに接続し、その施設に関連するホームページにアクセスできます。



インターネット画面を操作する

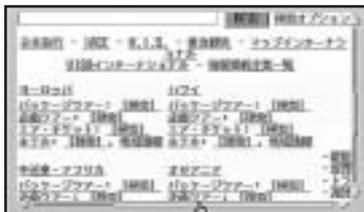
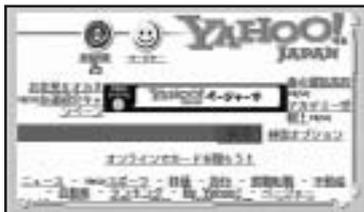
表示された情報を見ることはもちろん、パソコン用Webブラウザと同様に、リンク先のページを見たり、画面をスクロールさせることができます。

1. インターネット画面で〔メニュー〕ボタンを押す
画面上のカーソル(矢印、指マーク)が動かせるようになります。

MEMO

メニューと画面内のカーソルは、〔メニュー〕ボタンを押すたびに切り換わります。

2. ジョイスティックでカーソルを動かし、リンク(下線が付いた項目)に合わせて〔決定〕ボタンを押す



リンク先のページが表示される。

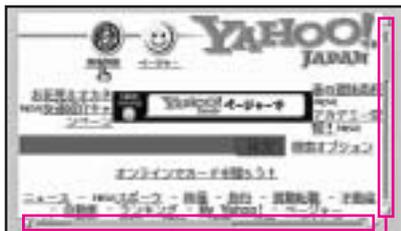
MEMO

カーソルは、他のページへのリンクがあるときは指マークで、それ以外の部分では矢印になります。

画面にエラーメッセージが表示されたときは、〔メニュー〕ボタンを押してください。

画面をスクロールさせる

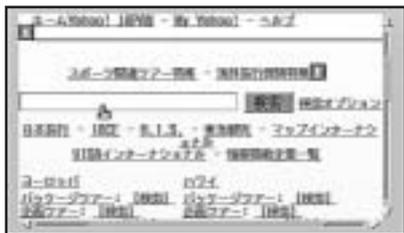
画面内に情報を表示しきれないときは、スクロールバーが表示されます。画面を表示させたい(スクロールさせたい)方向にジョイスティックを倒しつづけると、画面がスクロールします。



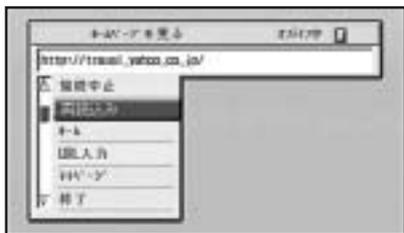
スクロールバー

ホームページ上で文字を入力する

ホームページ上に文字を入力できる欄があり、文字を入力する必要がある場合は、入力欄にカーソルを合わせて〔決定〕ボタンを押すと、文字入力の画面になります。文字入力後、【終了】を選んで〔決定〕ボタンを押すと、入力欄に文字が入力されます。



画面が正しく表示されないときはインターネットメニューの【再読み込み】を選んで〔決定〕ボタンを押して、データの再読み込みを行ってください。



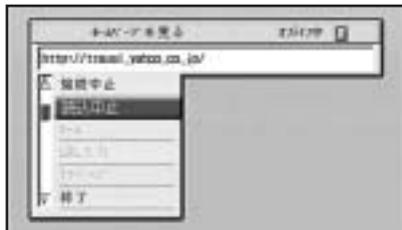
データが再度読み込まれ、画面が更新される。

MEMO

インターネットメニューが表示されていないときは、〔メニュー〕ボタンを押します。

メニューを消すときは、もう一度〔メニュー〕ボタンを押します。

データの読み込みを中止する
インターネットメニューの【読込中止】を選んで〔決定〕ボタンを押してください。



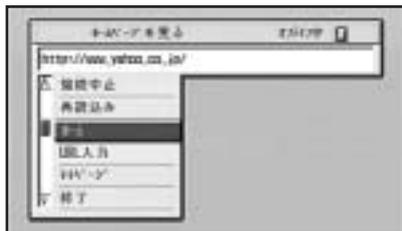
データの読み込みが中止される。

MEMO

インターネットメニューが表示されていないときは、〔メニュー〕ボタンを押します。

メニューを消すときは、もう一度〔メニュー〕ボタンを押します。

ホームに戻る
インターネットメニューの【ホーム】を選んで〔決定〕ボタンを押してください。



「ホーム」に登録されたホームページが表示される。

MEMO

インターネットメニューが表示されていないときは、〔メニュー〕ボタンを押します。

メニューを消すときは、もう一度〔メニュー〕ボタンを押します。

「ホーム」に登録されているホームページを変更できます。操作方法は、「ホームの登録先を変える」(P.126)をご覧ください。

URLを指定する

1. インターネットメニューの【URL入力】を選び、〔決定〕ボタンを押す

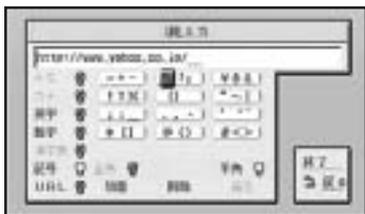


MEMO

インターネットメニューが表示されていないときは、〔メニュー〕ボタンを押します。

メニューを消すときは、もう一度〔メニュー〕ボタンを押します。

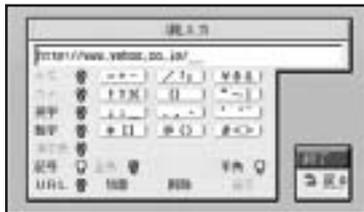
2. URLを入力(P.28)する



MEMO

入力画面左側の文字種を「URL」に切り換えたときは、「WWW.」などURLでよく使われる文字列が入力できます。

3. 【終了】を選び、〔決定〕ボタンを押す



URLで指定したホームページが表示される

気に入ったページを登録する

何度も繰り返し見るホームページは、「マイページ」として登録しておくことができます。登録しておくこと、簡単な操作でそのホームページを見ることができます。



最大20個まで登録できます。

1. 登録したいホームページを表示させる
2. インターネットメニューの【マイページ】を選び、〔決定〕ボタンを押す

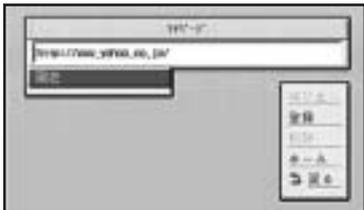


MEMO

インターネットメニューが表示されていないときは、〔メニュー〕ボタンを押します。

メニューを消すときは、もう一度〔メニュー〕ボタンを押します。

3. 【現在】を選び、〔決定〕ボタンを押す



4. 【登録】を選び、〔決定〕ボタンを押す



表示中のホームページが登録される。

5. 【このURLを登録】を選び、〔決定〕ボタンを押す



MEMO

【編集してから登録】を選んで〔決定〕ボタンを押すと、登録するURLを変更できます。

登録したページを呼び出す

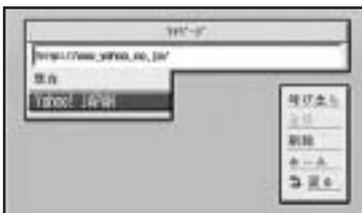
1. インターネットメニューの【マイページ】を選び、〔決定〕ボタンを押す

MEMO

インターネットメニューが表示されていないときは、〔メニュー〕ボタンを押します。

メニューを消すときは、もう一度〔メニュー〕ボタンを押します。

2. 表示したいホームページを選び、〔決定〕ボタンを押す



3. 【呼び出し】を選び、〔決定〕ボタンを押す



選択したホームページが表示される。

登録したホームページを削除する

1. インターネットメニューの【マイページ】を選び、〔決定〕ボタンを押す

MEMO

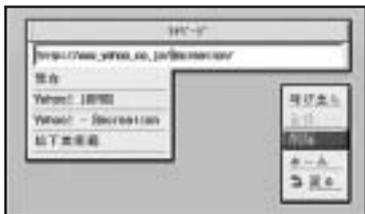
インターネットメニューが表示されていないときは、〔メニュー〕ボタンを押します。

メニューを消すときは、もう一度〔メニュー〕ボタンを押します。

2. 削除したいホームページを選び、〔決定〕ボタンを押す



3. 【削除】を選び、〔決定〕ボタンを押す

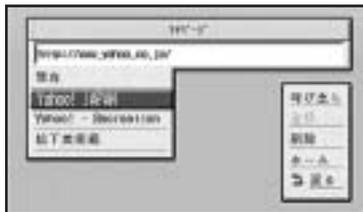


ホームの登録先を変える

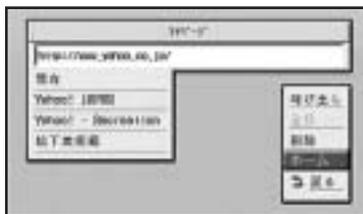
「ホーム」に登録されているホームページを変更できます。

1. インターネットメニューの【マイページ】を選び、〔決定〕ボタンを押す

2. 「ホーム」に登録したいホームページを選び、〔決定〕ボタンを押す



3. 【ホーム】を選び、〔決定〕ボタンを押す



4. 【現在のURL】を選び、〔決定〕ボタンを押す



MEMO

【carrozzeria.com】を選んで〔決定〕ボタンを押すと、carrozzeria.comのトップページに戻ります。

接続を解除する

1. インターネットメニューの【接続中止】を選び、【決定】ボタンを押す



オンラインからオフラインに変わる。

MEMO

インターネットメニューが表示されていないときは、【メニュー】ボタンを押します。
メニューを消すときは、もう一度【メニュー】ボタンを押します。

2. インターネットメニューの【終了】を選び、【決定】ボタンを押す



MEMO

【現在地】ボタンを押したあと、【はい】を選んで【決定】ボタンを押しても、地図画面に戻ります。

インターネットの基礎知識

インターネットってなに？

世界各国のコンピューターを相互に接続した、世界規模のコンピューターネットワークシステムです。

インターネットで最も利用されているサービスは、Webサイトの閲覧や情報発信、電子メールによるメッセージ交換です。

企業や個人がWebサイトで発信した最新情報は、「Webブラウザ」というソフトでいつでも閲覧できます。また、電子メールの利用により、送り先の時間帯や距離を意識することなく、メッセージのやりとりが可能です。

プロバイダーってなに？

「インターネット接続サービスプロバイダー」の略で、インターネットに接続する環境（電話回線や通信設備など）を一般の利用者に提供する企業や組織のことです。「インターネットプロバイダー」「ISP」などと呼ばれることもあります。

利用者は、電話回線を通じてプロバイダーに接続することで、その先のインターネットを利用できます。

インターネットを見ているときは費用がかかるの？

携帯電話が接続されている時間分だけ、携帯電話の通話料とプロバイダーの接続料がそれぞれ課金されます。

携帯電話の通話料は通常の通話と同じですから、接続先（プロバイダーのアクセスポイント）によって料金が異なります。ただし、海外のホームページを見たからといって、国際電話料が課金されるわけではありません。

インターナビシステムってなに？

カーナビゲーションシステムから携帯電話を通じてドライブに役立つ最新情報を提供するサービスです。

インターナビシステムに入会すると、自車位置や目的地とリンクしたドライブに役立つ情報がリアルタイムで得られます。

また、自宅のパソコンであらかじめインターナビシステムの専用サーバーに目的地や立寄地を登録しておき、車から簡単に呼び出すことも可能です。

インターナビシステムの主なサービス内容は、グルメカタログ、天気情報、おすすめルート、駐車場情報、エリア情報などがあります。

インターナビシステムの入会およびサービスに関するお問い合わせは、「インターナビシステム お客様ご相談窓口」でご確認ください。

carrozzzeria.comって何？

パイオニア株式会社が運営しているカーナビゲーションシステム用のホームページです。

位置情報（緯度経度）付きの施設の検索ができ、Webページ上から施設の登録や目的地設定ができます。URLは、「<http://www.carrozzzeria.com/>」です。

“http://”のhttpってなに？

インターネット上で、コンピューターどうしが各種情報を交換するために使用する共通のルールのことを「プロトコル」といいます。httpは、Webサイトの情報（ホームページ）をやりとりするためのプロトコルで、Hyper Text Transfer Protocolの略です。Webブラウザはこのプロトコルを使ってWebサイトからデータを受信し、その結果を画面に表示させます。

「URL」ってなに？

Uniform Resource Locatorの略で、インターネット上で、情報のある場所を特定するための文字列のことです。URLには、情報の種類、サーバー名(ホスト名+ドメイン名)といった、インターネット上で情報を得るための文字列を記述します。

例えば、パイオニア株式会社のホームページから情報を得る場合には、URLとして、
<http://www.pioneer.co.jp/>
というように指定します。

「マイページ」ってなに？

ひんばんにアクセスするWebページを本機のWebブラウザに登録しておく機能のことです。パソコン用のWebブラウザでいうところの「ブックマーク」「お気に入り」と同様の機能です。

繰り返しアクセスして情報を得たいWebページを「マイページ」として登録しておくことで、毎回URLを入力する手間を省くことができます。

「ホーム」ってなに？

接続開始時、最初に表示されるWebページのことです。

最初は、carrozzzeria.comのトップページが登録されています(お好みのWebサイトに変更できます)。

また、他のWebページを表示中にインターネットメニューの【ホーム】を選んで〔決定〕ボタンを押しても、「ホーム」のWebページが表示されます。

メールアドレスってなに？

電子メールを送受信するときの宛先となる情報です。郵便物の住所のようなもので、「my_name@mail.abcd.ne.jp」などといった表記が「電子メールアドレス」です。

インターネットナビシステムを利用しているときは、本機で電子メールの受信ができます。メールアドレス取得の具体的手続きなどは、「インターネットナビシステムお客様ご相談窓口」にお問い合わせください。

Chapter 8 その他の操作

この章の内容

指定したロゴマークを地図上に表示する	132
地図上に表示されたお店の情報を見る	134
FM文字放送の番組を見る	136
ナビゲーションの状態を画面で見る	138
登録したルート进行操作する	142
走行軌跡を登録・編集する	145
学習した道を再学習する	150
最近探した場所を消す	151
登録したデータをPCカードで管理する	152
ナビゲーションの初期設定を変える	156
初期設定一覧	157
初期設定の詳細	159
自車位置のずれを修正する	169
ハードウェアの調整を行う	170

指定したロゴマークを地図上に表示する

指定したロゴマーク（ガソリンスタンドやコンビニエンスストアなどのマーク）を常に地図上に表示させておくことができます。特定の施設だけを選んだり、複数種類の施設を同時に表示させることもできます。これをリアルタイムロゴマーク表示といいます。



画面に表示できるロゴマークは、詳細選択(P.58)の項目で99項目までです。

1. メインメニューの【その他の操作】
【ロゴマークを選ぶ】を選び、〔決定〕ボタンを押す



2. ジャンルを選び、〔決定〕ボタンを押す
複数のジャンルを選択できます。項目右のランプを黄色で点灯させるとON設定、消灯させるとOFF設定になります。また、詳細選択(P.58)をした場合は、橙色の点灯になります。



MEMO

ジャンルごとに表示をON/OFFすると、そのジャンルに含まれるすべての詳細項目がON/OFFされます。「詳細選択」でお店を細かく指定することで、より多くのジャンルのロゴマークを表示できます。

MEMO

「セーフティインフォメーション」(P.36)と「サウンドトラップ」は音声案内のON/OFF設定です（マークは表示されません）。ON設定にすると、地図上の案内ポイントに近づいたときに音声で案内されるようになります。

サウンドトラップでは、案内ポイントに近づくと音が鳴ります（学校 チャイムの音など）。全国で約1,000カ所ほど、案内ポイントがあるので、探し出してみてください。

【選択解除】を選んで〔決定〕ボタンを押すと、すべてOFF設定になります。

3. 【終了】を選び、〔決定〕ボタンを押す



地図上にロゴマークが表示される。

お店を細かく指定する



詳細選択で99項目までのロゴマークを表示できます。

1. メインメニューの【その他の操作】
【ロゴマークを選ぶ】を選び、〔決定〕ボタンを押す
2. 【詳細選択】を選び、〔決定〕ボタンを押す



選んだジャンルにチェックマークが付く。

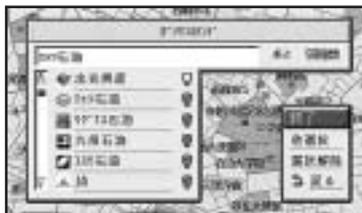
3. 店名を選び、〔決定〕ボタンを押す
複数の店名が選べます。項目右のランプを黄色で点灯させるとON設定、消灯させるとOFF設定になります。



MEMO

【選択解除】を選んで〔決定〕ボタンを押すと、すべてOFF設定になります。

4. 【終了】を選び、〔決定〕ボタンを押す



MEMO

【他選択】を選んで〔決定〕ボタンを押すと、手順2の画面に戻ります。操作が終わったら、必ず「終了」を選んでください。「終了」を選ばないと、変更内容が記憶されません。

地図上に表示されたお店の情報を見る

地図上に表示されたガソリンスタンドやコンビニエンスストアなどのマーク(ロゴマーク)には、お店の名前や電話番号などが収録されています。メニュー - の操作でこの情報を画面に表示させることができます。

情報を見たいロゴマークが地図上に1つもないときは、「指定したロゴマークを地図上に表示する」(P.132)をご覧ください。ロゴマークを表示させてください。

1. メインメニューの【その他の操作】
【ロゴマークを見る】を選び、【決定】ボタンを押す



2. 【次へ進む】または【前へ戻る】を選び、【決定】ボタンを押す



矢印が移動して、画面にお店の名前が表示される。

MEMO

【迂回】ボタンを押し続けると、メニュー表示や他のマークが消え、矢印が示しているところが見やすくなります。

【表示選択】を選んで【決定】ボタンを押すと、表示選択画面が表示されます。表示選択画面の操作は、「指定したロゴマークを地図上に表示する」(P.132)をご覧ください。

3. 【これを見る】を選び、【決定】ボタンを押す



お店の詳細情報が表示される。

MEMO

【地図】を選んで【決定】ボタンを押すと、そのお店を中心とした地図画面になります。

複数ページの情報がある場合には、【次ページ】を選んで【決定】ボタンを押すと、ページ送りができます。

詳細情報にインターネット(URL)情報があるときは、【インターネット】を選んで【決定】ボタンを押すと、そのお店のホームページが表示されます。ホームページの見かたなどは、「インターネット画面を操作する」(P.122)をご覧ください。

リストからお店を選ぶ

1. メインメニューの【その他の操作】
【ロゴマークを見る】を選び、〔決定〕ボタンを押す
2. 【リスト】を選び、〔決定〕ボタンを押す



3. 店名を選び、〔決定〕ボタンを押す
4. 【地図】を選び、〔決定〕ボタンを押す



上記のメッセージが表示されている間に、〔戻る〕ボタンを押すと、リスト画面に戻ります。

MEMO

手順4で【情報】を選んで〔決定〕ボタンを押すと、お店の詳細情報が表示されます。

FM文字放送の番組を見る

FM放送局の文字放送(例：見えるラジオ)や図形放送を受信して、番組情報やニュース、天気予報などを見ることができます。



VICS情報表示中にFM文字多重放送を受信すると、放送内容が表示されるまでに時間がかかることがあります。また、FM文字多重放送を表示後に再びVICS情報を表示する際も同様に時間がかかることがあります。

FM文字多重放送を表示中はVICS情報は更新されません。D-GPS情報を利用した測位も中断します。

FM文字多重放送を受信するために周波数を変更した場合、FM文字多重放送を終了すると、自動的にVICSまたはD-GPSの周波数に戻ります。(ただし、「VICSの初期設定」メニューの「FM多重チューナーの設定」を文字多重放送にしている場合は、そのままの周波数になります。)

FM放送局を選ぶ

VICS放送局を選局する場合と同様の方法で放送局を選局することができます。ここでは「リストからFM放送局を選ぶ」方法を例に説明しています。それ以外の選局方法はP.100～102の説明を参考に操作してください。

「リストからFM放送局を選ぶ」方法では、放送局の一覧から、受信する放送局を選ぶことができます。



自転車位置に近い放送局だけがリストに表示されます。放送局によっては十分な受信感度が得られない場合があります。

1. メインメニューの【その他の操作】
【FM文字放送】を選び、〔決定〕ボタンを押す



2. 【放送局選局】を選び、〔決定〕ボタンを押す



MEMO

次の方法で選局することも可能です。
【シークで選ぶ】(P.101)
【マニュアルで選ぶ】(P.102)

3. 【リストで選ぶ】を選び、〔決定〕ボタンを押す



受信感度表示：パーが多いほど受信感度が良好。パーが2本以下の場合、受信に時間がかかったり、受信できないことがあります。

4. 受信したいFM放送局名を選び、〔決定〕ボタンを押す



5. 【終了】を選び、〔決定〕ボタンを押す



MEMO

操作が終わったら、必ず【終了】を選んで〔決定〕ボタンを押してください。【終了】を選ばないと、変更内容が記憶されません。

オンエアの番組内容を現在地画面に表示させる

FM文字多重放送を受信中に、現在地画面で10キーの〔2〕を押すと、現在受信中のFM放送局がオンエアしている番組内容や曲名を現在地画面に表示させることができます（FM文字オンエア連動）。



番組を見る

1. メインメニューの【その他の操作】【FM文字放送】を選び、〔決定〕ボタンを押す
2. 【FM文字放送】を選び、〔決定〕ボタンを押す



MEMO

図形放送の番組は「FM図形放送」で見ることができます。以降の操作は、「渋滞情報」の「FM文字情報」を選んだ場合と同じです。操作の詳細は、「VICS情報を簡易図形や文字で見る」(P.98)をご覧ください。

ナビゲーションの状態を画面で見る

走行中のセンサー状態、GPS衛星の受信状態、センサーの学習状況といった、ナビゲーションの状態を画面で見ることができます。

走行状態表示画面を見る

接続や学習の状態を、走行しながら確認することができます。この機能は、自転車位置精度不良などの場合に、走行中の各種接続やセンサーの状態をモニターすることを目的としています。

警告

走行状態の確認は必ず同乗者が行い、運転者は運転に専念してください。

注意

速度の表示をスピードメーターの代わりにしないでください。車のスピードメーターと、くい違っていることがあります。



電源コードの车速信号入力(ピンクリード線)が正しく接続されていない場合、簡易ハイブリッドモードとなり、パルス数は算出しません。

トリップおよびパルス数は本機の故障、修理などにより、クリアされることがあります。また、本機の状態によっては、積算しない場合があります。

センサー未学習状態では、パルス数以外の表示は意味を持ちません。

本機の電源をOFFにしても、トリップとパルス数は積算される場合があります。

MEMO

走行中に走行状態表示画面を表示させるときは、10キーの[5]を押してください(ダイレクトキー機能:P.179)。

1. メインメニューの【その他の操作】
【情報画面を見る】を選び、[決定]ボタンを押す

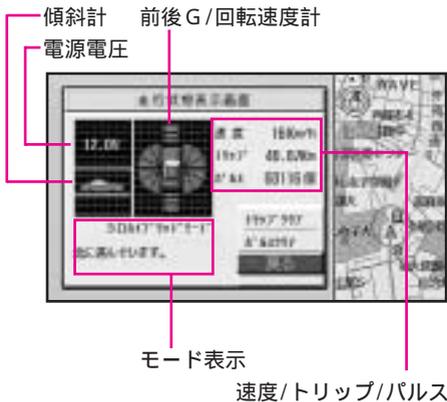


2. 【走行状態を見る】を選び、[決定]ボタンを押す



3. 走行を始めてセンサー状態を確認する画面の詳細は、「走行状態表示画面の見かた(次項)」をご覧ください。
4. 確認し終わったら、[戻る]ボタンを押す

走行状態表示画面の見かた



電源電圧：車のバッテリーから本機に供給されている電源電圧が表示されます。(最大で $\pm 0.5V$ 程度の誤差があるため、この表示は参考値です。)

傾斜計：現在本機が認識している上り坂、下り坂を7段階(上3段、下3段)で表示します。

モード表示：現在の走行モード(3Dハイブリッドモード、簡易ハイブリッドモード)とメッセージを表示します。

前後G/回転速度計：現在本機が認識している前後Gの強さをバーで、左右の回転速度を扇で表示します。前後Gの強さ、左右の回転速度をそれぞれ7段階(前後各3段、左右各3段)で表示します。

速度/トリップ/パルス：現在本機が認識している速度、トリップ、パルス数の積算を表示します。

MEMO

【トリップクリア】または【パルスクリア】を選んで〔決定〕ボタンを押すと、積算された数字がクリアされます。

衛星測位情報画面を見る

GPS衛星の受信状態を表示して、測位情報を確認することができます。



GPS衛星は米国国防総省によって管理されており、衛星自体が意図的にずれた位置データを送信することがあります。このようなときは測位の誤差が大きくなります。

高度はGPSの情報から求められているので、数十m～数百mの誤差があります。

1. メインメニューの【その他の操作】【情報画面を見る】を選び、〔決定〕ボタンを押す

2. 【衛星測位情報を見る】を選び、〔決定〕ボタンを押す



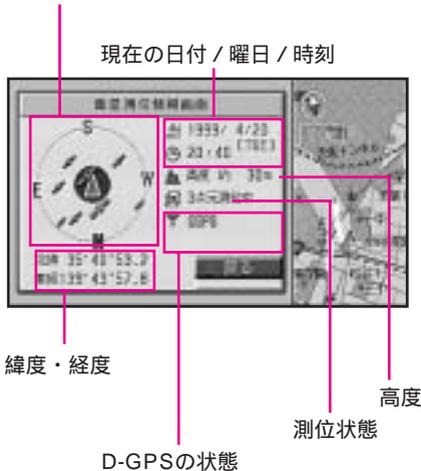
3. 測位情報を確認する

画面の詳細は、「衛星測位情報画面の見かた」(次項)をご覧ください。

4. 確認し終わったら、〔戻る〕ボタンを押す

衛星測位情報画面の見かた

衛星位置表示



緯度・経度

高度

測位状態

D-GPSの状態

衛星位置表示：自車位置(赤い三角形のマーク)を中心に、現在電波を受信できているGPS衛星の位置を示します。円の中心付近から見ていろいろな方向の衛星の電波を受信できているときほど、正確な測位が可能です。測位に使っている衛星は橙色、受信中の衛星は黄色、電波を受信できない衛星は黒で、それぞれ表示されます。

緯度・経度：現在地の緯度と経度です。測位できないときは、最後に測位したときの緯度と経度が表示されます。

高度：現在の高度を示します。高度を計算できなかった場合には、最後に測位したときの高度が表示されます。(この表示はGPS測位により得られた高度をそのまま表示しており、誤差が含まれているため、実際の高度ではありません。)

測位状態：現在の測位状態を示します。「3次元測位中」「2次元測位中」「未測位」などと表示されます。

D-GPSの状態：「VICISの初期設定」メニューの「FM多重チューナーの設定」(P.165)を「VICIS」以外にしているときに表示されます。FM多重チューナーでD-GPS情報を受信していると、アンテナのマークが橙色で表示されます。また、D-GPS情報を利用して測位しているときには「D-GPS」と表示されます。(「FM多重チューナーの設定」が「VICIS」になっているときは表示されません。)

センサー学習状況画面を見る

3Dハイブリッドセンサーがどのくらい学習が進んでいるかを画面で確認できます。

1. メインメニューの【その他の操作】
【情報画面を見る】を選び、〔決定〕ボタンを押す

2. 【センサー学習状況を見る】を選び、
〔決定〕ボタンを押す



3. センサーの学習状況を確認する
画面の詳細は、「衛星測位情報画面の見かた」(次項)をご覧ください。

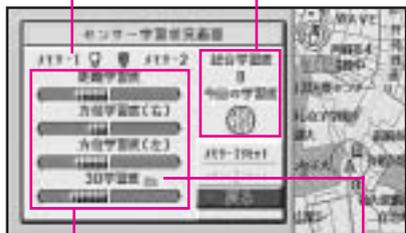
4. 確認し終わったら、〔戻る〕ボタンを押す

参照 センサー学習状況画面の「メモリー1リセット」「メモリー2リセット」の使いかた 『スタートブック』の「準備4：3Dハイブリッドセンサーをリセットする」

センサー学習状況画面の見かた

メモリー1 / メモリー2

総合学習度 / 今回の学習度



距離 / 方位 / 傾斜(3D)の学習度

車両姿勢表示

メモリー1 / メモリー2 : 項目横のランプが黄色で点灯している方が現在学習結果を保存しているセンサーメモリーです。

距離 / 方位 / 傾斜(3D)の学習度 : 距離・方位(左右方向の回転)・傾斜に関して、どの程度学習結果が蓄積されたかを示しています。バーが端までいっぱいになると、学習の度合いが最高になります。向かって左側のバーがメモリー1の学習状況です。右側がメモリー2の学習状況です。

車両姿勢表示 : 現在傾斜を上っているのか下っているのか、または平地にいるのかが表示されます。

総合学習度 : 現在のセンサーメモリーに対する、学習状況の総合評価(10段階 : SSS、SS、S、AAA、AA、A、B、C、D、E)です。

今回の学習度 : 今回、本機の電源を入れ、動かし始めてからどのくらい学習できたかを示しています(3段階)。

MEMO

メモリー1とメモリー2の切り換えは、「その他の初期設定」メニューの「センサーメモリー切替」(P.166)で行います。

傾斜(3D)学習度が表示されていないときは、車速パルスが正しく取れていません。電源コードの車速信号入力(ピンクリード線)が正しく接続されていないことが考えられます。車速信号入力の接続を確認後、3Dハイブリッドセンサーのリセットをやり直してください。リセットのしかたは、『スタートブック』の「準備4 : 3Dハイブリッドセンサーをリセットする」をご覧ください。

登録したルート进行操作する

登録したルートは簡単に呼び出して再設定することができます。また、間違った名前で登録したり、ルートが増えて区別しづらくなったときには、ルートの名前を変えたり、不要なルートを消去することができます。

登録したルート呼び出す



登録したルート呼び出すと、そのときの交通状況にあったルートが再探索されるため、登録したときの道順どおりにはならないことがあります。

登録したときの探索条件で再探索されます。

ルートが再探索されるため、設定までに時間がかかります。

1. メインメニューの【その他の操作】
【データを編集する】を選び、〔決定〕ボタンを押す



2. 【登録したルート】を選び、〔決定〕ボタンを押す



3. 【呼び出し】を選び、〔決定〕ボタンを押す



4. ルート名を選び、〔決定〕ボタンを押す



登録したときの目的地に向けたルートが探索されます。探索が終わると、ルートが自動的に設定されます。

登録したルート名を変える

1. メインメニューの【その他の操作】
【データを編集する】を選び、〔決定〕ボタンを押す
2. 【登録したルート】を選び、〔決定〕ボタンを押す
3. 【編集】を選び、〔決定〕ボタンを押す



4. ルート名を選び、〔決定〕ボタンを押す



5. 【名前を変更する】を選び、〔決定〕ボタンを押す



6. 名前を入力(P.28)する

MEMO

名前は、全角で10文字、半角で20文字まで入力できます。

7. 【終了】を選び、〔決定〕ボタンを押す



8. 【終了】を選び、〔決定〕ボタンを押す



MEMO

操作が終わったら、必ず【終了】を選んで〔決定〕ボタンを押してください。
【終了】を選ばないと、変更内容が記憶されません。

登録したルート消す

1. メインメニューの【その他の操作】
【データを編集する】を選び、〔決定〕ボタンを押す
2. 【登録したルート】を選び、〔決定〕ボタンを押す
3. 【消去】を選び、〔決定〕ボタンを押す



4. ルート名を選び、〔決定〕ボタンを押す



選んだルート名にチェックマークが付く。

MEMO

複数選ぶことができます。全部まとめて消去するときは【全選択】を選んで〔決定〕ボタンを押してください。

5. 【消去】を選び、〔決定〕ボタンを押す



上記のメッセージが表示されている間であれば、〔戻る〕ボタンを押すことで、消去を取り消すことができます。

必要なルートを選んで消去してしまったときは

消去した後何らかの操作をすると、消してしまったルートは元に戻りません。もう一度ルート探索 (P.33) の操作後、登録の操作 (P.76) を行ってください。

MEMO

ナビゲーション本体にPCカードスロットがある場合は、PCカード「CNFC-8M」(別売)にルートを保存しておくことができます。

走行軌跡を登録・編集する

本機では、実際に走行してきた道のり(走行軌跡といいます)を約50mごとに記録しています。ただし、走行軌跡は古い順(約230km前)に消去されてしまいます。

走行軌跡を残しておきたいときは、都合のよいときに走行軌跡の必要な部分を本機に登録しておきます。全軌跡を登録することも可能です。

間違った名前で登録したり、走行軌跡の登録数が増えて区別しにくくなったときには、走行軌跡の名前を変えたり、不要になった走行軌跡を消去できます。



登録できる走行軌跡は、メモリーの使用量によって変化します。約500km分を登録できます。

最大19ファイルに分割して登録できます。

エンドレスファイルについて

走行軌跡は、「エンドレスファイル」というメモリー領域に記録されていきます。

走行軌跡を後から参照したり、ルートの一部として使う際は、エンドレスファイルに記録された走行軌跡の必要な部分をエンドレスファイルから切り出して本機に登録する必要があります。

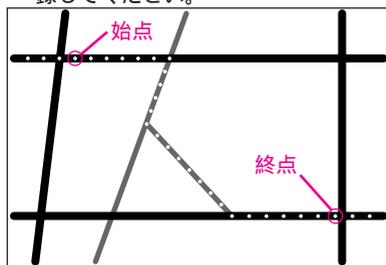
走行軌跡の利用例

登録された走行軌跡は、次のようにして利用できます。

- ルートを設定せずに目的地まで行ったときや、入り組んだ道を走ったときの帰り道など、道順を後から参照できます。
- ルートの一部(軌跡ルートといいます)として利用できます。

ルート探索に使う走行軌跡を登録するときは

- 走行軌跡は往復で使用することはできません。
- 道路以外のところの走行距離は、軌跡変換ルート探索に使用できません。
- 終点を「細街路(グレー表示の細い道)以外の道どうしの交差点」になるように登録してください。



走行軌跡を登録する

1. メインメニューの【その他の操作】
【データを編集する】を選び、〔決定〕ボタンを押す



2. 【走行軌跡】を選び、〔決定〕ボタンを押す



3. 【新規登録】を選び、〔決定〕ボタンを押す



4. 登録する範囲の始点をジョイスティックで選び、〔決定〕ボタンを押す



MEMO

先に進むときはジョイスティックを右に、前に戻るときはジョイスティックを左に倒してください。

5. 終点をジョイスティックで選び、〔決定〕ボタンを押す



6. 【登録】を選び、〔決定〕ボタンを押す



走行軌跡を地図上に表示する

1. メインメニューの【その他の操作】
【データを編集する】を選び、〔決定〕ボタンを押す
2. 【走行軌跡】を選び、〔決定〕ボタンを押す
3. 【呼び出し】を選び、〔決定〕ボタンを押す



4. 走行軌跡名を選び、〔決定〕ボタンを押す



5. 【地図】を選び、〔決定〕ボタンを押す



手順4で選んだ走行軌跡が地図画面に表示されます(エンドレスファイルの走行軌跡と置き換わります)。

走行軌跡の記録を再開する

登録した走行軌跡を表示中は、走行してもエンドレスファイルに走行軌跡は記録されません。

エンドレスファイルへの記録を再開するときは、ここで説明した操作をもう一度行い、手順4で「エンドレスファイル」を選んでください。

走行軌跡を確認する

手順5で【確認】を選んで〔決定〕ボタンを押すと、選択した走行軌跡に沿って地図を動かしながら確認することができます。

先に進むときはジョイスティックを右に、前に戻るときはジョイスティックを左に倒してください。



走行軌跡の確認が終わったら、〔戻る〕ボタンを押してください。

走行軌跡の名前を変える

1. メインメニューの【その他の操作】
【データを編集する】を選び、〔決定〕ボタンを押す
2. 【走行軌跡】を選び、〔決定〕ボタンを押す
3. 【編集】を選び、〔決定〕ボタンを押す



4. 名前を変更したい走行軌跡名を選び、〔決定〕ボタンを押す



5. 【名称変更】を選び、〔決定〕ボタンを押す



6. 名前を入力(P.28)する

MEMO

名前は全角で10文字、半角で20文字まで入力できます。

7. 【終了】を選び、〔決定〕ボタンを押す



8. 名前の変更が終わったら、〔戻る〕ボタンを押す

走行軌跡を消す

1. メインメニューの【その他の操作】
【データを編集する】を選び、〔決定〕ボタンを押す
2. 【走行軌跡】を選び、〔決定〕ボタンを押す
3. 【消去】を選び、〔決定〕ボタンを押す



4. 消去したい走行軌跡名を選び、〔決定〕ボタンを押す



選んだ走行軌跡名にチェックマークが付く。

MEMO

複数選ぶことができます。全部まとめて消去するときは【全選択】を選んで〔決定〕ボタンを押してください。
地図上で記録している走行軌跡を消去したいときは、【エンドレスファイル】を選んで〔決定〕ボタンを押してください。

5. 【消去】を選び、〔決定〕ボタンを押す



このメッセージが表示されている間であれば、〔戻る〕ボタンを押すことで消去を取り消すことができる。

MEMO

ナビゲーション本体にPCカードスロットがある場合は、PCカード「CNFC-8M」(別売)に走行軌跡を保存しておくことができます。

学習した道を再学習させる

ドライバーがふだんの道を通っているかを、本機が自動的に学習しています。この学習結果を一度消去して、学習し直すことができます。

1. メインメニューの【その他の操作】
【データを編集する】を選び、〔決定〕ボタンを押す
2. 【学習した道】を選び、〔決定〕ボタンを押す



3. 【再学習】を選び、〔決定〕ボタンを押す



最近探した場所を消す

不要になった場所は、最近探した場所のリストから消去することができます。

1. メインメニューの【その他の操作】

【データを編集する】を選び、〔決定〕ボタンを押す

2. 【最近探した場所】を選び、〔決定〕ボタンを押す



3. 【消去】を選び、〔決定〕ボタンを押す



4. 消去したい場所を選び、〔決定〕ボタンを押す



選んだ名前にチェックマークが付く

MEMO

複数選ぶことができます。全部まとめて消去するときは【全選択】を選んで〔決定〕ボタンを押してください。

5. 【消去】を選び、〔決定〕ボタンを押す



このメッセージが表示されている間であれば、〔戻る〕ボタンを押すことで消去を取り消すことができます。

登録したデータをPCカードで管理する

ナビゲーション本体にPCカードスロットがある場合には、登録したルート、走行軌跡、地点をPCカード「CNFC-8M (別売)」に保存できます。保存したデータはいつでも呼び出せます。



データの読み書き中に本機の電源をOFFにしたり、DVD-ROMディスクを取り出したりしないでください。データの読み書き中に本機の電源がOFFになると、処理が中断されてしまい、データが消去されたり、カードから読み込めなくなったり、リスト表示されなくなる場合があります。

データの読み書き中に、車のエンジンスイッチをOFFにしたり、エンジンをかけたりしないでください。本機の電源がOFFになってしまいます。

データをPCカードに保存する

本機に登録されたデータをPCカードに保存するには、次の手順で操作します。ここでは登録した地点の保存を例に説明します。ほかのデータも同様の操作で保存できます。

1. メインメニューの【その他の操作】
【PCカードを使う】を選び、〔決定〕ボタンを押す



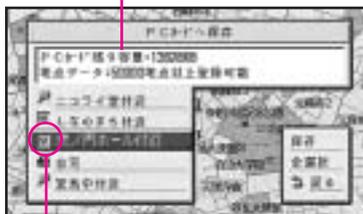
2. 【登録した場所】を選び、〔決定〕ボタンを押す



3. 【カードへ保存】を選び、〔決定〕ボタンを押す



4. カードへ保存したいデータを選び、〔決定〕ボタンを押す
PCカードの残り容量の目安が表示される。

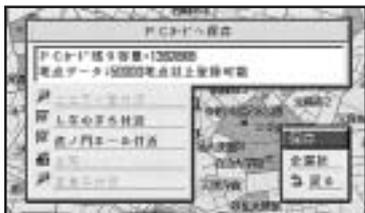


チェックマークが付く。

MEMO

複数選ぶことができます。全部まとめて保存するときは【全選択】を選んで〔決定〕ボタンを押してください。

5. 【保存】を選び、〔決定〕ボタンを押す



走行軌跡やルートの場合、すぐにデータの保存が始まります。保存が終わったら手順7に進んでください。

6. 登録した場所の保存先(グループ名)を選び、〔決定〕ボタンを押す



地点の保存が始まります。

MEMO

登録した場所を初めて保存するとき、または別のグループに保存したいときは、【新規グループ】を選んで〔決定〕ボタンを押した後、グループ名を入力(P.28)し、【終了】を選んで〔決定〕ボタンを押してください。地点の保存が始まります。

7. 【編集終了】を選び、〔決定〕ボタンを押す



登録した場所の保存先について
登録した場所は、PCカード内に作成されたグループ単位で保存されます。1グループには、最大100地点まで保存できます。

画像を登録した場所の保存について
画像を登録した場所を保存するときには、その画像が保存されているPCカードをお使いください。それ以外のPCカードに保存すると画像とのリンクが解除され、画像がない設定で保存されます。

PCカードのデータを読み込む

PCカードに保存されたデータを本機に読み込むには、次の手順で操作します。ここでは登録した場所の読み込みを例に説明します。ほかのデータも同様の操作で読み込みできます。

1. メインメニューの【その他の操作】
【PCカードを使う】を選び、〔決定〕ボタンを押す
2. 【登録した地点】を選び、〔決定〕ボタンを押す
3. 【カードから読込】を選び、〔決定〕ボタンを押す



走行軌跡やルートの場合、手順5に進んでください。

4. 読み込み元のグループ名を選び、〔決定〕ボタンを押す



5. カードから読み込みたいデータを選び、〔決定〕ボタンを押す



チェックマークが付く。

MEMO

複数選ぶことができます。全部まとめて読み込むときは【全選択】を選んで〔決定〕ボタンを押してください。

6. 【読込】を選び、〔決定〕ボタンを押す



7. 【編集終了】を選び、〔決定〕ボタンを押す

PCカードのデータを消去する

不要になったPCカード内のデータを消去するには、次の手順で操作します。ここでは登録した場所の消去を例に説明します。ほかのデータも同様の操作で消去できます。

1. メインメニューの【その他の操作】【PCカードを使う】を選び、〔決定〕ボタンを押す
2. 【登録した場所】を選び、〔決定〕ボタンを押す
3. 【消去データ選択】を選び、〔決定〕ボタンを押す



走行軌跡やルートの場合、手順5に進んでください。

4. 消去したい地点が保存されたグループ名を選び、〔決定〕ボタンを押す



5. 消去したいデータを選び、〔決定〕ボタンを押す



チェックマークが付く。

MEMO

複数選ぶことができます。全部まとめて消去するときは【全選択】を選んで〔決定〕ボタンを押してください。

6. 【消去】を選び、〔決定〕ボタンを押す



7. 消去してもよければ〔決定〕ボタンを押す



MEMO

消去をやめるときは、〔戻る〕ボタンを押してください。

8. 【編集終了】を選び、〔決定〕ボタンを押す

ナビゲーションの初期設定を変える

オートリルトのON/OFF、現在地表示のしかたなど、ナビゲーションの機能やさまざまな情報の表示のしかた(初期設定)を、好みの設定に変更することができます。

ナビゲーションの初期設定には、以下の4種類があります。

地図に関する初期設定	ルートに関する初期設定
VICSに関する初期設定	その他の初期設定

どのメニュー項目も、同じ要領で操作できます。ここでは、「地図の初期設定」メニューで「現在地情報の表示」を「現在地名」から「緯度経度」に変えることを例にして操作を説明します。

1. メインメニューの【その他の操作】
【設定を変える】を選び、〔決定〕ボタンを押す



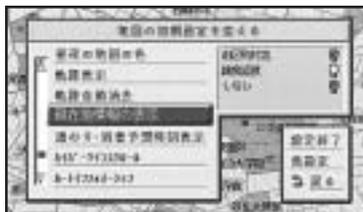
2. 【地図の初期設定】を選び、〔決定〕ボタンを押す



3. 設定を変えたい項目(この例では【現在地情報の表示】)を選び



4. 〔決定〕ボタンを押して、項目右のランプ(この例では【緯度経度】)を点灯させる



MEMO

〔決定〕ボタンを押すごとに、項目右のランプの点灯/消灯が切り換わります。黄色で点灯させるとON設定に、消灯させるとOFF設定になります。他の項目も変更したいときは、手順4～5の操作を繰り返してください。

5. 変更し終わったら【設定終了】を選び、〔決定〕ボタンを押す



必ず【設定終了】で終了してください。それ以外では変更内容が記憶されません。

初期設定一覧

「地図の初期設定」メニュー

項目	選択肢 (色は購入直後の設定)
オートフリーズーム	[オンにする] [オフにする]
ツインビュースケール	[25m] [50m] [100m]
交差点案内表示	[拡大図] [ドライバーズビュー]
2D時地図の回転	[ヘディングアップ] [ノースアップ] [ヘディングレフト] [ヘディングライト]
ノースアップフロントワイド	[オンにする] [オフにする]
3D時地図の回転	[ヘディングアップ] [目的地アップ]
立体ランドマーク表示	[オンにする] [オフにする]
シティマップ	[オンにする] [オフにする]
ビジュアルシティマップ	[オンにする] [オフにする]
登録地画像表示	[オンにする] [オフにする]
天気予報表示	[オンにする] [オフにする]
昼夜の地図の色	[時刻で切り替え] [イルミで切り替え] [常に昼の色]
軌跡表示	[オンにする] [オフにする]
軌跡自動消去	[パワーオフにする時] [しない]
現在地情報の表示	[市区町村名] [緯度経度] [しない]
道のり・到着予想時刻表示	[目的地] [立寄地]
ハイパーツインスクロール	[オンにする] [オフにする]
ルートインフォメーション	[オンにする] [オフにする]

「ルートの初期設定」メニュー

項目	選択肢 (色は購入直後の設定)
ルート探索の候補数	[6] [3] [1]
ルート探索基準	[標準] [距離優先] [幹線優先]
有料道路	[標準] [優先] [回避]
フェリー航路	[標準] [優先] [回避]
オートリルート	[オンにする] [オフにする]
リアルタイムリルート	[オンにする] [オフにする]
ルートインフォメーション	[オンにする] [オフにする]
到着予想時刻	[車の速度を使う] [指定速度を使う]
指定速度 (一般道)	[20km/h] [30km/h] [40km/h]
指定速度 (有料道)	[60km/h] [80km/h] [100km/h]
交差点案内表示	[拡大図] [ドライバーズビュー]
高速施設のイラスト表示	[オンにする] [オフにする]
学習ルート探索	[オンにする] [オフにする]
登録地のルート探索条件	[オンにする] [オフにする]
オートフリーズーム	[オンにする] [オフにする]
道のり・到着予想時刻表示	[目的地] [立寄地]
渋滞を考慮したルート探索	[オンにする] [オフにする]

「VICISの初期設定」メニュー

項目	選択肢（色は購入直後の設定）
渋滞表示	[オンにする] [オフにする]
渋滞表示の点滅	[オンにする] [オフにする]
順調表示	[オンにする] [オフにする]
規制表示	[オンにする] [オフにする]
駐車場満車表示	[オンにする] [オフにする]
区間旅行時間表示	[オンにする] [オフにする]
渋滞情報自動案内	[オンにする] [オフにする]
ビーコン文字図形表示	[文字・図形] [図形] [しない]
FM多重チューナーの設定	[VICIS] [D-GPS] [VICIS/D-GPSダブル] [文字多重放送]
渋滞を考慮したルート探索	[オンにする] [オフにする]

「その他の初期設定」メニュー

項目	選択肢（色は購入直後の設定）
デモ走行	[オンにする] [オフにする]
地図情報の網かけ表示	[オンにする] [オフにする]
時計表示	[デジタル] [アナログ] [しない]
センサーメモリー切替	[メモリー1] [メモリー2]
TV走査方式	[インターレース] [ノンインターレース]
到着予想時刻	[車の速度を使う] [指定速度を使う]
指定速度（一般道）	[20km/h] [30km/h] [40km/h]
指定速度（有料道）	[60km/h] [80km/h] [100km/h]
FM多重チューナーの設定	[VICIS] [D-GPS] [VICIS/D-GPSダブル] [文字多重放送]
オート発話スタンバイ	[オンにする] [オフにする]
ボイスヘルプ	[発話ボタンで表示] [ボイスコマンドで表示]
オーディオミュート	[ガイド・電話・認識] [電話・認識] [しない]
音声認識ノイズマイク	[オンにする] [オフにする]
電話操作・ハンズフリー	[オンにする] [オフにする]

初期設定の詳細

「地図の初期設定」メニューの内容

オートフリーズーム

現在地と次の案内地点（または目的地）を常に画面内に表示しながら、自動的にズームアップするかどうかを設定します。

オンにするオートフリーズームが機能します。

オフにするオートフリーズームは機能しません。

ツインビュースケール

ツインビュー時の右画面の縮尺を設定します。

25m25mスケールで表示します。

50m50mスケールで表示します。

100m100mスケールで表示します。

交差点案内表示

ルート案内時、交差点に近づいた際に表示される案内図の種類を設定します。

拡大図平面的な交差点拡大図を表示します。

ドライバーズビュー交差点付近を立体的に表現した案内図で表示します。

2D時地図の回転

ノーマルビュー表示時の地図回転の方法を設定します。

ヘディングアップ進行方向が上になるよう、地図が自動回転します。

ノースアップ常に北が上になるように地図が表示されます。

ヘディングレフト進行方向が常に左になるように表示されます。

ヘディングライト進行方向が常に右になるように表示されます。

ノースアップフロントワイド

ノースアップ時に自動的に進行方向の状況がよく見える「フロントワイド」表示にするかどうかを設定します。

オンにするノースアップフロントワイドが機能します。

オフにするノースアップフロントワイドは機能しません。

3D時地図の回転

スカイビューなどの3D地図表示時の地図回転の方法を設定します。

ヘディングアップ進行方向が上になるよう、地図が自動回転します。

目的地アップ常に目的地が上になるように地図が表示されます。ルート未設定時には「ヘディングアップ」と同じになります。

立体ランドマーク表示

スカイビューなどの3D地図表示時、目印になる建物を立体ランドマークで表示するかどうかを設定します。

オンにする立体ランドマークを地図上に表示します。

オフにする立体ランドマーク表示はされません。

シティマップ

詳細市街地図収録エリアを100mスケールより詳細な地図で表示した際、市街地図を表示するかどうかを設定します。

オンにする市街地図が表示されます。

オフにする通常の地図が表示されます。

ビジュアルシティマップ

市街地図をスカイビューなどの3D地図で表示した際、建物を立体的に表示するかどうかを設定します。

オンにする市街地図の建物が立体的に表示されます。

オフにする市街地図の建物が平面的に表示されます。

登録地画像表示

登録した場所に近づいた際、詳細情報としてあらかじめ設定しておいた画像を表示するかどうかを設定します。

オンにする登録した場所に近づいた際、設定しておいた画像が表示されます。

オフにする登録地画像表示はしません。

天気予報表示

天気予報を地図上に表示したり、ルート設定時に目的地付近の天気予報を音声で案内したりするかどうかを設定します。

オンにする地図上に天気予報が表示されます。また、ルート設定時には目的地付近の天気予報が音声で案内されます。

オフにする地図上の天気予報表示、ルート設定時の天気予報音声案内はしません。

昼夜の地図の色

地図の配色が切り換わるタイミングを設定します。

時刻で切り替え 日没 / 日出時刻連動で画面の配色が切り換わります。

イルミで切り替え スモール灯のON / OFFで画面の配色が切り換わります。

常に昼の色 常に昼画面のままです。

軌跡表示

走行軌跡を地図上に表示するかどうかを設定します。

オンにする 実際の走行に沿って、走行軌跡が表示されます。

オフにする 走行軌跡は表示されません。

軌跡自動消去

走行軌跡を消去するタイミングを設定します。

パワーオフにする時 本機の電源を切ると走行軌跡が自動的に消去されます（登録した走行軌跡は消えません）。

しない 走行軌跡の自動消去はしません。

現在地情報の表示

現在地表示の内容を設定します。

市区町村名 現在地を市区町村名で表示します。

緯度経度 現在地を緯度経度で表示します。

しない 現在地表示がOFFになります。

道のり・到着予想時刻表示

ルート設定時に表示される距離・到着予想時刻の対象となるポイントを設定します。

目的地 目的地までの距離と到着予想時刻を表示します。

立寄り地 直近の立寄り地までの距離と到着予想時刻を表示します。

ハイパーツインスクロール

ハイパーツインスクロール（P.11）をするかどうかを設定します。

オンにする ハイパーツインスクロールが機能します。

オフにする ハイパーツインスクロールは機能しません。

ルートインフォメーション

ルート設定時、ルートインフォメーション（P.35）を表示するかどうかを設定します。

オンにする ルート設定時に、ルートインフォメーションが表示されます。

オフにする ルートインフォメーションは表示されません。

「ルートの初期設定」メニューの内容

ルート探索の候補数

ルート探索時に表示される候補ルートの本数を設定します。

- 6 ルート探索時に最大 6 本まで候補ルートを探索します。
- 3 ルート探索時に最大 3 本まで候補ルートを探索します。
- 1 1 本だけの探索で候補ルートの探索はしません。

ルート探索基準

ルートの探索条件を設定します。探索されるルートが 1 本のときに有効になります。(6 本や 3 本のときは、ここでの条件を変えたルートが候補ルートになります。)

- 標準 探索する際、標準的な基準でルートを探索します。
- 距離優先 距離を優先してルートを探索します。
- 幹線優先 幹線道路を優先してルートを探索します。

有料道路

ルートの探索条件を設定します。探索されるルートが 3 本や 1 本のときに有効になります。(6 本のときは、ここでの条件を変えたルートが候補ルートになります。)

- 標準 有料道路を標準的な基準で採用します。
- 優先 有料道路を優先的に採用します。
- 回避 有料道路をなるべく使用しないようにします。

フェリー航路

ルートの探索条件を設定します。探索されるルートの本数に関係なく、ここでの設定が有効になります。

- 標準 フェリー航路を標準的な基準で採用します。
- 優先 フェリー航路を優先的に採用します。
- 回避 フェリー航路をなるべく使用しないようにします。

オートリルート

ルートから外れた際、自動的にリルートを行うかどうかを設定します (P.38)

- オンにする オートリルートが機能します。
- オフにする オートリルートはしません。

リアルタイムリルート

交通状況の変化に応じて自動的にリルートを行うかどうかを設定します (P.39)

- オンにする リアルタイムリルートが機能します。
- オフにする リアルタイムリルートは機能しません。

ルートインフォメーション

「地図の初期設定」メニューの「ルートインフォメーション」と同じです。

到着予想時刻

到着予想時刻算出の基準を設定します。

車の速度を使う 「指定速度」で設定した速度を元に計算した後、実際の走行速度をもとに、到着予想時刻を随時計算しなおします。

指定速度を使う 「指定速度」で設定した速度を元に計算します。

指定速度（一般道）

一般道走行時の、到着予想時刻を計算する際の基準となる速度を設定します。

20km/h 平均速度20km/hとして到着予想時刻を計算します。

30km/h 平均速度30km/hとして到着予想時刻を計算します。

40km/h 平均速度40km/hとして到着予想時刻を計算します。

指定速度（有料道）

有料道路走行時の、到着予想時刻を計算する際の基準となる速度を設定します。

60km/h 平均速度60km/hとして到着予想時刻を計算します。

80km/h 平均速度80km/hとして到着予想時刻を計算します。

100km/h 平均速度100km/hとして到着予想時刻を計算します。

交差点案内表示

「地図の初期設定」メニューの「交差点案内表示」と同じです。

高速施設のイラスト表示

ルート案内時、都市高速出口やジャンクションなどに近づいた際、高速道路施設のイラストを表示するかどうかを設定します。

オンにする 高速施設のイラストを表示します。

オフにする 高速施設のイラスト表示はしません。

学習ルート探索

ルート探索時、よく通る道をルートの一部に使う「学習ルート探索」(P.48)ができるようにするかどうかを設定します。

オンにする 学習ルート探索が機能します。

オフにする 学習ルート探索は機能しません。

登録地のルート探索条件

登録した場所を目的地や立寄地にした際、詳細情報としてあらかじめ設定しておいた探索条件をもとに、ルート探索を行うかどうかを設定します。

オンにする登録した場所の詳細情報に設定された探索条件を元に、ルート探索が行われます。

オフにする詳細情報に設定された探索条件は使いません。

オートフリーズーム

「地図の初期設定」メニューの「オートフリーズーム」と同じです。

道のり・到着予想時刻表示

「地図の初期設定」メニューの「道のり・到着予想時刻表示」と同じです。

渋滞を考慮したルート探索

VICSのピーコン情報をもとに、渋滞を避けたルートを探るかどうかを設定します。この設定はVICS用ピーコン受信機「ND-B3」(別売)を接続時のみ有効です。

オンにする渋滞を避けるルートが探索されます。

オフにする渋滞していないことがわかっている場合など、渋滞情報を考慮する必要がないときに指定します。

「VICSの初期設定」メニューの内容

渋滞表示

渋滞している道路の道塗りを行うかどうかを設定します。

オンにするVICS情報をもとに、渋滞している道路を道塗り表示します。

オフにする渋滞の道塗り表示はされません。

渋滞表示の点滅

渋滞している道路の道塗りを点滅させるかどうかを設定します。「順調表示」が「オンにする」に設定されているときは、常に点滅します。

オンにする渋滞表示を常時点滅で表示します。

オフにする渋滞表示を点滅させません。

順調表示

交通状況が順調なことを示す「順調表示」を行うかどうかを設定します。

オンにするVICS情報をもとに、交通が順調な道路を道塗り表示します。

オフにするVICS情報の順調表示はしません。

規制表示

交通規制に関するVICS情報マークと規制区間を表示するかどうかを設定します。

オンにする交通規制の情報をマークで表示します。

オフにする規制のマークおよび規制区間表示はしません。

駐車場満車表示

駐車場の空き状況に関するVICS情報マークを表示するかどうかを設定します。

- オンにする駐車場の満空情報をマークで表示します。
- オフにするVICS情報の駐車場表示はしません。

区間旅行時間表示

区間旅行時間に関するVICS情報マークを表示するかどうかを設定します。

- オンにする旅行時間をマークで表示します。
- オフにするVICS情報の旅行時間表示はしません。

渋滞情報自動案内

リアルタイムリルートでルートが変わらなかったとき、渋滞情報を自動的に案内するかどうかを設定します。この設定は「リアルタイムリルート」が「オンにする」に設定されているときのみ有効です。

- オンにするVICS情報の自動案内を行います。
- オフにする渋滞情報自動案内はしません。

ビーコン文字図形表示

受信したビーコンの情報をすぐに表示するかどうかを設定します。この設定はVICS用ビーコン受信機「ND-B3」(別売)を接続時のみ有効です。

- 文字・図形ビーコン情報を文字表示(レベル1)と図形表示(レベル2)のどちらかで案内します。都市高速や一般道路を走行しているときはこの設定が便利です。
- 図形ビーコン情報を図形表示(レベル2)のみで案内します。都市間高速を走行しているときはこの設定が便利です。
- しないビーコン情報の案内はしません。

FM多重チューナーの設定

内蔵のFM多重チューナーの使われかたを設定します。

- VICSVICS情報の受信のみに使います。
- D-GPSD-GPSの受信のみに使います。
- VICS/D-GPSダブルVICSとD-GPSを時分割して同時に使います。VICSのみの設定時よりも交通情報の更新が遅くなることがあります。
- 文字多重放送FM文字放送の受信のみに使います。

渋滞を考慮したルート探索

「ルートの初期設定」メニューの「渋滞を考慮したルート探索」と同じです。

「その他の初期設定」メニューの内容

デモ走行

店頭用デモンストレーション機能です（ルートが設定されているときのみ有効です）。通常は使わないでください。この機能を使うと測位精度が低下する場合があります。

オンにするこの設定にすると、案内中のルートに沿ってデモ走行が行われます。

オフにするデモ走行を解除します。

地図情報の網かけ表示

現在地名表示などの背景を網かけ表示するか透明にするかを設定します。

オンにする現在地名表示などの背景が網かけ表示されます。

オフにする組み合わせたTVモニターにより、現在地名表示が見にくいときに設定します。

時計表示

画面に表示される時計の種類を設定します。

デジタルデジタル時計を表示します。

アナログアナログ時計を表示します。

しない時計は表示しません。

センサーメモリー切替

3Dハイブリッドセンサーの学習結果が保存されるメモリーを切り換えます。

メモリー1学習結果がメモリー1に保存されます。年間を通じて同じタイヤで走行する場合には設定を変える必要はありません。

メモリー2学習結果がメモリー2に保存されます。冬期にスタッドレスタイヤへ交換した場合など、メモリー1とはサイズの異なるタイヤにしたときに選びます。

MEMO

メモリー2を初めて使うときは、必ずメモリー2のリセット操作を行ってください。操作方法は、『スタートブック』の「3Dハイブリッドセンサーをリセットする」をご覧ください。

TV走査方式

本機に接続したワイドTVモニターの種類に応じて、走査方式を設定します。

インターレース他社製ワイドTVモニターを接続したときに設定します。

ノンインターレースパイオニア製ワイドTVモニターを接続したときに設定します。また、他社製ワイドTVモニターを接続した際、画面がぼやっとして見にくいときに設定します。

到着予想時刻

「ルートの初期設定」メニューの「到着予想時刻」と同じです。

指定速度（一般道）

「ルートの初期設定」メニューの「指定速度（一般道）」と同じです。

指定速度（有料道）

「ルートの初期設定」メニューの「指定速度（有料道）」と同じです。

FM多重チューナーの設定

「VICSの初期設定」メニューの「FM多重チューナーの設定」と同じです。

オート発話スタンバイ

音声操作の方式を設定します。AVIC-D9500/7000の場合、この設定は通信・音声認識キット「CD-HV100」(別売)を接続時のみ有効です。

オンにする 音声認識コントローラーの〔発話〕ボタンを1回押した後、連続して音声認識語を発話できます。

オフにする 発話ごとに〔発話〕ボタンを押す方法で音声操作を行います。

ボイスヘルプ

音声操作中、音声認識語の内容を説明する「ボイスヘルプ」を常に表示するかどうかを設定します。AVIC-D9500/7000の場合、この設定は通信・音声認識キット「CD-HV100」(別売)を接続時のみ有効です。

発話ボタンで表示 音声操作中は常にボイスヘルプが表示されます。(ただし走行中は表示されません。)

ボイスコマンドで表示 “ボイスヘルプ”と発話した時点で、ボイスヘルプが表示されます。

オーディオミュート

パイオニア製ミュート端子付きカーステレオと組み合わせているときに、自動的にオーディオの音量を下げるタイミングを設定します。AVIC-D9500/7000の場合、この設定は通信・音声認識キット「CD-HV100」(別売)を接続時のみ有効です。

ガイド・電話・認識 ナビゲーションの音声案内中、通話中、音声操作中のどのタイミングでも、自動的にオーディオの音量が下がります。

電話・認識 通話中、または音声操作中のタイミングで、自動的にオーディオの音量が下がります。

しない オーディオミュートはしません。

音声認識ノイズマイク

本体内蔵の専用ノイズマイクを使うかどうかを設定します。AVIC-D9500/7000の場合、この設定は通信・音声認識キット「CD-HV100」(別売)を接続時のみ有効です。

オンにするノイズマイクによってロードノイズなどの雑音が打ち消されず、本体の設置場所によっては本来の発話をノイズとして拾ってしまい、認識率が下がることがあります。その場合は「オフにする」にしてください。

オフにするノイズマイクは使いません。

電話操作・ハンズフリー

携帯電話を接続した際、本機の音声認識用マイク・スピーカーを電話のハンズフリー用としても利用するかどうかを設定します。また、リモコンで電話をかける・切るなどの操作を行うかどうかを設定します。AVIC-D9500/7000の場合、この設定は通信・音声認識キット「CD-HV100」(別売)を接続時のみ有効です。

オンにする本機の音声認識用マイク・スピーカーを携帯電話のハンズフリー用としても利用できるようになります。

オフにする携帯電話のハンズフリー用には利用しません。リモコンでの電話操作もできなくなります。

自転車位置のずれを修正する

マップマッチングは「車は道路上を走るもの」という考え方を基本にしています。このため、地図上の道路データと実際の道路の形状が異なっている場合や、複数の道路が近接している場合などでは、実際に走っているのとは異なる道路に自転車位置が表示されてしまうことがあります。

間違った位置に自転車マークがあるときは、正しい位置に補正することができます。自転車位置を正確に修正するために、自転車位置修正は停車中に行ってください。

1. メインメニューの【その他の操作】【設定を変える】を選び、〔決定〕ボタンを押す
2. 【自転車位置修正】を選び、〔決定〕ボタンを押す
3. 自分の車がいる道路に十字カーソルを合わせ、〔決定〕ボタンを押す
4. ジョイスティックを左右に動かして自転車マークの方位を合わせ、〔決定〕ボタンを押す



3. 自分の車がいる道路に十字カーソルを合わせ、〔決定〕ボタンを押す



ハードウェアの調整を行う

音量を調整する

ルートの音声案内が小さくて聞こえにくい場合には、音量調整を行ってください。

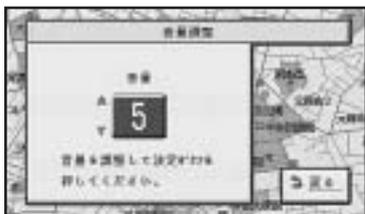
1. メインメニューの【その他の操作】
【設定を変える】を選び、〔決定〕ボタンを押す
2. 【ハードウェアの調整】を選び、〔決定〕ボタンを押す



3. 【音量調整】を選び、〔決定〕ボタンを押す



4. ジョイスティックを上下に倒して音量を調整して、〔決定〕ボタンを押す



MEMO

操作が終わったら、必ず〔決定〕ボタンを押してください。〔決定〕ボタンを押さないと、変更内容が記憶されません。リモコン設定スイッチの設定によっては、リモコンのVOLツマミでも調整できます。(『スタートブック』P.12)

配線の接続状態を確認する

配線が正しく接続されているか、専用の接続確認画面で確認することができます。

1. メインメニューの【その他の操作】
【設定を変える】を選び、〔決定〕ボタンを押す
2. 【ハードウェアの調整】を選び、〔決定〕ボタンを押す
3. 【接続確認画面】を選び、〔決定〕ボタンを押す

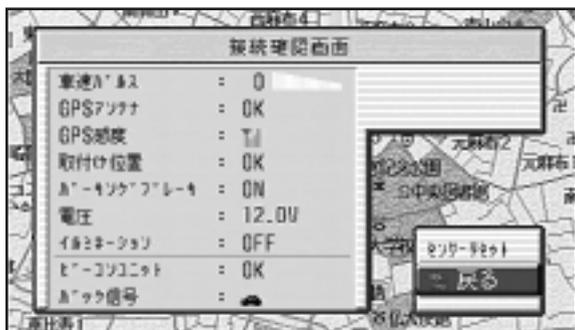


MEMO

「センサーのリセットを行ってください」と表示されたときは、『スタートブック』をご覧ください。3Dハイブリッドセンサーのリセットを行ってください。

4. 接続状態を確認する
画面の詳細は、「接続確認画面の見かた」(次項)をご覧ください。
5. 確認し終わったら、〔戻る〕ボタンを押す

接続確認画面の見かた



車速パルス：現在本機が認識している車速パルスの数を示しています。停車中の場合は「0」が表示されます。車を走行させると、速度に応じて「ピッ」という発音音がして、数字とともに変化します。車速パルスの確認は、安全な場所で、低速（時速5km程度）で行ってください。

GPSアンテナ：GPSアンテナの接続状態を示しています。正しく接続されているときは「OK」と表示されます。「NG」と表示された場合は、GPSアンテナの接続状態を確認してください。

GPS感度：GPS衛星の電波をどの程度強く受信できているかを示しています。バーが多いほど受信感度が良好です。バーの数が少ない場合は、GPSアンテナの設置場所を電波の受信しやすい車のルーフやトランクリッドなどに変えてみてください。

取付け位置：本機の設置状態を示しています。正しく設置されているときは「OK」と表示されます。「NG」と表示された場合は、『取付説明書』をご覧になって設置状態を確認してください。

パーキングブレーキ：パーキングブレーキの状態を示しています。パーキングブレーキがかかっているときは「ON」、解除されているときは「OFF」と表示されます。ブレーキペダルを踏んでパーキングブレーキを操作してみて正しく表示していることを確認してください。

電圧：車のバッテリーから本機に供給されている電源電圧が表示されます。エンジンをかけた状態で11～15Vの範囲にないときは、電源コードの接続状態を確認してください。なお、最大で±0.5V程度の誤差があるため、この表示は参考値です。

イルミネーション：イルミネーションの状態を示しています。車のライトが点灯しているときは「ON」、消灯しているときは「OFF」と表示されます。ライトの点灯/消灯を正しく表示していることを確認してください。

ビーコンユニット：VICS用ビーコン受信機の接続状態を示しています。正しく接続されているときは「OK」と表示されます。「NG」と表示された場合は、VICS用ビーコン受信機の接続状態を確認してください。

バック信号：車速パルス発生機「ND-PG1」（別売）を接続した場合に、バック信号入力の接続状態を示しています。シフトレバーを「R」（リバース）の位置にするとマークが左右反転します。ブレーキペダルを踏んで、シフトレバーを操作してみて正しく表示していることを確認してください。

TVモニターの表示位置を調整する

TVモニターの表示位置がずれているときは、表示位置を調整してください。



調整の結果、極端にずらすと画面の一部が表示されなくなります。赤い枠線が表示されますので、その線を超えない範囲で調整してください。

パイオニア製のTVモニターで自動的に調整されるものと組み合わせた場合、このメニューは選べません。

1. メインメニューの【その他の操作】
【設定を変える】を選び、〔決定〕ボタンを押す
2. 【ハードウェアの調整】を選び、〔決定〕ボタンを押す
3. 【画面上下左右調整】を選び、〔決定〕ボタンを押す



4. ジョイスティックを倒して映像が画面の中央にくるように調整し、〔決定〕ボタンを押す



Chapter 9

ショートカットメニュー・ダイレクトキー

この章の内容

ショートカットメニューを使う	174
ダイレクトキーを使う	179
10キーをカスタマイズする	180
10キーに割り当て可能な機能の一覧	182

ショートカットメニューを使う

本機には、〔メニュー〕ボタンを押して表示されるメインメニューのほかに、比較的利用頻度の高い機能だけを集めたメニューも用意されています。これを「ショートカットメニュー」といいます。

メニューを表示させる

〔決定〕ボタンを短く押すと、状況に応じて以下のようなメニューが表示されます。

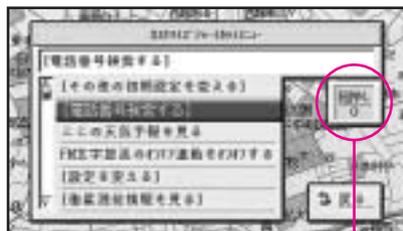


スクロール画面



案内中のルートがある現在地画面

また、〔決定〕ボタンを2秒以上長く押すと、ダイレクトキーに割り当てられている機能がメニューとして表示されます。〔決定〕ボタンを押すと、操作もできます。このメニューの詳細は、「ダイレクトキーを使う」(P.179)をご覧ください。



選んでいるメニューが割り当てられている10キー

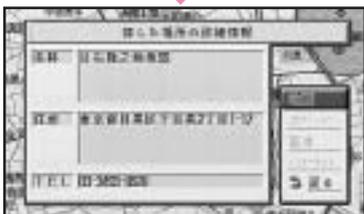
ここの情報を見る

ショートカットメニューの「ここの情報を見る」は、十字カーソルを合わせた場所の各種情報を表示します。VICs情報マークや、登録した場所のマークに十字カーソルを合わせると、詳細情報が見れます。マークのない場所では、その場所付近の地名などが表示されます。

1. 情報を見たいマークに十字カーソルを合わせる



2. [決定]ボタンを押して、ショートカットメニューを表示させる
3. 【ここの情報を見る】を選び、[決定]ボタンを押す



MEMO

複数のマークが重なっているときは、重なっているマークのリストが表示されます。その中から情報を見たい場所を選んでください。

ルート関連のマークに合わせたときはルート関連のマーク(出発地、案内地点、立寄地、目的地)に十字カーソルを合わせて、ショートカットメニューを表示させ、「ここの情報を見る」を選んで[決定]ボタンを押すと、ルートスクロールモード(P.75)に切り換わります。

複数のマークが重なっているときは、重なっているマークのリスト表示の中で「ルートスクロール」と表示されます。

高速道路上の情報マークに合わせたときは

高速道路上の情報マークに十字カーソルを合わせて、ショートカットメニューを表示させ、「ここの情報を見る」を選んで[決定]ボタンを押すと、ハイウェイモードに切り換わります(P.19)。

複数のマークが重なっているときは、重なっているマークのリスト表示の中で「ハイウェイモード」と表示されます。

VICs情報マークに合わせたときはVICs情報マークに十字カーソルを合わせて、ショートカットメニューを表示させ、「ここの情報を見る」を選んで[決定]ボタンを押すと、VICs情報が表示されます(P.94)。

複数のマークが重なっているときは、重なっているマークのリスト表示の中で「VICs情報」と表示されます。



ここへ行く

ショートカットメニューの「ここへ行く」は、十字カーソルを合わせた場所を行き先としてルートを探します。



もっとも効率のよいルート 1 本だけが探索され、自動的に設定されます。

案内中のルートがあるときにこの操作を行うと、十字カーソルを合わせた場所を一番手前の立寄地(最初に向かう立寄地)としたルートに修正されます(最終的な行き先に変更はありません)。

すでに立寄地が5ヶ所設定されているルートでは、この操作はできません。

1. 行き先または立寄地にしたい場所に十字カーソルを合わせる
2. [決定]ボタンを押して、ショートカットメニューを表示する
3. 【ここへ行く】を選び、[決定]ボタンを押す



ここを登録する

ショートカットメニューの「ここを登録する」は、十字カーソルを合わせた場所を登録します。名前は十字カーソル付近の地名で、マークは虫ピンで登録されます。

1. 登録したい場所に十字カーソルを合わせる
2. [決定]ボタンを押して、ショートカットメニューを表示する
3. 【ここを登録する】を選び、[決定]ボタンを押す



MEMO

登録した場所の名前やマークを変えたときは、「登録した場所の詳細情報を編集する」(P.83)をご覧ください。

この周辺で探す

ショートカットメニューの「この周辺で探す」は、いちばん最後に「場所を探す」メニューの「周辺で探す」(P.65)で探したジャンルやお店を、十字カーソルを合わせた場所付近から探して、地図上にロゴマーク表示します。場所を移動して繰り返し同じものを探したいときに便利です。



ご購入後、一度も「周辺で探す」を行っていない場合、このメニューは選べません。ここで表示させたロゴマークは、電源を切ると消去されます。

1. お店を探したい場所に十字カーソルを合わせる
2. [決定]ボタンを押して、ショートカットメニューを表示する
3. 【この周辺で探す】を選び、[決定]ボタンを押す



ルートスクロール

ショートカットメニューの「ルートスクロール」は、ルートスクロールモード(P.75)に切り換わって、ルートの道順を確認することができます。



この項目は、ルート案内中の現在地画面で、自車マークがルート上を走行中のときのみ表示されます。

ルート案内中の現在地画面でも、自車マークがルート上にないときは「ルートスクロール」がグレー表示になり選べません。

1. 現在地画面で[決定]ボタンを押して、ショートカットメニューを表示する
2. 【ルートスクロール】を選び、[決定]ボタンを押す



ここに電話をかける

ショートカットメニューの「ここに電話をかける」は、十字カーソルを合わせた地図上のマークに登録されている電話番号を参照して、自動的にその電話番号に発信します。



このメニューは、本機に携帯電話を接続したときのみ選ぶことができます。

1. 電話をかけたい場所のマークに十字カーソルを合わせる
2. [決定]ボタンを押して、ショートカットメニューを表示する
3. 【ここに電話をかける】を選び、[決定]ボタンを押す



MEMO

複数のマークが重なっているときは、重なっているマークのリストが表示されます。その中から電話をかける場所を選んでください。

ダイレクトキーを使う

リモコンの10キー、〔案内〕ボタン、〔リルート〕ボタン、〔迂回〕ボタンには、次の機能が割り当てられています。これらのボタンを総称して、「ダイレクトキー」といいます。ダイレクトキーを押すと、割り当てられた機能がワンタッチで動作します。

10キーに割り当てられた機能

このキーを...	短く押すと...	2秒以上長く押すと...
〔0〕キー	[電話番号検索する]	-
〔1〕キー	ここの天気予報を見る	-
〔2〕キー	FM文字放送のオンエア連動をオンオフする	-
〔3〕キー	[設定を変える]	-
〔4〕キー	[衛星測位情報を見る]	-
〔5〕キー	[走行状態を見る]	-
〔6〕キー	オートリルートをオンオフする	-
〔7〕キー	オートフリーズームをオンオフする	-
〔8〕キー	ルートインフォメーションをオンオフする	-
〔9〕キー	短押しコマンドを表示する	長押しコマンドを表示する
〔*〕キー	現在の日付を読み上げる	-
〔#〕キー	現在の時刻を読み上げる	[その他の初期設定を変える]

MEMO

割り当てられた機能の〔 〕は、ナビゲーションのメニュー画面や操作画面、情報画面を表示させることを表しています。

10キーの機能割り当ては変更することができます。詳しくは、「10キーをカスタマイズする」(P.180)をご覧ください。

その他のキー(10キー以外のダイレクトキー)に割り当てられた機能

このキーを...	短く押すと...	2秒以上長く押すと...
〔案内〕ボタン	リクエスト案内	渋滞リクエスト案内
〔リルート〕ボタン	全ルート再探索	自宅ルート探索
〔迂回〕ボタン	迂回路探索	地図上の文字の一時消去

10キーをカスタマイズする

ダイレクトキーの中で、10キーの機能割り当て(P.182)を変更することができます。

1. メインメニューの【その他の操作】
【設定を変える】を選び、〔決定〕ボタン
を押す



2. 【10キーのカスタマイズ】を選び、
〔決定〕ボタンを押す



現在10キーを短く押した場合に割り当てられている機能が表示される。

MEMO

メッセージは約4秒後に自動的に消えます。

【長押し】を選んで〔決定〕ボタンを押すと、長押しに設定されている機能が表示されます。

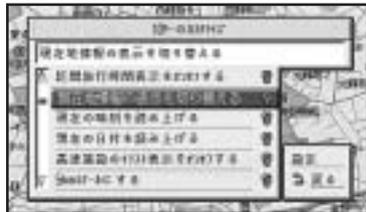
3. 設定を変更する10キーを押す
短く押した場合は短押しの際の機能を、長く押した場合は長押しの際の機能を割り当てられます。



すでに機能が割り当てられているキーの場合は、その機能が選択された状態の表示になる。

選択している機能がすでに割り当てられている場合はそのボタンが表示される。

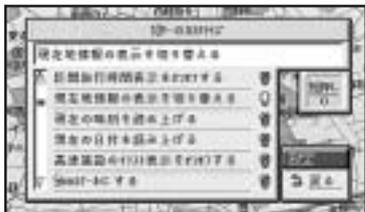
4. ジョイスティックを上下に動かして割り当てたい機能を選び、〔決定〕ボタンを押す



MEMO

〔決定〕ボタンを押すたびに、ランプが点灯/消灯します。

5. ランプを点灯させた後、【設定】を選んで〔決定〕ボタンを押す



6. 【終了】を選び、〔決定〕ボタンを押す



購入直後のキー割り当てに戻す

10キーにいずれかに、前ページで説明した操作で「カスタマイズを初期状態にする」を選んで設定した後、そのキーを押すと、10キーの機能が購入直後の割り当てに変更されます。



MEMO

初期状態の割り当てについては、「10キーに割り当て可能な機能の一覧」(P.182)をご覧ください。

おすすめのキー割り当てに変更する前ページで説明した操作で「カスタマイズをおすすめにする」を設定した10キーを押すと、10キーの機能がおすすめの割り当てに変更されます。



MEMO

おすすめの割り当てについては、「おすすめのキー割り当て」(P.186)をご覧ください。

10キーに割り当て可能な機能の一覧

機能	内容
ここの天気予報を読み上げる	現在地、または十字カーソルを合わせた場所の天気予報が読み上げられます。
ここを立寄地にする	十字カーソルを合わせた場所を案内中のルートに立寄地として追加します。
ノースアップで25mスケールにする	25mスケールでノースアップの地図が表示されます。
シティマップをオンオフする	「地図の初期設定」メニューの「シティマップ」の設定が切り換わります。
ビジュアルシティマップをオンオフする	「地図の初期設定」メニューの「ビジュアルシティマップ」の設定が切り換わります。
ハイパーツインスクロールをオンオフする	「地図の初期設定」メニューの「ハイパーツインスクロール」の設定が切り換わります。
デジカメリンクをオンオフする	「地図の初期設定」メニューの「登録地画像表示」の設定が切り換わります。
天気予報表示をオンオフする	「地図の初期設定」メニューの「天気予報表示」の設定が切り換わります。
[天気予報データを取得する]	「予報データを取る」画面が表示されます。
電話操作・ハンズフリーをオンオフする	「その他の初期設定」メニューの「電話操作・ハンズフリー」の設定が切り換わります。
10mスケールにする	指定したスケールの地図が表示されます。
25mスケールにする	(上と同じ)
50mスケールにする	(上と同じ)
100mスケールにする	(上と同じ)
200mスケールにする	(上と同じ)
500mスケールにする	(上と同じ)
1kmスケールにする	(上と同じ)
2kmスケールにする	(上と同じ)
5kmスケールにする	(上と同じ)
10kmスケールにする	(上と同じ)
20kmスケールにする	(上と同じ)
50kmスケールにする	(上と同じ)
100kmスケールにする	(上と同じ)
200kmスケールにする	(上と同じ)
500kmスケールにする	(上と同じ)
2D地図の回転を切り替える	「地図の初期設定」メニューの「2D時地図の回転」の設定が切り換わります。

次ページに続く

機能	内容
3D地図の回転を切り替える	「地図の初期設定」メニューの「3D地図の回転」の設定が切り換わります。
[FM図形放送]	「FM図形放送」画面が表示されます。
[FM文字 / 図形放送のFM放送局選択]	FM文字放送を選局する画面が表示されます。
FM文字放送のオンエア運動をオンオフする	現在オンエア中の番組内容や曲名などが現在地画面に表示されます。(スクロール中やルートの交差点案内表示中は表示されません。)
[FM文字放送]	「FM文字放送」画面が表示されます。
FM多重チューナー設定を切り替える	「VICSの初期設定」メニューの「FM多重チューナーの設定」の設定が切り換わります。
[VICS情報のFM図形情報]	VICS情報のFM図形情報の画面が表示されます。
[VICS情報のFM文字情報]	VICS情報のFM文字情報の画面が表示されます。
[VICS情報の初期設定]	「VICSの初期設定」メニューが表示されます。
[VICS情報の地図情報]	VICS情報の詳細画面が表示されます。
[VICS情報の放送局選局]	VICS放送を選局する画面が表示されます。
地図情報の網掛け表示をオンオフする	「地図の初期設定」メニューの「地図情報の網掛け表示」の設定が切り換わります。
[案内中のルートを再び探索する]	ルート再探索の探索開始画面が表示されます。
[行き先を探して決める]	行き先の検索方法を選択する画面が表示されます。
[衛星測位情報を見る]	衛星測位情報画面が表示されます。
オートアンテナを上下する	オートアンテナを上げ下げします。
オートフリーズームをオンオフする	「地図の初期設定」メニューの「オートフリーズーム」の設定が切り換わります。
オートリルートをオンオフする	「ルートの初期設定」メニューの「オートリルート」の設定が切り換わります。
[案内中のルートの出発地へ帰る]	帰路探索の探索開始画面が表示されます。
規制表示をオンオフする	「VICSの初期設定」メニューの「規制表示」の設定が切り換わります。
[軌跡を消去する]	走行軌跡を消去する画面が表示されます。
道のり・到着予想時刻表示を切り替える	「ルートの初期設定」メニューの「道のり・到着予想時刻表示」の設定が切り換わります。
区間旅行時間表示をオンオフする	「VICSの初期設定」メニューの「区間旅行時間表示」の設定が切り換わります。
現在の日付を読み上げる	現在の日付が音声で案内されます。
現在地情報の表示を切り替える	「地図の初期設定」メニューの「現在地情報の表示」の設定が切り換わります。
現在の時刻を読み上げる	現在の時刻が音声で案内されます。
高速施設のイラスト表示をオンオフする	「ルートの初期設定」メニューの「高速施設のイラスト表示」の設定が切り換わります。

次ページに続く

機能	内容
[自車位置修正] 自車方位を反転する	自車位置を修正する画面が表示されます。 駐車場のターンテーブルなどで旋回を行った際、自車マークの方位が180度ずれたときに、元の方位に戻ります。
渋滞を考慮したルート探索をオンオフする	「VICISの初期設定」メニューの「渋滞を考慮したルート探索」の設定が切り換わります。
渋滞情報の点滅表示をオンオフする	「VICISの初期設定」メニューの「渋滞表示の点滅」の設定が切り換わります。
渋滞表示をオンオフする	「VICISの初期設定」メニューの「渋滞表示」の設定が切り換わります。
周辺検索マークをオンオフする	周辺検索で表示させたロゴマークの表示をON/OFFします。
渋滞情報自動案内をオンオフする	「VICISの初期設定」メニューの「渋滞情報自動案内」の設定が切り換わります。
順調表示をオンオフする	「VICISの初期設定」メニューの「順調表示」の設定が切り換わります。
スカイビューにする	地図の表示方法がスカイビューに切り換わります。
[設定を変える]	「設定を変える」のメニュー画面が表示されます。
[センサー学習状況を見る]	センサー学習状況画面が表示されます。
[走行状態を見る]	走行状態表示画面が表示されます。
[その他の初期設定を変える]	「その他の初期設定」メニューが表示されます。
短押しコマンドを表示する	現在10キーに設定されている、短押しコマンドが一覧表示されます。(ルートの交差点案内表示中は、表示されません。)
[地図の初期設定を変える]	「地図の初期設定」メニューが表示されます。
駐車場満車表示をオンオフする	「VICISの初期設定」メニューの「駐車場満車表示」の設定が切り換わります。
ツインビュースケールを切り替える	「地図の初期設定」メニューの「ツインビュースケール」の設定が切り換わります。
ツインビューにする	地図の表示方法がツインビューに切り換わります。
[データを編集する]	「データを編集する」のメニュー画面が表示されず。
[10キーのカスタマイズ]	「10キーのカスタマイズ」の画面が表示されます。
[電話番号検索する]	「電話番号を入力して探す」の画面が表示されます。
カスタマイズを初期状態にする	10キーの機能割り当てが購入直後の状態に戻ります。
時計表示を切り替える	「その他の初期設定」メニューの「時計表示」の設定が切り換わります。
ナイアガラビューにする	地図の表示方法がナイアガラビューに切り換わります。

次ページに続く

機能	内容
長押しコマンドを表示する	現在10キーに設定されている、長押しコマンドが一覧表示されます。(ルートの交差点案内表示中は、表示されません。)
ノーマルビューにする [ハードウェアの調整]	地図の表示方法がノーマルビューに切り換わります。「ハードウェアの調整」のメニュー画面が表示されます。
ハイウェイマップにする ハイウェイモードにする	地図の表示方法がハイウェイマップに切り換わります。地図の表示方法がハイウェイモードに切り換わります。
[場所を探す]	場所の検索方法を選択する画面が表示されます。
ビーコンの最新情報を見る	受信したビーコンのVICS情報が表示されます。
[VICS情報のビーコン図形情報]	VICS情報のビーコン図形情報の画面が表示されます。
[VICS情報のビーコン文字情報]	VICS情報のビーコン文字情報の画面が表示されます。
ビーコン文字図形表示を切り替える	「VICSの初期設定」メニューの「ビーコン文字図形表示」の設定が切り換わります。
リアルタイムルートをオンオフする	「ルートの初期設定」メニューの「リアルタイムルート」の設定が切り換わります。
立体ランドマーク表示をオンオフする	「地図の初期設定」メニューの「立体ランドマーク表示」の設定が切り換わります。
ルートインフォメーションを オンオフする	「地図の初期設定」メニューの「ルートインフォメーション」の設定が切り換わります。
[ルートの初期設定を変える]	「ルートの初期設定」メニューが表示されます。
[ロゴマークを選ぶ]	「ロゴマークを選ぶ」の画面が表示されます。
ロゴマークをオンオフする	「ロゴマークを選ぶ」で表示させたロゴマークの表示をON/OFFします。
[ロゴマークを見る]	「ロゴマークを見る」の画面が表示されます。
[コスチュームを見る]	音声操作のキャラクターを確認できます。
軌跡のエンドレスファイルを消去する	現在記録中の走行軌跡が消去されます。
ここの天気予報を見る	現在地、または十字カーソルを合わせた場所の天気予報の詳細画面が表示されます。
カスタマイズをおすすめにする	10キーの機能割り当てがおすすめの設定に切り換わります。
ドライバーズビューにする	地図の表示方法がドライバーズビューに切り換わります。
ルート探索の候補数を切り替える	「ルートの初期設定」メニューの「ルート探索の候補数」の設定が切り換わります。
カスタマイズを消去する	10キーの機能割り当てがすべて消去されます。
ここを目的地にする	十字カーソルを合わせた場所を目的地としてルートを探索します。

おすすめのキー割り当て

	短く押すと...	2秒以上長く押すと...
[0] キー	[電話番号検索する]	[10キーのカスタマイズ]
[1] キー	ここの天気予報を見る	周辺検索マークをオンオフする
[2] キー	FM文字放送のオンエア連動 をオンオフする	ロゴマークをオンオフする
[3] キー	[設定を変える]	[データを編集する]
[4] キー	[衛星測位情報を見る]	[センサー学習状況を見る]
[5] キー	[走行状態を見る]	[場所を探す]
[6] キー	オートリルート をオンオフする	リアルタイムリルート をオンオフする
[7] キー	オートフリーズーム をオンオフする	渋滞を考慮したルート探索 をオンオフする
[8] キー	ルートインフォメーション をオンオフする	ツインビュースケールを 切り替える
[9] キー	短押しコマンドを表示する	長押しコマンドを表示する
[*] キー	現在の日付を読み上げる	[ログマークを見る]
[#] キー	現在の時刻を読み上げる	[ログマークを選ぶ]

Chapter 10

音声で操作する

この章の内容

音声操作のポイント	188
地図を操作する	193
地図上の情報を確認する	194
場所を探す	196
ルートを探索する	200
ルートを修正する・消す	202
テレビの操作	203
電話の操作	204
10キーの操作	205
検索できるジャンルの種類	206
住所やインターチェンジの読みかた	208
施設名の読みかた	209
都道府県名の読みかた	210
音声操作の設定を変える	212

音声操作のポイント

本機では、いろいろな機能を音声で操作することができます。音声で操作するときは、次のポイントを押えて操作してください。



AVIC-D9500/D7000で音声操作を行うには、通信/音声認識キット「CD-HV100」(別売)が必要です。

パイオニア製ミュート端子付きカーステレオをお使いの場合は、発話の際、自動的に音量を下げるすることができます。

「その他の初期設定」メニューの「音声認識ノイズマイク」(P.168)の設定をONにすることで、路面から拾う雑音(ロードノイズ)などを打ち消せます。

正しく発話を認識させるには

発話を正しく認識させるために、以下の点に留意してください。

カーステレオの音量を下げる

発話以外の音があると、認識されにくくなったり、誤認識の原因になります。例えば、ラジオからの音声や、音声認識語と誤認識されることも考えられます。

自動車の窓は閉めておく

カーステレオの音と同様、風切り音や外の騒音などは、発話を正しく認識できない原因となるので、自動車の窓は必ず閉めてください。

マイクはドライバーの声を拾いやすい向きと距離に取り付ける

発話した声をマイクが十分に拾うよう、マイクはドライバーの声を拾いやすい向きと距離に取り付けてください。発話時に姿勢を変えると、使いにくいだけでなく、安全な走行にも支障があります。十分留意して、マイクの取付位置を決めてください。

マイクの取り付けかたについては、『取付説明書』をご覧ください。

はっきりと明瞭に発話する

早口になったり、口ごもったりしないよう、はっきりと、明瞭に発話してください。マイクが適切な位置に取り付けられていれば、大きな声を出す必要はありません。

音声認識語を正しく発音する

にぎらないはずの音をにごって発話すると、正しく認識されない原因となります。また、読み方のルール(P.208)に沿わない発話も正しく認識されないことがあります。

音声案内中は発話しない

本機から、案内の音声や応答メッセージが出ているときは、発話しないでください。

音声操作の流れ

発話するタイミング

発話するときは、“ブツ”と音が鳴って画面左下のキャラクターが首をかしげ、マイクを差し出してから発話してください。通常の姿勢(首をかしげていない状態)のときは、〔発話〕ボタンを押すと、首をかしげます。



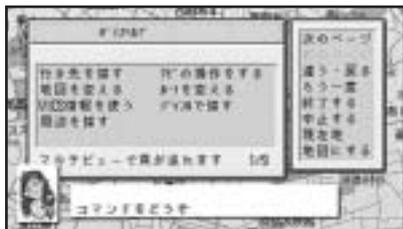
この状態のときに発話してください。



この状態のときは発話できません。

音声操作に慣れるまで、停車状態で練習し、“ブツ”という音とキャラクターが首をかしげるタイミングをつかんでください。走行時には、“ブツ”という音をきっかけに発話してください。

発話できる言葉がわからないときは、停車しているときは、音声操作を始めると、画面にそのときに発話できる音声認識語の一覧「ボイスヘルプ」が表示されます。



操作に慣れないうちは、安全な場所に停車して、ボイスヘルプに表示された音声認識語を参考にして発話してください。

なお、走行中は画面上には表示されませんが、“ボイスヘルプ”と発話すると、発話できる言葉をナビゲーションが音声で読み上げてくれます。(停車中でも音声での読み上げは行われます。)

MEMO

“次のページ”や“前のページ”と発話するか、マルチビューコントローラーを左右に倒すとページ送りができます。また、ナビゲーションがそのページの内容を音声で読み上げます。

ボイスヘルプに表示されなくても、発話できる言葉もあります。

ボイスヘルプを一時的に消したいときは、“地図にする”と発話してください。もう一度表示させたいときは、“ボイスヘルプ”と発話してください。

操作に慣れてボイスヘルプを見る必要がなくなったときは、「その他の初期設定」メニューの「ボイスヘルプ」(P.167)を「ボイスコマンドで表示」に設定すると表示されなくなります。この場合、“ボイスヘルプ”と発話したときだけ表示されます。

先に音声認識語を発話してから操作を進める「通常発話モード」

[発話]ボタンを短く1回押して音声操作を始めると、先に音声認識語を発話してから操作を進める「通常発話モード」での音声操作になります。

1. [発話]ボタンを短く1回押す

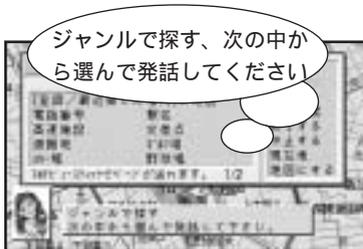
画面上に女性キャラクターが表示されます。“プッ”と音が鳴ってキャラクターが首をかじげたら、発話を受け付け可能な状態になります。



MEMO

操作の際は、“プッ”という音をきっかけに発話してください。

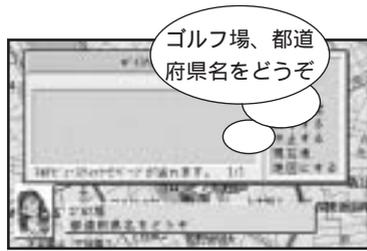
2. “プッ”と音が鳴ったら、“ジャンルで探す”などの音声認識語をマイクに向かって発話する



MEMO

ナビゲーションが応答メッセージを返している間でも、[発話]ボタンを押すと発話できます。(応答メッセージが中断されて、“プッ”と音が鳴ります。)

3. “プッ”と音が鳴ったら、ジャンル名を発話する(例：“ゴルフ場”)



4. “プッ”と音が鳴ったら、都道府県名を発話する(例：“埼玉県”)



5. “プッ”と音が鳴ったら、施設名を発話する(例：“日高カントリークラブ”)



目的の場所の地図が表示されます。

先に施設名などを発話してから操作を進める「施設名ダイレクトスタート」〔発話〕ボタンを2秒以上長く押して音声操作を始めると、先に施設名を発話してから操作を進める「施設名ダイレクトスタート」での音声操作になります。

施設名ダイレクトスタートでは、最後に「ここへ行く」「ここを登録する」「ここへ電話をかける」の中から、施設に対して行いたい操作を発話します。

1. 〔発話〕ボタンを2秒以上長く押す
画面上に女性キャラクターが表示されます。“プッ”と音が鳴ってキャラクターが首をかしげたら、発話を受け付け可能な状態になります。



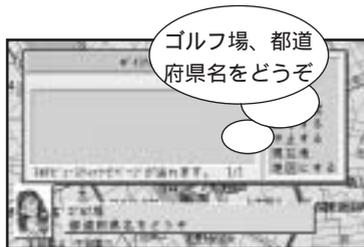
MEMO

操作の際は、“プッ”という音をききかたに発話してください。

2. “プッ”と音が鳴ったら、施設名をマイクに向かって発話する（例：“日高カントリークラブ”）



3. “プッ”と音が鳴ったら、ジャンル名を発話する（例：“ゴルフ場”）



4. “プッ”と音が鳴ったら、都道府県名を発話する（例：“埼玉県”）



5. “プッ”と音が鳴ったら、“ここへ行く”などの音声認識語を発話する



ルート探索が始まります。

MEMO

施設名ダイレクトスタートの場合、ナビゲーションが「コマンドをどうぞ」と聞いてきたときに、“名前が違う”と発話するか、〔発話〕ボタンを2秒以上長く押すことで、最初に発話した施設名を発話し直すことができます。

ナビゲーションが認識した言葉が発話した言葉と違っていたときは

「千葉県」「滋賀県」「佐賀県」のように発音が似ている地名では、“千葉県”と発話しているのに「滋賀県」と認識されることがあります。

このような場合は〔訂正〕ボタンを押すと、ナビゲーションが、誤認識した言葉と第2候補を自動的に入れ換えて応答メッセージを返してきます。

第2候補が正しければ、そのまま次の発話へ進んでください。第2候補も間違っているときは、もう一度〔訂正〕ボタンを押して発話し直してください。

MEMO

第2候補がない場合もあります。その場合は、〔訂正〕ボタンを押した後、発話し直してください。

誤認識した言葉は一時的に認識候補から外されるので、正しく認識しやすくなります。

県名は、“千葉県” “関東の千葉県” というように、より認識しやすい言葉に言い換えることができます。「都道府県名の読みかた」(P.210)をご覧ください。

〔訂正〕ボタンを押すかわりに“違う”と発話しても、同じ操作を行えます。

言い間違えた場合など、直前の操作に戻りたいときは

“戻る”と発話してください。直前の画面に戻り、次の発話待ちの状態になります。

応答メッセージを聞き逃したときは

“もう一度”と発話してください。直前の応答メッセージが繰り返されます。

操作を途中でやめたいときは

“終了する”または“中止する”と発話してください。地図画面に戻ります。

MEMO

リモコンの〔メニュー〕ボタンや〔現在地〕ボタンを押しても、音声操作を中止して地図画面に戻ることができません。

“基本の操作”と発話すると、上記のような音声操作の基本となる言葉をナビゲーションが読み上げてくれます。

地図を操作する

[発話] ボタンを短く1回押して、「通常発話モード」(P.190)で操作します。

こんなときには	このように発話してください
[現在地画面の表示]	
現在地の地図にする	“ 現在地にする ” または “ 現在地 ”
[地図の操作全般]	
地図を変える音声認識語を順番に読み上げる	“ 地図を変える ”
[地図縮尺の変更]	
地図縮尺を変える音声認識語を順番に読み上げる	“ スケール変更 ”
詳細な地図にする	“ 詳細 ”
広域の地図にする	“ 広域 ”
10mスケールの地図で表示する	“ 10メートルスケール ”
25mスケールの地図で表示する	“ 25メートルスケール ”
50mスケールの地図で表示する	“ 50メートルスケール ”
100mスケールの地図で表示する	“ 100メートルスケール ”
200mスケールの地図で表示する	“ 200メートルスケール ”
500mスケールの地図で表示する	“ 500メートルスケール ”
1kmスケールの地図で表示する	“ 1キロメートルスケール ”
2kmスケールの地図で表示する	“ 2キロメートルスケール ”
5kmスケールの地図で表示する	“ 5キロメートルスケール ”
[地図のスクロール]	
地図をスクロールする音声認識語を順番に読み上げる	“ 地図を動かす ”
上方向にスクロールする	“ 上スクロール ”
下方向にスクロールする	“ 下スクロール ”
左方向にスクロールする	“ 左スクロール ”
右方向にスクロールする	“ 右スクロール ”
[地図の表示方法の変更]	
地図の表示方法を変える音声認識語を順番に読み上げる	“ ビューを変える ”
地図の表示方法を順番に切り替える	“ ビュー切り替え ”
ノーマルビューに切り替える	“ ノーマルビュー ”
スカイビューに切り替える	“ スカイビュー ”
ナイアガラビューに切り替える	“ ナイアガラビュー ”
ツインビューに切り替える	“ ツインビュー ”
ドライバーズビューに切り替える	“ ドライバーズビュー ”
ハイウェイモードに切り替える(高速道路走行中のみ)	“ ハイウェイモード ”
ハイウェイマップに切り替える	“ ハイウェイマップ ”
[地図の回転]	
地図の回転を行って北上表示に固定し、	“ ノースアップで
25mスケールの地図で表示する	25メートルスケールにする ”

地図上の情報を確認する

[発話] ボタンを短く1回押して、「通常発話モード」(P.190)で操作します。

VICS情報を確認する

渋滞などの情報を見る

“ ビックス地図情報 ”と発話すると、「車両事故のため、一車線規制です」など、地図上に表示されているVICS情報の詳細が案内されます。“ 次へ進む ”や“ 前へ戻る ”で別の情報が案内されます。また、ルートを設定しているときは、“ 渋滞案内 ”と発話すると、「およそ5km先、渋滞が発生しています」など、ルート上の渋滞状況が案内されます。

VICSの図形情報や文字情報を見る

“ ビックスエフエム図形情報 ”などと発話すると、VICSの図形情報や文字情報の表示画面に切り換わります。以降、リモコンの操作でVICS情報を確認してください。

VICS放送局を選局する

“ ビックス放送局 ”と発話すると、「ビックスの放送局名をどうぞ」と応答メッセージが返されます。“ ビックス横浜 ”など放送局名を発話すると、指定したVICS放送局を選局されます。



VICS放送局選局の設定を「オート」にしているときは、放送局の選局はできません。

こんなときには	このように発話してください
[VICS情報全般]	
VICS情報に関する音声認識語を順番に読み上げる	“ ビックス情報を使う ”
[VICS地図情報]	
地図上のVICS情報の詳細を知りたい	“ ビックス地図情報 ”または“ レベルスリー ”
・ 次のVICS情報が知りたい	“ 次へ進む ”
・ 前のVICS情報が知りたい	“ 前へ戻る ”
・ 通常の地図画面に戻りたい	“ 終了する ”
[VICS図形・文字情報]	
FMの図形情報が知りたい	“ ビックスエフエム図形情報 ”または“ レベルツー ”
FMの文字情報が知りたい	“ ビックスエフエム文字情報 ”または“ レベルワン ”
ビーコンの図形情報が知りたい	“ ビーコン図形情報 ”
ビーコンの文字情報が知りたい	“ ビーコン文字情報 ”
[VICS放送局の選局]	
VICS放送局を違う放送局に変えたい	“ ビックス放送局 ” 以降、VICS放送局名を発話“ ビックス横浜 ”(例)
[渋滞案内]	
ルート上の先の渋滞を知りたい	“ 渋滞案内 ”

最寄りの高速道路施設までの距離を確認する

ハイウェイモードで次のように発話すると、最寄りの高速道路施設までの距離が案内されます。(案内例：次のインターチェンジまで、およそ kmです。)

こんなときには	このように発話してください
インターチェンジまでの距離が知りたい	“インターチェンジ”
サービスエリアまでの距離が知りたい	“サービスエリア”または“パーキングエリア”
ジャンクションまでの距離が知りたい	“ジャンクション”
料金所までの距離が知りたい	“料金所”

現在の日時を確認する

現在時刻「午前 時 分」や、今日の日付「 月 日」を音声で案内させることができます。

こんなときには	このように発話してください
現在時刻が知りたい	“ナビゲーションクロック”
今日の日付が知りたい	“ナビゲーションカレンダー”

地図を確認しやすいようにボイスヘルプの表示を消す

ボイスヘルプの表示で地図上の情報が確認できないようなときは、次のように発話して、ボイスヘルプを消してください。

こんなときには	このように発話してください
ボイスヘルプを消したい	“地図にする”
ボイスヘルプが見たい、聞きたい	“ボイスヘルプ”または“わからない”

場所を探す

近くのガソリンスタンドなどを探す

周辺検索で近くのガソリンスタンドなどを探すときは、「通常発話モード」(P.190)で操作します。

1. 「発話」ボタン押して、「周辺を探す」と発話する
2. “ブツ”と音が鳴ったら、“ガソリンスタンド”などのジャンル名を発話する指定したジャンルのお店の名前とそこまでの距離が案内されます。

MEMO

発話可能なジャンル名については、「検索できるジャンルの種類」(P.206)をご覧ください。

他のお店の情報が知りたいときは、“次へ進む”または“前へ戻る”と発話します。

案内されたお店までのルートを探索したいときは、“ここへ行く”と発話します。

ボイスヘルプの表示で地図が見えないときは、“地図にする”と発話すると、一時的にボイスヘルプの表示が消えます。“ボイスヘルプ”と発話すると、再び表示されます。

通常の地図画面に戻りたいときは、“終了する”と発話します。

住所を指定して探す

住所から場所を呼び出すときは、「通常発話モード」(P.190)で操作します。

1. 「発話」ボタン押して、“住所”と発話する
2. “ブツ”と音が鳴ったら、都道府県名と市区町村名を続けて発話する
3. “ブツ”と音が鳴ったら、地名(丁目)を発話する

MEMO

都道府県名と市区町村名を分けて発話することもできます。

施設名(ジャンル)で場所を探す

ここでは、高速道路のインターチェンジを指定する方法を例に説明します。「通常発話モード」(P.190)、「施設名ダイレクトスタート」(P.191)のどちらでも操作することができます。

通常発話モードの場合

1. 「発話」ボタンを押して、“ジャンルで探す”と発話する

MEMO

ナビゲーションが応答メッセージを返している間でも、「発話」ボタンを押すと発話できます。(応答メッセージが中断されて、“プツ”と音が鳴ります。)

2. “プツ”と音が鳴ったら、“高速施設”と発話する
3. “プツ”と音が鳴ったら、“横浜町田インターチェンジ”などの施設名を発話する

MEMO

“インターチェンジ”、“サービスエリア”、“ジャンクション”は、必ず名称に付けて発話してください。ただし、次のような言い換えも可能です。

“ランプ”

“インターチェンジ”

“パーキングエリア”

“サービスエリア”

発話可能なジャンル名については、「検索できるジャンルの種類」(P.206)をご覧ください。

施設名ダイレクトスタートの場合

1. 「発話」ボタンを2秒以上長く押して、“横浜町田インターチェンジ”などの施設名を発話する
2. “プツ”と音が鳴ったら、“高速施設”と発話する
3. “プツ”と音が鳴ったら、“ここへ行く”など、行いたい操作を発話する

MEMO

施設名ダイレクトスタートでは、最後に“ここへ行く”、“ここを登録する”、“ここへ電話をかける”の中から、施設に対して行いたい操作を発話します。施設名ダイレクトスタートの場合、ナビゲーションが「コマンドをどうぞ」と聞いてきたときに、“名前が違う”と発話するか、「発話」ボタンを2秒以上長く押すことで、最初に発話した施設名を発話し直すことができます。発話可能なジャンル名については、「検索できるジャンルの種類」(P.206)をご覧ください。

電話番号から場所を探す

電話番号から場所を探すときは、「通常発話モード」(P.190)で操作します。

1. [発話]ボタンを押して、「電話番号」と発話する
2. “ブツ”と音が鳴ったら、市外局番と市内局番を続けて発話する
3. “ブツ”と音が鳴ったら、残りの番号を発話する

MEMO

市内局番まで発話して最後に“終了する”と発話すると、その局番地域の代表地点を中心とした地図が表示されます。

市外局番と市内局番を分けて発話することもできます。

登録した場所を探す

登録した場所を探すときは、「通常発話モード」(P.190)で操作します。



登録した場所に入力したよみがなを元にその場所が検索されます。よみがなの付けかたは、「よみがなを変更する」(P.85)をご覧ください。

よみがなが入力されていない場所は検索の対象になりません。

1. [発話]ボタンを押して、“ の地図 ”と発話する
場所の名前(よみがな)に“ の地図 ”という言葉を付け加えて発話してください。

MEMO

登録した場所のよみがなが分からなくなったときは、“登録した場所のよみ”と発話してください。停車中であれば、登録した場所のよみがなの一覧が表示されますので、参考にして発話してください。複数のページがあるときは、“次のページ”や“前のページ”と発話するとページ送りできます。

最近探した場所を探す

最近探した場所を探すときは、「通常発話モード」(P.190)で操作します。



音声操作で検索可能なジャンルを以前に検索し、まだ最近探した場所のリストに残っている場所が検索の対象です。

よみがなとして認識されるのは10文字までです。(10文字を越えた部分がよみがなとして使われないだけで、発話しても支障はありません。)

1. [発話]ボタンを押して、“ の地図 ”と発話する
場所の名前(よみがな)に“ の地図 ”という言葉をつけ加えて発話してください。

MEMO

最近探した場所のよみがなが分からないときは、“最近探した場所のよみ”と発話してください。停車中であれば、最近探した場所のよみがなの一覧が表示されますので、参考にして発話してください。複数のページがあるときは、“次のページ”や“前のページ”と発話するとページ送りできます。

探した場所を行き先にする

行き先にするときは、「通常発話モード」(P.190)で操作します。

検索で地図を呼び出した後や、地図をスクロールした後に、“ここへ行く”と発話すると十字カーソルの場所までのルートが探索されます。

探した場所を登録する

場所を登録するときは、「通常発話モード」(P.190)で操作します。

検索で地図を呼び出した後や、地図をスクロールした後に、“ここを登録する”と発話すると十字カーソルの場所が登録されます。現在地を登録したい場合は、現在地画面で、“ここを登録する”と発話してください。

ルートを探索する

音声操作で、行き先までのルート探索を行うことができます。ルート探索が終了すると、行き先までのおおよその距離と所要時間が案内されます。

ルートを探索する

ここでは、東京ディズニーランドに行くルートを探索する方法を例に説明します。「通常発話モード」(P.190)、「施設名ダイレクトスタート」(P.191)のどちらでも操作することができます。



住所を指定して場所を探す場合には、通常発話モードのみ操作できます。もっとも効率のよいルート1本だけが探索され、自動的に設定されます。

通常発話モードの場合

1. [発話]ボタンを押して、“行き先を探す”と発話する
 2. “ブツ”と音が鳴ったら、“ジャンル”と発話する
 3. “ブツ”と音が鳴ったら、“遊園地”と発話する
 4. “ブツ”と音が鳴ったら、“東京ディズニーランド”と発話する
- 行き先が設定され、自動的にその場所までのルートが探索されます。ルートの探索が終わると、自動的にルートが設定されます。

MEMO

行き先の探しかたについては、「場所を探す」(P.51)ときの操作を参考にしてください。

施設名ダイレクトスタートの場合

1. [発話]ボタンを2秒以上長く押して、“東京ディズニーランド”(施設名)と発話する
 2. “ブツ”と音が鳴ったら、“遊園地”と発話する
 3. “ブツ”と音が鳴ったら、“ここへ行く”と発話する
- 行き先が設定され、自動的にその場所までのルートが探索されます。ルートの探索が終わると、自動的にルートが設定されます。

自宅へ帰るルートを探索する

自宅へ帰るルートを探索するときは、「通常発話モード」(P.190)で操作します。

1. [発話]ボタンを押して、“自宅へ帰る”と発話する
- 自宅に帰るルートが自動的に探索されます。探索が終わると、自動的に最適なルートが設定されます。

MEMO

あらかじめ自宅を登録しておく必要があります。登録のしかたは、「自宅を登録する」(P.81)をご覧ください。

ルートを確認する

設定したルートの道順を確認したり、次の案内地点までの距離や先の渋滞などを確認することができます。これらの操作は、「通常発話モード」(P.190)で操作します。

ルートの道順を確認する

ルートが設定されているときに“ ルートを確認 ”と発話すると、ルートプロフィール(P.75)が表示されます。以降、リモコンの操作でルートを確認してください。

次の案内地点までの距離を確認する

ルートが設定されているときに“ 次の案内 ”と発話すると、「およそ1km先、右方向です」など、案内地点までの距離や曲がる方向が案内されます。

先の渋滞状況などを確認する

ルートが設定されているときに“ 渋滞案内 ”と発話すると、VICS情報が受信できていれば、「およそ5km先、渋滞が発生しています」など、ルート上の渋滞状況が案内されます。

こんなときには	このように発話してください
ルートの道順を確認したい	“ ルートを確認 ”
次の案内地までの距離が知りたい	“ 次の案内 ”
ルート上の先の渋滞を知りたい	“ 渋滞案内 ”

ルートを修正する・消す

ルートが設定されているときに次のように発話すると、ルートの再探索が始まります。探索し終わると、自動的に最適なルートが設定されます。また、案内中のルートを消すこともできます。〔発話〕ボタンを短く1回押して、「通常発話モード」(P.190)で操作します。



立寄地を設定していて、立寄地ごとに条件指定を行っている場合に〔探索条件を変えて再探索する〕と、次の立寄地(または目的地)までの条件が変更されます。

こんなときには	このように発話してください
[ルートを変える全般]	
ルートを変える音声認識語を順番に読み上げる	“ ルートを変える ”
[ルートを再探索する]	
案内中のルートを再探索する	“ 再探索 ”または“ リルート ”
[探索条件を変えて再探索する]	
探索条件を変える音声認識語を順番に読み上げる	“ 探索条件 ”
標準的な探索条件で探索するとき	“ 探索標準 ”
距離優先で探索するとき	“ 距離優先 ”
幹線道路優先で探索するとき	“ 幹線優先 ”
有料道路を標準的に使いたいとき	“ 有料標準 ”または“ 高速標準 ”
有料道路をできるだけ使いたいとき	“ 有料優先 ”または“ 高速優先 ”
有料道路をできるだけ使いたくないとき	“ 有料回避 ”または“ 高速回避 ”
フェリー航路を標準的に使いたいとき	“ フェリー標準 ”
フェリー航路をできるだけ使いたいとき	“ フェリー優先 ”
フェリー航路をできるだけ使いたくないとき	“ フェリー回避 ”
[迂回ルートを探索する]	
迂回ルートを探索する音声認識語を順番に読み上げる	“ 迂回する ”
1キロ迂回するルートを探索する	“ 1キロ迂回 ”
2キロ迂回するルートを探索する	“ 2キロ迂回 ”
5キロ迂回するルートを探索する	“ 5キロ迂回 ”
10キロ迂回するルートを探索する	“ 10キロ迂回 ”
[ルートの消去]	
案内中のルートを消す	“ ルート消去 ”

テレビの操作

パイオニア製のワイドTVモニターを組み合わせている場合には、テレビの操作を行うことができます。テレビの操作を行うときは、〔発話〕ボタンを短く1回押して、「通常発話モード」(P.190)で操作します。



組み合わせるTVモニターによっては、一部説明と動作が異なったり、機能しない場合があります。

「AVX-P7000CD」では、ここで説明している操作を行うことはできません。

ナビゲーションの音声ソースが“テレビ”になっていないときは、テレビの選局操作はできません。最初に“テレビ音声にする”と発話して、音声ソースを“テレビ”にしてください。チャンネルを選局する際、テレビ局名やチャンネル番号で指定できるのは、チャンネルリストに表示されるチャンネルのみです。

TVモニター側でビデオに切り換わる設定になっていないときは、ビデオの映像には切り換わりません。

こんなときには	このように発話してください
〔テレビ操作全般〕	
テレビ操作に関する音声認識語を順番に読み上げる	“テレビを使う”
〔映像・音声の操作〕	
ナビゲーションの音声ソースをOFFにする	“オーディオオフ”または“音を消す”
ナビゲーションの音声ソースをテレビにする	“テレビ音声にする”または“テレビにする”
映像を順番に切り換える ¹	“画面を変える”または“ブイチェンジ”
ナビゲーションの映像を見る ¹	“ナビゲーションにする”または“ナビにする”
テレビの映像を見る ¹	“テレビ画面にする”
ビデオの映像を見る ¹	“ブイティーアール画面にする”
2画面表示にする ¹	“2画面にする”または“ピー サイド ピー”
1画面表示にする ¹	“1画面にする”または“ピー サイド ピー解除”
親子画面表示にする ²	“親子画面にする”または“ピー イン ピー”
〔選局操作〕	
他のチャンネルに切り換える	“次の放送局”または“前の放送局”、 “エヌエイチケー総合(例)(テレビ局名指定)” “4チャンネル(例)(チャンネル番号指定)”
チャンネルリストを表示する	“チャンネルリスト”
チャンネルを12分割画面で表示する ³	“メモリーリスト”

1 「AVIC-D9500」「TV-W8000」の機能

2 「TV-W8000」の機能

3 「TV-W8000」「TV-W818」の機能

電話の操作

携帯電話を接続している場合には、音声操作で電話をかけることができます。

検索した施設に電話をかける

「施設名ダイレクトスタート」(P.191)で検索した施設に電話番号情報が収録されている場合は、電話をかけることができます。



「通常発話モード」(P.190)では操作できません。

1. [発話]ボタンを2秒以上長く押して、“東京ディズニーランド”などの施設名を発話する
2. “ブツ”と音が鳴ったら、“遊園地”と発話する
3. “ブツ”と音が鳴ったら、“ここへ電話をかける”と発話する
4. [発話]ボタンを押す
電話番号のダイヤルが始まります。

登録した場所に電話をかける

登録した場所に電話番号とよみがなを入力している場合は、音声操作で電話をかけることができます。「通常発話モード」(P.190)で操作します。

1. [発話]ボタンを押して、“電話をかける”と発話する
2. “ブツ”と音が鳴ったら、登録した場所の名前(よみがな)を発話する
3. [発話]ボタンを押す
電話番号のダイヤルが始まります。

MEMO

“電話をかける”は、“オートダイヤル”とも発話できます。

電話番号を発話して電話をかける

電話番号を発話して電話をかけることができます。「通常発話モード」(P.190)で操作します。

1. [発話]ボタンを押して、“電話番号で電話をかける”と発話する
2. “ブツ”と音が鳴ったら、市外局番と市内局番を続けて発話する
3. “ブツ”と音が鳴ったら、残りの番号を発話する
4. [発話]ボタンを押す
電話番号のダイヤルが始まります。

MEMO

市外局番と市内局番を分けて発話することもできます。

10キーの操作

「10キー」に設定されている機能(P.180)を音声で操作するとき、〔発話〕ボタンを短く1回押して、「通常発話モード」(P.190)で操作します。

現在地画面またはスクロール画面で、“カスタマイズシャープ”など「カスタマイズ」のことばに10キーの名前を付け加えて発話してください。

こんなときには	このように発話してください
〔1〕キーに設定した機能を使う	“カスタマイズいちばん”
〔2〕キーに設定した機能を使う	“カスタマイズにばん”
〔3〕キーに設定した機能を使う	“カスタマイズさんばん”
〔4〕キーに設定した機能を使う	“カスタマイズよんばん”
〔5〕キーに設定した機能を使う	“カスタマイズごばん”
〔6〕キーに設定した機能を使う	“カスタマイズろくばん”
〔7〕キーに設定した機能を使う	“カスタマイズななばん”
〔8〕キーに設定した機能を使う	“カスタマイズはちばん”
〔9〕キーに設定した機能を使う	“カスタマイズきゅうばん”
〔0〕キーに設定した機能を使う	“カスタマイズゼロ”
〔#〕キーに設定した機能を使う	“カスタマイズシャープ”
〔*〕キーに設定した機能を使う	“カスタマイズこめ”または“カスタマイズアスタリスク”、“カスタマイズアスター”

検索できるジャンルの種類

ジャンルで探す場合のジャンル名の指定のしかた

施設名ダイレクトスタートや、行き先をジャンルで探すときは、次のジャンル名を発話できます。色のジャンル名を発話した場合は、続いてサブジャンル名を発話してください。（“ボイスヘルプ”と発話すると、ナビゲーションがサブジャンル名を読み上げてくれます。）

ジャンル名	読みかた	ジャンル名	読みかた
駅名	“えきめい”	宿泊施設	“しゅくはくしせつ”
高速施設	“こうそくしせつ”	旅館	“りょかん”
インターチェンジ	“インターチェンジ”	ホテル	“ホテル”
サービスエリア	“サービスエリア”	ペンション	“ペンション”
パーキングエリア	“パーキングエリア”	民宿	“みんしゅく”
ジャンクション	“ジャンクション”	公共宿舎	“こうきょうしゅくしゃ”
ランプ	“ランプ”	病院	“びょういん”
交差点	“こうさてん”	総合病院	“そうごうびょういん”
空港	“くうこう”	医院・診療所	“いいんしんりょうじょ”
フェリーターミナル	“フェリーターミナル”	内科	“ないか”
役所	“やくしょ”	外科	“げか”
プレイスポット	“プレイスポット”	小児科	“しょうにか”
公園	“こうえん”	歯科	“しか”または“はいしや”
遊園地	“ゆうえんち”	眼科	“がんか”または“めいしや”
リゾート施設	“リゾートしせつ”	耳鼻咽喉科	“じびいんこうか” または“じびか”
キャンプ場	“キャンプじょう”	産婦人科	“さんぶじんか”
名所・旧跡	“めいしよきゆうせき”	皮膚科	“ひふか”
城・城跡	“しろしろあと”	動物病院・獣医師	“どうぶつびょういん” または“じゅうい”
動物園	“どうぶつえん”	教育施設	“きょういくしせつ”
植物園	“しょくぶつえん”	保育園	“ほいくえん”
水族館	“すいぞくかん”	幼稚園	“ようちえん”
博物館	“はくぶつかん”	小学校	“しょうがっこう”
美術館	“びじゅつかん”	中学校	“ちゅうがっこう”
競馬場	“けいばじょう”	高校	“こうこう”
競輪場	“けいりんじょう”	大学	“だいがく”
競艇場	“きょうていじょう”	各種専修学校	“かくしゅせんしゅうがっこう” または“せんしゅうがっこう” または“せんもんがっこう”
オートレース場	“オートレースじょう”	その他の学校	“そのたのがっこう”
スポーツスポット	“スポーツスポット”		
ゴルフ場	“ゴルフじょう”		
ゴルフ練習場	“ゴルフれんしゅうじょう”		
スキー場	“スキーじょう”		
スケート場	“スケートじょう”		
ヨットハーバー	“ヨットハーバー”		
野球場	“やきゅうじょう”		

周辺を探す場合のジャンル名の指定のしかた

“周辺を探す”(P.196)と発話したときや、行き先を周辺で探すときは、次のジャンル名が発話できます。

ジャンル名	読みかた
ガソリンスタンド	“ガソリンスタンド”または“スタンド”
コンビニエンスストア	“コンビニエンスストア”または“コンビニ”
ファミリーレストラン	“ファミリーレストラン”または“ファミレス”
ファーストフード	“ファーストフード”
駐車場	“ちゅうしゃじょう”
カー用品店	“カーようひんてん”または“カーようひん”
カーディーラー	“カーディーラー”または“ディーラー”
スーパー	“スーパー”
家電店	“かでんでん”または“でんきや”
ディスカウントストア	“ディスカウントストア”または“ディスカウンター”
デパート	“デパート”または“ひやっかてん”
紳士服店	“しんしふくてん”または“しんしふく”
スポーツ用品店	“スポーツようひんてん”
ATM	“エーティエム”
銀行	“ぎんこう”
都市銀行	“としぎんこう”
地方銀行	“ちほうぎんこう”
第2地方銀行	“だいにちほうぎんこう”
その他銀行	“そのたぎんこう”
公共施設	“こうきょうしせつ”
グルメスポット	“グルメスポット”
宿泊施設	“しゅくはくしせつ”
プレイスポット	“プレイスポット”
スポーツスポット	“スポーツスポット”
自動車	“じどうしゃ”
おみせ	“おみせ”
病院	“びょういん”
トイレ	“トイレ”

MEMO

ジャンル名をすべて覚える必要はありません。“ボイスヘルプ”と発話すると、ナビゲーションがジャンル名を読み上げてくれます。“次のページ”や“前のページ”と発話すると、次(前)のジャンル名が読み上げられます。希望のジャンルが含まれていたら、そのジャンル名を発話してください。

住所やインターチェンジの読みかた

住所や、インターチェンジ名や交差点名などを発話するときは、次のルールに従ってください。

住所、駅名、役所、交差点、フェリーなどのジャンル検索で発話できるジャンルは、「検索できるジャンルの種類」(P.206)をご覧ください。



住所や施設名の途中に「の」や、「えーと」などの言葉をはさんだり、丁目を「4 (よん)」などと単に数字だけを発話しても、正しく認識されません。

住所の読みかた

必ず都道府県名から丁目(丁目がない場合は町村名)までを順番に発話してください。丁目は「4丁目 (よんちょうめ)」などと発話してください。

インターチェンジの読みかた

路線名から施設名までを順番に発話してください。

交差点の読みかた

交差点の名称だけを発話してください。「交差点」の下線部分は発話不要です。

読みかたの例

よい例

とうきょうと めぐろく めぐろ いっちょうめ
東京都 目黒区 目黒 1丁目 (住所)

よこはままちだ
横浜町田インターチェンジ

(インターチェンジ)

しがやけいさつしよまえ
渋谷警察署前 (交差点)

よくない例

東京の目黒区(「東京都」が「東京の」になっている)

東京都 目黒区 目黒 1(「丁目」がない)

目黒区 目黒 1丁目(都道府県名がない)

横浜町田(「インターチェンジ」がない)

渋谷警察署前交差点(「交差点」がある)

町村名の読みかた

- ・「東京都西多摩郡日の出町」などの町名(町村役場のある行政区)は、「町」なら「まち」と「ちょう」のどちらでも受け付けられます。村名の場合も同様で、「むら」と「そん」のどちらでも受け付け可能です。
- ・「東京都中野区本町」などの町名は、正式名称で発話してください。

特別な町名の読みかた

京都市の住所では、区名、町名(公称町名)の順番に発話してください。

例：「京都市上京区 相合図子通一条下る一番町」の場合
京都市 上京区 一番町

施設名の読みかた

施設名を発話するときには、正式名称で発話するのが原則ですが、「東京国際空港」と「羽田空港」のように、通称が広く一般に使われている場合は、どちらで発話しても受け付けられます。

読みかたの例

正式名称(通称)	読みかた
オホーツク紋別空港	オホーツクもんべつこうこう、もんべつこうこう
根室中標津空港	ねむろなかしべつこうこう、なかしべつこうこう
新千歳空港(千歳空港)	しんちとせくこうこう、ちとせくこうこう
札幌空港(丘珠空港)	さっぽろこうこう、おかだまくこうこう
大阪国際空港(伊丹空港)	おおさかこくさいこうこう、いたみくこうこう
関西空港	かんさいこうこう、かんこう
新東京国際空港(成田空港)	しんとうきょうこくさいこうこう、なりたくこうこう
東京国際空港(羽田空港)	とうきょうこくさいこうこう、はねだくこうこう
臼杵港(新臼杵港)	うすきこう、しんうすきこう
広島港(宇品港)	ひろしまこう、うじなこう
東京ディズニーランド	とうきょうディズニーランド、ディズニーランド

都道府県名の読みかた

都道府県名を発話するとき、名称をそのまま発話するのが原則です。また、都道府県名の前に「の」(は地方名)を付け加えて発話することもできます。

都道府県名 読みかた

北海道	ほっかいどう、ほっかいどうの～(北海道の北海道)
青森県	あおもりけん、とうほくの～(東北の青森県)
岩手県	いわてけん、とうほくの～(東北の岩手県)
宮城県	みやぎけん、とうほくの～(東北の宮城県)
秋田県	あきたけん、とうほくの～(東北の秋田県)
山形県	やまがたけん、とうほくの～(東北の山形県)
福島県	ふくしまけん、とうほくの～(東北の福島県)
茨城県	いばらきけん、かんとこの～(関東の茨城県)
栃木県	とちぎけん、かんとこの～(関東の栃木県)
群馬県	ぐんまけん、かんとこの～(関東の群馬県)
埼玉県	さいたまけん、かんとこの～(関東の埼玉県)
千葉県	ちばけん、かんとこの～(関東の千葉県)
東京都	とうきょうと、かんとこの～(関東の東京都)
神奈川県	かながわけん、かんとこの～(関東の神奈川県)
新潟県	にいがたけん、しんえつの～(信越の新潟県) ちゅうぶの～(中部の新潟県)
富山県	とやまけん、ほくりくの～(北陸の富山県) ちゅうぶの～(中部の富山県)
石川県	いしかわけん、ほくりくの～(北陸の石川県) ちゅうぶの～(中部の石川県)
福井県	ふくいけん、ほくりくの～(北陸の福井県) ちゅうぶの～(中部の福井県)
山梨県	やまなしけん、かんとこの～(関東の山梨県) ちゅうぶの～(中部の山梨県)
長野県	ながのけん、しんえつの～(信越の長野県) ちゅうぶの～(中部の長野県)
岐阜県	ぎふけん、とうかいの～(東海の岐阜県) ちゅうぶの～(中部の岐阜県)
静岡県	しずおかけん、とうかいの～(東海の静岡県) ちゅうぶの～(中部の静岡県)
愛知県	あいちけん、とうかいの～(東海の愛知県) ちゅうぶの～(中部の愛知県)
三重県	みえけん、とうかいの～(東海の三重県) きんきの～(近畿の三重県)
滋賀県	しがけん、きんきの～(近畿の滋賀県)
京都府	きょうとふ、きんきの～(近畿の京都府)
大阪府	おおさかふ、きんきの～(近畿の大阪府)
兵庫県	ひょうごけん、きんきの～(近畿の兵庫県)
奈良県	ならけん、きんきの～(近畿の奈良県)
和歌山県	わかやまけん、きんきの～(近畿の和歌山県)
鳥取県	とっとりけん、ちゅうごくの～(中国の鳥取県)
島根県	しまねけん、ちゅうごくの～(中国の島根県)
岡山県	おかやまけん、ちゅうごくの～(中国の岡山県)
広島県	ひろしまけん、ちゅうごくの～(中国の広島県)
山口県	やまぐちけん、ちゅうごくの～(中国の山口県)

都道府県名 読みかた

徳島県	とくしまけん、しこくの～(四国の徳島県)
香川県	かがわけん、しこくの～(四国の香川県)
愛媛県	えひめけん、しこくの～(四国の愛媛県)
高知県	こうちけん、しこくの～(四国の高知県)
福岡県	ふくおかけん、きゅうしゅうの～(九州の福岡県)
佐賀県	さがけん、きゅうしゅうの～(九州の佐賀県)
長崎県	ながさきけん、きゅうしゅうの～(九州の長崎県)
熊本県	くまもとけん、きゅうしゅうの～(九州の熊本県)
大分県	おおいたけん、きゅうしゅうの～(九州の大分県)
宮崎県	みやざきけん、きゅうしゅうの～(九州の宮崎県)
鹿児島県	かごしまけん、きゅうしゅうの～(九州の鹿児島県)
沖縄県	おきなわけん、おきなわの～(沖縄の沖縄県)

音声操作の設定を変える

ナビゲーションの利用状況に合わせて、音声操作に関係する初期設定を変えることができます。音声操作の初期設定は「その他の初期設定」メニューで設定します。

オート発話スタンバイ

通常は、最初に〔発話〕ボタンを1回押した後、連続して音声認識語を発話して操作を進めます(オート発話スタンバイ)。

これを、発話ごとに〔発話〕ボタンを押すという操作にすることもできます。音声操作に慣れるまで、ご自分のペースで発話することができます。

「その他の初期設定」メニューの「オート発話スタンバイ」(P.167)で、この設定のオン/オフを切り換えられます。

ボイスヘルプ

音声認識語の内容を説明する「ボイスヘルプ」を、音声操作中、常に表示するかどうかを設定します。(ただし走行中は表示されません。)

「その他の初期設定」メニューの「ボイスヘルプ」(P.167)で設定します。

オーディオミュート

本機をパイオニア製カーステレオと組み合わせた場合は、ナビゲーションの音声案内が流れたり、電話で通話するとき、〔発話〕ボタンを押したときに、自動的にカーステレオの音量を下げる(オーディオミュート)ができます。

「その他の初期設定」メニューの「オーディオミュート」(P.167)で、オーディオミュートのタイミングを変更できます。

音声認識ノイズマイク

本機には、路面から拾う雑音(ロードノイズ)などを打ち消すために、専用のノイズマイクが内蔵されています。

ノイズマイクを使用することで、ロードノイズや車内の雑音などを打ち消して認識率を高めることができます。

ただし、発話用のマイクと発話する人の距離に対して、ナビゲーション本体と発話する人の距離が同じか、または近い場合に、音声認識語の発話までもノイズとして認識してしまい、音声操作が受け付けられなくなる場合があります。そのような場合には、ノイズマイクをOFFにします。

「その他の初期設定」メニューの「音声認識ノイズマイク」(P.168)で、ノイズマイクのON/OFFを変更できます。

電話操作・ハンズフリー

携帯電話を接続した際、本機の音声認識用マイク、スピーカーを電話のハンズフリー用としても利用するかどうかを設定できます。また、リモコンで電話をかける・受けるなどの操作を行うかどうかを設定します。

「その他の初期設定」メニューの「電話操作・ハンズフリー」(P.168)で設定します。



「その他の初期設定」メニューの「電話操作・ハンズフリー」(P.168)の設定が「オンにする」になっているときは、通話中は音声操作はできません。電話を切ってから音声操作を行ってください。

DVD Navigation Map TypeII

Appendix 付録

この章の内容	
困ったときには	214
ナビゲーションのしくみ	221
ルートに関する注意事項	228
VICS情報に関する注意事項	230
天気予報に関する注意事項	231
2画面でのナビゲーションの映像	232
かな漢字変換できる記号	233
地図記号一覧	234
メニュー別索引	236
キーワード索引	239
やりたいこと索引	242

困ったときには

ここでは、故障かな？と思ったときに何を確認すればよいか、エラーメッセージが表示されたときにどう対処すればよいかを説明します。

故障かな？と思ったら

ちょっとした操作のミスで故障と間違えることもあります。故障かな？と思ったら、次の項目を参考に、操作をもう一度確認してください。

自転車位置を測位できない。 / 測位誤差が大きい。

原因	対処
簡易ハイブリッドシステムになっている。	簡易ハイブリッドシステムは3Dハイブリッドシステムに比べて測位精度が悪くなります。3Dハイブリッドシステムにするには、車速パルスを接続してから、3Dハイブリッドセンサーのリセットを行ってください。(スタートブック)
GPS受信感度が低い。	GPSアンテナの感度を確認(P.171)して、GPSアンテナの位置を変更してください。
車速パルスが正しく入力されていない。	接続確認画面(P.171)で、接続を確認してください。
ナビゲーション本体がしっかり固定されていない	接続確認画面で取付位置の項目を確認してください。
取付方向レバーの設定が間違っている。	ナビゲーション本体の取付位置と取付方向レバーの設定を確認してください。(取付説明書)

地図がかってに回転してしまう。

原因	対処
自動的に地図が回転する設定になっている。	「地図の初期設定」メニューの「2D時地図の回転」(P.159)を確認し、「ノースアップ」に変えてください。 3D地図のとき回転させたくない場合は、手動で地図を回転させて、地図の向きを固定してください。(P.16)

走行軌跡が表示されない。

原因	対処
走行軌跡を表示しない設定になっている。	「地図の初期設定」メニューの「軌跡表示」(P.161)を確認し、「オンにする」にしてください。
「走行軌跡」の「呼び出し」がエンドレスファイル以外になっている。	「エンドレスファイル」に切り換えてください。(P.147)

車のライトをONにしても夜画面に切り換わらない。

原因	対処
車のライトと連動する設定になっていない。	「地図の初期設定」メニューの「昼夜の地図の色」(P.161)を確認して、[イルミで切り替え]にしてください。

3D学習度が表示されない。

原因	対処
電源コードの車速信号入力(ピンクリード線)が正しく接続されていない。	接続を確認(取付説明書)して、3Dハイブリッドセンサーのリセットを行ってください。

電源が入らない。/動作しない。

原因	対処
各リード線やコネクタが正しく接続されていない。	正しく確実に接続されているかどうか確認してください。(取付説明書)
DVD-ROMディスクが入っていない。	ディスクをセットしてください。(スタートブック)

TVモニターにナビゲーションの映像が映らない。

原因	対処
ナビゲーション本体およびTVモニターの電源が入っていない。	ナビゲーション本体およびTVモニターの電源を入れてください。
TVモニターがナビゲーションの映像に切り換わっていない。	TVモニターをナビゲーションの映像に切り換えてください。

「AVIC-D9500」でテレビやビデオの映像が映らない。

原因	対処
パーキングブレーキをかけていない。	安全な場所に停車して、パーキングブレーキをかけてください。

映像が暗い。

原因	対処
日没時刻が過ぎた。	夜間でも見やすいように、日没時刻になると、映像が自動的に暗い配色になるよう設計されています。
車内の温度が低い。	液晶画面は、周囲の温度が低いと暗くなることがあります。ヒーターで車内の温度を上げてください。
オートディマー機能のあるTVモニターで外光センサーの前が覆われている	外光センサーを覆わないようにしてください。

ナビゲーションの音が出ない。/音が小さい。

原因	対処
音量を下けている。	メインメニューの「その他の操作」「設定を変える」「ハードウェアの調整」「音量調整 (P.170)」で、受光部付きスピーカーおよびTVモニターの音量を上げてください。

リモコンがきかない

原因	対処
電池が弱っている。	電池を交換してください。(スタートブック)
電池の±の向きを逆に入れている。	正しく入れてください。(スタートブック)
リモコンを、足元やシートに向けて操作している。	リモコン受光部に向けて操作してください。(スタートブック)
リモコン受光部に直射日光が当たっている。	リモコン受光部に近づけて操作してください。

ディスクをセットしたのに地図が表示されない。

原因	対処
ディスクに大きなキズやソリがある。	お買い求めになった販売店にご相談ください。
ディスクが極端に汚れている。	ディスクの汚れを拭き取ってください。(スタートブック)

映像がゆれる。

原因	対処
「その他の初期設定」メニューの「TV走査方式」が合っていない。	「その他の初期設定」メニューの「TV走査方式」(P.166)を確認し、必要に応じて切り換えてください。

誤差が大きくなった。

原因	対処
TVの56chを受信している。	TVのチャンネルを変えるか、TVをOFFにしてください。
3Dハイブリッドセンサーが正しく学習されていない。	3Dハイブリッドセンサーをリセットして(スタートブック)学習をやり直してください。

インターネットなどの通信をする際のトラブル(デジタル携帯電話接続時) 接続先に電話がかからない。

原因	対処
接続先の電話番号が間違っている。	接続先の電話番号が正しく入力されているか確認してください。
お使いのデジタル携帯電話のサービスエリア外か電波の弱いところにいる。	サービスエリア内の電波の強い場所から接続してください。

途中で電話が切れてしまう。

原因	対処
お使いのデジタル携帯電話のサービスエリア外か電波の弱いところにいる。 接続ID、接続パスワードが間違っている。	サービスエリア内の電波の強い場所から接続してください。 接続ID、接続パスワードを確認してください。とくに、数字の「0」(ゼロ)と英字の「O」(オー)、数字の「1」と英字の「l」(アイ)などの区別や、英字の大文字/小文字の区別も確認してください。
お使いのデジタル携帯電話が9600bpsのデータ通信に対応していない。	9600bpsのデータ通信に対応した、デジタル携帯電話をお使いください。
デジタル携帯電話でも機種によっては使用できない場合があります。	対応している携帯電話かどうか、「パイオニアお客様ご相談窓口」にお問い合わせください。

ホームページが表示されない。

原因	対処
指定したホームページが混み合っている。	しばらくしてから再度接続してください。
URLが間違っている。	大文字と小文字の間違いや「.」と「.」、 「_」と「-」などの区別を確認してください。
DNSサーバーの設定が間違っている。	DNSサーバーの設定を確認してください。DNSサーバーの設定が正しくないと、ホームページに接続できません。
プロキシサーバーの設定が間違っている。	プロキシサーバーの設定を確認してください。プロキシサーバーの設定が正しくないと、ホームページに接続できません。

ホームページが表示されるまでに時間がかかる。

原因	対処
接続先のサーバーに接続が集中している。	しばらくしてから再度接続してください。

ホームページからリンクできない。

原因	対処
リンク先が混み合っている。	しばらくしてから再度接続してください。

画像データが表示されない。

原因	対処
ブラウザの設定の「画像自動読み込み」がOFFになっている。	ブラウザの設定の「画像自動読み込み」をONにしてください。
画像のサイズが大きい。	サイズの大きい画像は表示できません。
本機では表示できない形式の画像（動画など）が使われている。	本機で表示できる画像データはGIF形式とJPEG形式のデータです。それ以外の画像データは表示できません。また、プラグインなどを必要とするデータも扱えません。

ホームページの文字が正しく表示されない。

原因	対 処
本機で使用できない文字コードが使われている。	海外のホームページなどには、本機で使用できない文字コードが使われていることがあります。このような文字コードは正しく表示されません。

エラーメッセージとその対処方法

エラーが発生しました。リモコンの電源ボタンを押して電源を入れ直して下さい。

メッセージが表示されるとき 本機が正しく動作できないとき	対 処 本機の電源を一度切って、10秒程度間をおいてから入れ直してください。
---------------------------------	---

DVD-ROMディスクを確認し、再度挿入してください。ノディスクを確認し再度挿入して下さい。

メッセージが表示されるとき	対 処
本機では使用できないディスクをセットしたとき。	使用できるディスクに交換してください。
ディスクの裏表を逆にしてセットしたとき。	ディスクのタイトル面を上にして、セットしてください。
ディスクが汚れているとき。	ディスクの汚れを拭き取ってください。(スタートブック)
ディスクにキズやひびがあるとき。	お買い求めになった販売店にご相談ください。

高温のため動作不可能です。リモコンの電源ボタンを押して電源を切り、しばらくしてから電源を入れ直して下さい。

メッセージが表示されるとき ナビゲーション本体の内部温度が高くなったとき。	対 処 本機の電源を切り、内部温度が下がるまでお待ちください。ヒーター吹き出し口の近くなど、高熱になるところに設置していないことを確認してください。
--	---

TV局リストがありません。

メッセージが表示されるとき 今いる地域で受信可能なTV局がない場合に、 TV局の一覧表示を出そうとしたとき	対 処 TVが受信できる場所に移動してからご使用ください。
---	----------------------------------

データの受信待ちです。/データの一部分が取得できていません。

メッセージが表示される時 FM多重放送によるVICS情報がそろって いない、またはデータが不完全なとき	対 処 データが更新されるまで、しばらくお 待ちください。
---	-------------------------------------

ビーコンが接続されていません。

メッセージが表示される時 VICS用ビーコン受信機「ND-B3」の接続が 正しくないとき	対 処 ビーコン受信機の接続を確認してくだ さい。
--	---------------------------------

現在は情報がありません。

メッセージが表示される時 ビーコンからのVICS情報を取得していないとき	対 処 ビーコンからのVICS情報が更新され るまで、しばらくお待ちください。
---	---

データの一部分を消去しないと読み込むことができません。データを消去して下さい。

メッセージが表示される時 本機のメモリ容量が不足しているとき	対 処 不要になったデータ(登録した場所、ル ート、走行軌跡など)を消去してから読 み込んでください。
-----------------------------------	--

これ以上登録できません。

メッセージが表示される時 PCカードに制限以上のデータを保存しよう としたとき	対 処 「新規グループ」を選んで保存してく ださい。
---	----------------------------------

システムエラーが発生しました。

メッセージが表示される時 本機が正しく動作できないとき	対 処 画面の指示に従って対処してください。
--------------------------------	---------------------------

ナビゲーションのしくみ

現在地がわかるしくみ

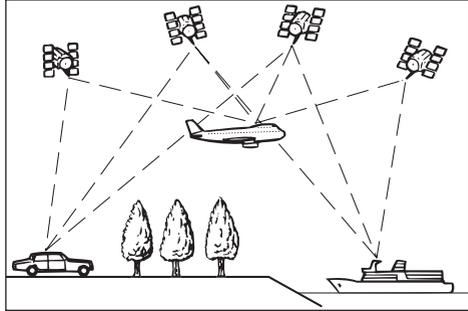
本機では、現在地(自車位置)を測位する方法として「GPS」に加え、「自律航法」による測位が可能です。

「GPS」による測位

GPS衛星(人工衛星)から位置測定用の電波を受信して、現在地を測位するシステムがGPS(Global Positioning System : グローバルポジショニングシステム)です。

GPS衛星は、地球の周り高度21,000 kmに打ち上げられています。3つ以上のGPS衛星の電波を受信すると、測位が可能になります。

GPSによる測位には、3次元測位と2次元測位の2種類があります。



種類

内容

3次元測位	GPS衛星の電波を良い状態で受信できたときは、緯度・経度・高度の3次元で測位できます。
2次元測位	GPS衛星の電波を受信できても、受信状態があまり良くないときは、緯度・経度の2次元で測位します。高度は測位できないため、3次元測位のときよりも測位の誤差がやや大きくなります。

「自律航法」による測位

一度GPSにより現在地を測位しておき、あとは、内蔵の3Dハイブリッドセンサーで車の動きを調べて、現在地を追いかけていく測位方法が自律航法です。

3Dハイブリッドセンサーでは、走った距離を車の車速パルスから、曲がった方向を振動ジャイロセンサーで、路面の傾斜を傾斜計(Gセンサー)で、それぞれ検出して、現在地を割り出しています。

GPSと自律航法を組み合わせた測位には、次のような特長があります。

- GPSによる現在地のデータと、自律航法による現在地のデータを常に組み合わせていますので、より精度の高い測位を行うことができます。
- GPS衛星の電波が受信できなくなっても、自律航法により測位を続けることができます。
- 自律航法による測位だけでは、現在地の表示が徐々にずれてくることがあります。GPSと自律航法を組み合わせると、GPS測位により自律航法のずれを修正することができるため、測位精度が高くなります。

測位の精度を高めるためのしくみ

3Dハイブリッドセンサーの機能

内蔵の3Dハイブリッドセンサーは、自律航法自体の測位精度を高めるために、次のような機能を内蔵しています。

高精度3Dハイブリッドシステム：車から車速パルスを取っている場合には、高度差まで測位する3Dハイブリッドセンサーをフルに活用した、高精度3Dハイブリッドシステムにより、高精度な測位が可能になります。

また、車速パルスが取れない外国車やディーゼル車などは、車速パルス発生機「ND-PG1」（別売）を組み合わせることで、3Dハイブリッドシステムが可能になります。（車種によっては、「ND-PG1」が取り付けられない場合もあります。）

簡易ハイブリッドシステム：車速パルスを取っていない場合には、簡易ハイブリッドシステムでの測位となります。車速パルスが入力されないので、傾斜計（Gセンサー）が車速パルスの代わりに車の移動距離を測定します。簡易ハイブリッドシステムでは、従来通りの水平方向のみの角度検出を行うハイブリッド測位となり、精度も低くなります。長いトンネルに入った場合などは、誤差が大きくなったり測位できなくなることがあります。

3Dハイブリッドセンサーには、次のような特長があります。

特 長	内 容
高度差の測位も可能です	従来の平面的な測位の場合、立体交差や上下に高速道路と一般道がある場所では、側道と本道、あるいは高速と一般道のどちらにいるのかの判断ができないことがありました。 3Dハイブリッドセンサーでは坂道の上り下りも測位できるため、地図上は高速道路と一般道が上下に重なっていても、どこを走っているかを的確に判断することが可能です。
ワインディングや坂道で生じる距離誤差も修正します	山道や坂道を走行している場合、実際に走った距離と地図上の移動距離には誤差が生じます。このため、従来は自車位置の先走りといったことが起きる場合がありました。 3Dハイブリッドセンサーは測位した高度差からその誤差を修正して高精度な測位を可能にしています。
誤差の学習や補正を行います	3Dハイブリッドセンサーは、自分で計算した現在地とGPS測位による現在地を常に比較し、発生した誤差を学習しています。学習内容に応じて、さまざまな要因によって生じる誤差を補正しています。 走行を重ねるにつれて学習内容が増えますので、徐々に測位の精度が高くなっていきます。

特 長	内 容
誤差が大きいときは自動的に学習を中断します	チェーンを装着したり、応急用タイヤで走行すると、タイヤの外周が変わるため誤差が大きくなります。この大きな誤差を学習すると、学習内容が悪くなってしまうため、大きな誤差が発生したときは学習を自動的に中断します。
2種類のタイヤを別々に学習できます	夏用タイヤと冬用タイヤなど、サイズの違う2種類のタイヤを、それぞれ別々に学習・補正することができます。

3Dハイブリッドセンサーは、学習・補正効果を高めるため、GPS衛星の電波が受信できないときには、学習や補正は行われません。このため、GPSによる測位時間が短い間は、自転車マークと実際の現在地が大きくずれることがあります。GPS受信状態で約1時間程度走行すると、かなり精度が高くなります。

ディファレンシャルGPS(D-GPS)

GPS衛星は米国国防総省の管理下にあるため、衛星からの電波には軍事的理由により、あらかじめ誤差が含まれています。その誤差はリアルタイムで変化しており、GPS衛星からの電波だけで測位している場合には、この誤差により測位精度が低下します。

そこでGPS衛星からの電波を日本各地の施設で受信し、その施設の位置とGPS衛星からの位置情報を比較し、誤差を確認して、その情報をFM多重電波で放送するしくみがディファレンシャルGPS(D-GPS)システムです。

内蔵のFM多重チューナーでD-GPSの情報を受信します：本機に内蔵のFM多重チューナー(VICSと切り換え)で、5秒ごとに更新されるD-GPSの情報を受信します。この情報は、リアルタイムでGPS測位に反映されます。このシステムは全国サービスで行われるので、エリア内ならどこでも高精度な測位が実現できます。

情報は全国JFN系列の放送局から発信しています：D-GPSの情報は、全国のJFN系列のFM放送局からFM多重電波を通じて放送されています。

D-GPS情報放送局(1999年1月現在)

AIR-G'、FM青森、FM岩手、FM仙台、FM秋田、FM山形、ふくしまFM、FMぐんま、FM栃木、TOKYO FM、FM新潟、FM長野、K-MIX、FMとやま、FM石川、FM福井、FM AICHI、FM三重、FM滋賀、FM京都、fm osaka、Kiss-FM、FM山陰、広島FM、FM山口、FM香川786、FM愛媛、FM徳島、FM高知、FM佐賀、FM福岡、FM長崎、エフエム中九州、エフエム大分、FM宮崎、FM鹿児島、FM沖縄(全国37局)



一部地域については、カバーされていない場合があります。

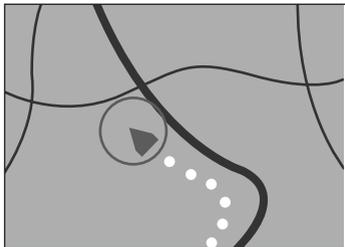
D-GPS情報放送局は、自動的に選択されます。

FM放送局が休止している時間帯はD-GPSはできません。

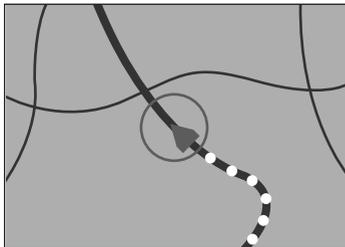
マップマッチング

GPSや自律航法による測位には誤差が生じることがあるため、現在地が道路以外（例えば川の中）になることがあります。このようなとき、「車は道路上を走るもの」と考え、現在地を近くの道路上に修正する機能がマップマッチングです。

マップマッチングしていないとき



マップマッチングしているとき



本機では、GPSと自律航法で精度の高い測位をした上でマップマッチングが働くため、さらに正確な現在地表示が可能になります。

誤差について

GPSや自律航法、マップマッチングの組み合わせにより、誤差をより小さくすることができますが、状況によってはこれらの機能が正しく動作せず、誤差が大きくなる場合があります。

GPS測位不可による誤差

- 2つ以下のGPS衛星の電波しか受信できないときは、GPSによる測位ができないことがあります。
- 次のような場所にいるときは、GPS衛星の電波がさえぎられ、受信できないため、GPSによる測位ができないことがあります。



トンネルの中や
ビルの駐車場



2層構造の高速道路
の下



高層ビルの群衆地帯



密集した樹木の間

- 次のようなときは、電波障害の影響で、一時的にGPS衛星の電波を受信できなくなることがあります。
 車載のテレビで56チャンネル(UHF)を受信しているとき。
 GPSアンテナの近くで自動車電話や携帯電話を使っているとき。
- GPSアンテナにペンキや車のワックスを塗らないでください。感度が低下したり、電波を受信できなくなることがあります。また、雪がつもると感度が低下しますので取り除いてください。

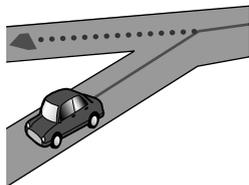


GPS衛星自体による誤差

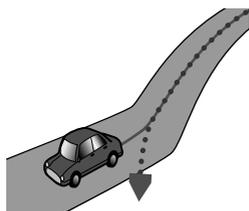
- GPS衛星は米国国防総省によって管理されており、衛星自体が意図的にずれた位置データを送信することがあります。このようなときは測位の誤差が大きくなります。
- 3次元測位のときは、約30 m ~ 200 mの誤差で現在地を測位します。2次元測位のときは、3次元測位のときよりも誤差がやや大きくなります。
- GPS衛星の配置が悪いとき（衛星が同じような方向や同じような高さにあるとき）には、十分な精度が得られないことがあります。（GPS測位では、自車の真上と東西南北の地平線ぎりぎりにある複数の衛星を受信した場合に、最も良い精度が得られるようになっています。）
- GPS測位の高さ方向に関する精度は、水平方向に対して、誤差がやや大きくなります。自車の高さよりも上にある衛星の電波は受信できますが、下（地球の裏側）に位置している衛星の電波は物理的に受信できないため、高さに関して十分な比較ができません。

その他の誤差について

角度の小さなY字路を走ったとき。



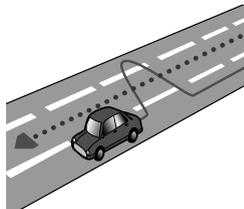
直線や緩やかなカーブを、長距離走ったすぐ後。



砂利道や雪道などで、タイヤがスリップしたとき。



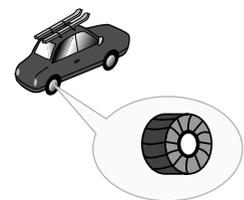
蛇行運転をしたとき。



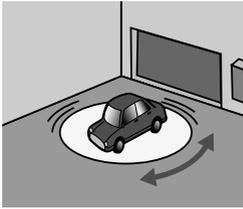
勾配の急な山道など、高低差のある道を行ったとき。



チェーンを装着したときや、サイズの違うタイヤに交換したとき。



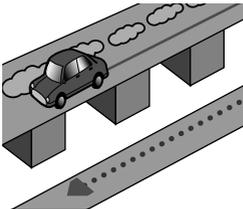
駐車場などで、ターンテーブルでの旋回を行ったとき。



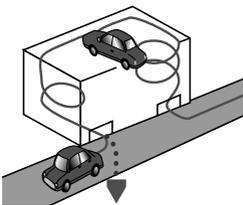
ヘアピンカーブが続いたとき。



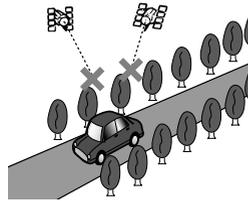
道路が近接しているとき (高速道路と側道など)。



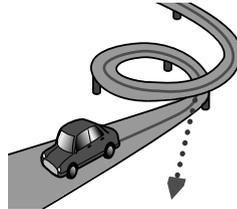
立体駐車場などで旋回や切り返しを繰り返したとき。



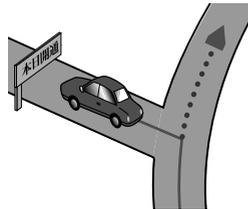
GPSによる測位ができない状態が長く続いたとき。



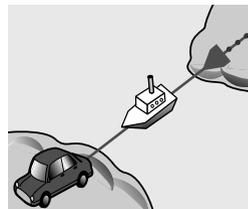
ループ橋などを通ったとき。



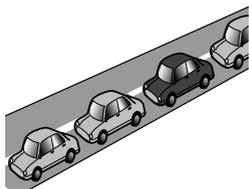
地図情報にはない新設道路を走ったとき。



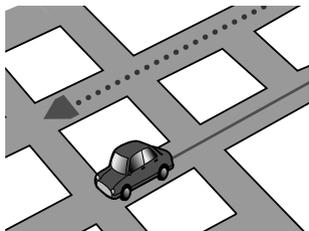
フェリーや車両運搬車などで移動したとき。



渋滞などで低速で発進や停止を繰り返したとき。



碁盤の目状の道路を走ったとき。



- 工場などの施設内の道路を走行中、施設に隣接する道路に近づいたとき。
- エンジンをかけてすぐに走行し始めたとき。
- 走行中に本機の電源をONにしたとき。
- 扁平率や径の異なるタイヤに交換して間もないとき。

高速・高架道路での誤差について

高速道路を乗り降りするときや、高架道路、立体交差の道路を走行するときは、3Dハイブリッドセンサーが勾配を検知します。本機はこの勾配の検知とディスクに収録されている道路の高さ（勾配）のデータから、車が走行している道路を判断します。このため、勾配を検知しても道路の高さのデータが登録されていないと、自車位置表示には反映されません。

MEMO

サイズの違う2種類のタイヤを、それぞれ別々に学習・補正することができます（P.166）。この機能によりチェーンを装着したり、冬用タイヤに交換したときの誤差をより小さくできます。

ルートに関する注意事項

ルート探索の仕様

⚠️注意

ルート探索をすると、自動的にルート/音声案内が設定されます。本品に使用している交通規制データは、1998年4月現在のもので、また、曜日、時刻規制については、交通規制情報はルート探索した時刻のものが反映されます。例えば、「午前中通行可」の道路でも時間の経過により、その現場を「正午」に走行すると、設定されたルートが通れないなど交通規制に反する場合があります。運転の際は必ず実際の交通標識に従ってください。なお、冬期通行止めなどには一部対応していないものもあります。

- 探索されたルートは道路種別や交通規制などを考慮して、本機が求めた目的地に至る道順の一例です。必ずしも最適になるとは限りません。
- 地図上の淡灰の細い道路(細街路)は、出発地、立寄地、目的地付近を除いてルート探索の対象外になります。
- ルート探索(軌跡変換ルート、学習ルートを含む)は100mスケールの地図に表示される道路を対象としています。シティマップにだけ表示される道路は対象となりません。なお、シティマップに表示されない道路でも、100mスケールの地図に表示されていれば、シティマップ上でもルートが表示されます。
- 本州～北海道、本州～四国、本州～九州のルートも設定できます(本州～北海道などフェリーが運行されている場合には、航路を使うルートが探索されます)。
- 冬期通行止めなどにより通行できない区間はルート探索できません。
- 案内地点には、右左折や高速道路出口などを案内する音声自動的に設定されます。

MEMO

いくつかの都道府県にまたがる長距離のルートを設定するときは、一般国道の交差点や高速道路のインターチェンジに立寄地を指定しておく、よりよい案内地点が選ばれます。

ルート探索のされかた

- 出発地(自車位置)から最も近い、道路の前方方向の交差点が第1案内地点となります。出発地指定を行ったときは、指定した地点から最も近い道路にある直近の2つの交差点のうち、どちらか一方が第1案内地点になります。
- 最終案内地点は、目的地に設定した場所から最も近い道路にある直近の2つの交差点のうち、どちらか一方になります。目的地付近に道路が見つからないときは、目的地から最も近い、道路との交差点が最終案内地点になります。
- 進行方向に進むとあまりにも遠回りになる場合、現在の進行方向と反対向きのルートが設定される場合があります。
- 河川や駅の反対側を案内するルートになることがあります。その際には、目的地を使用したい道路の近くに移動させてみてください。
- 回避地を登録しても、その場所が回避されない場合があります。
- 遠距離の探索では回避地を考慮しないことがあります。
- 迂回路探索、渋滞考慮ルート設定、有料道路回避、フェリー航路回避などでは、他の適切なルートがない場合には迂回や回避はされないことがあります。
- 推奨できるルートが6本に満たない場合、何かかが同じルートになる場合があります。

- 立寄地指定を行った場合は、1本のみルート探索となります。
- ルートは約3,000km程度までは探索可能です。
- 出発地から道塗り開始点まで、道塗り終了点から目的地までの距離が遠い場合があります。
- 場所によってはルート探索できない場合があります。その場合、目的地および出発地付近の「大きな交差点」付近に立寄地を設定してみてください。「大きな交差点」とは、細街路(グレー表示の細い道)以外の道どうしの交差点です。

ルートの道塗りについて

- 幹線道路などの幅の広い道路や上下線分離道路、山道などの曲がりくねった道路では、道塗りの下から道路がはみ出して見える場合があります。
- 出発地、目的地、立寄地の前後では道塗りされない場合があります。このため、立寄地付近でルートが途切れたように見える場合があります。(音声案内は継続)

音声案内について

- オートリルートの場合、元のルートに復帰する案内地点は案内されません。
- 高速道路のインターチェンジ出口に目的地を設定すると、「高速出口」「音声」の音声案内はしないことがあります。

交差点拡大図について

- 2D交差点拡大図は、交差点に進入する直前の自車の進行方向が上になるように表示されます。道路が直行する交差点では、交差点拡大図の下から自転車マークが交差点内にあらわれます。交差点手前で道路がカーブしている場合は、自転車マークは道路に沿って交差点拡大図の横方向からあらわれます。

- 交差点付近で大きくカーブした場所では、実際の形状と異なる場合があります。
- ルート以外の道路の色は地図上に表示されている色と異なることがあります。
- 第1案内地点や立寄地直後の案内地点での交差点拡大図は、表示されません。

ルート候補選択画面での高速料金について

- 特殊な料金体系の高速道路においては、正しい料金が表示されない場合があります。
- 一般有料道路に関しては、一部路線のみ対応しています。
- 高速道路上およびランプ上からルートを探索したときや、高速道路上に目的地を設定したときは、高速道路を使う区間を判断できないため、料金が正しく計算されません。
- 「場所を探す」メニューでインターチェンジなどの高速道路施設を検索し、表示された地点を出発地としてルートを探索した場合、料金が正しく表示されません。高速道路に乗る前の地点を出発地としてルートを探索してください。
- 一部実際と異なる料金が表示されたり、案内されたりする場合があります。このような場合は実際の料金に従ってください。
- 高速料金は改定される場合がありますので、あくまで目安としてお使いください。
- 有料道路をまったく使用しない場合は、「0円」と表示されます。

VICS情報に関する注意事項

FM多重放送について

- 一定周期で情報が更新されるため、情報がそろそろまで時間がかかります。
- 放送時間は、放送局によって異なります。VICSセンター情報などで確認してください。

ビーコンについて

- 高速道路の高架下で、高速道路のビーコンを受信してしまう場合があります。
- ビーコンアンテナの前に遮弊物を置かないでください。
- 大型車と並走しているときなどに、ビーコンを受信できない場合があります。

VICSセンターのお問い合わせ先

VICSの概念、計画、または表示された情報内容に関することは、(財)VICSセンターへお問い合わせください。

電話受付 9:30～17:45

(土・日・祝祭日を除く)

FAX受付 24時間

[東京]

TEL: (03) 3592-2033

FAX: (03) 3591-8838

[大阪] 大阪は転送電話になっています。

TEL: (06) 6209-2033

(東京に転送されます。)

FAX: (03) 3591-8838

(FAXは東京に送ってください。)

VICS情報のサービス提供地域

VICSセンターよりサービスされるFM多重放送を使用したVICS情報は、NHK-FMのFM多重放送の電波により提供されます。なお、サービス提供地域については(財)VICSセンターへお問い合わせください。

天気予報に関する注意事項

天気予報は、ウェザーライン社発表によるものです。

発表時刻は、午前4時と午後4時です。最新の予報をご利用ください。

全国を20キロメッシュの格子状に分割。分割されたエリアの天気と気温の予報が、約2日先まで3時間ごとに表示されます。

地面の色は、3時間ごとの天気を20キロメッシュごとに塗り分けたものです。

雨、大雨、雪、大雪は、下記の降水量を意味しています。

雨： 降水量10ミリ未満

大雨： 降水量10ミリ以上

雪： 降水量5ミリ未満

大雪： 降水量5ミリ以上



大雨や大雪の表現は、災害との関連を表しているものではありませんので、ご利用の際はご注意ください。

この天気予報をもとに遂行された活動において発生したいかなる人物の損傷、死亡、所有物の損失、損害に対して、パイオニア株式会社と有限会社ウェザーラインでは、すべての求償の責は負いかねますので、あらかじめご了承ください。

天気予報のデータ取得エリアについて

北日本

[北海道][青森][岩手][宮城][秋田][山形][福島][茨城][栃木][千葉][新潟][群馬][埼玉][東京のほぼ全域][神奈川のほぼ全域][富山][長野のほぼ全域]

中日本

[山形][福島のほぼ全域][茨城][栃木][群馬][埼玉][千葉][東京][神奈川][新潟][富山][石川][福井][山梨][長野][岐阜][静岡][愛知][三重][滋賀][京都][大阪][奈良][和歌山][兵庫][鳥取のほぼ全域]

西日本

[三重][滋賀のほぼ全域][京都のほぼ全域][奈良][和歌山][大阪][兵庫][鳥取][島根][岡山][広島][山口][徳島][香川][愛媛][高知][福岡][佐賀][長崎][熊本][大分][宮崎][鹿児島][沖縄]



本機では表示不可能な諸島や地図収録範囲外の諸島などは、気象情報の提供範囲外となる場合があります。

2画面でのナビゲーションの映像

2画面でナビゲーションとテレビの映像を表示しているときでも、ナビゲーションの操作をしやすくするため、一時的にナビゲーションの映像だけになることがあります。

メニュー操作を行ったときや音声操作を行ったときなど、ナビゲーションの映像が優先的に表示されます。(一時的に1画面になる場合もあります。)

地図の表示方法をツインビューに切り換えたときは、ツインビューの左側の地図がナビゲーションの映像になります。

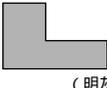
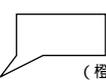
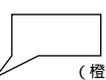
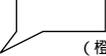
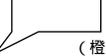
地図の表示方法をドライバーズビューに切り換えたときは、ドライバーズビューのウィンドウマップ内の地図がナビゲーションの映像になります。

地図の表示方法をハイウェイモードに切り換えたときは、ハイウェイモード1画面になります。

ハイパーツインスクロールにはなりません。スクロールのスピードが速くなる、ハイパースクロールとなります。

ルート案内中の交差点案内表示(ドライバーズビューまたは交差点拡大図の表示)はされません。(ガイド音声は出力されます。)

地図記号一覧

記号	意味	記号	意味
 (青)	高速道路・有料道路	 (赤)	一般国道
 (緑)	主要地方道	 (橙)	一般都道府県道
 (濃灰)	一般道	 (淡灰)	細街路
 (黒)	鉄道	 (白)	県境
 (水色)	海、川、湖沼	 (緑)	緑地 (ゴルフ場、公園など)
 (明灰)	施設	 (白)	鉄道・駅舎
 (青)	インターチェンジ名 (青)	 (黒)	交差点名 (黒)
 (橙)	ジャンクション名 (青)	 (橙)	
 (青)	ランプ名 (青)		
 (赤)	インターチェンジ (5km地図のみ)	 (赤)	ランプ出入口 (青：入口 赤：出口)

記号	意味	記号	意味
	サービスエリア		警察署
	パーキングエリア		消防署
	駐車場		病院
	道の駅		公民館、公共図書館など
	料金所		郵便局
	トンネル出入口		NTT
	空港、飛行場		銀行
	ヘリポート		小学校
	フェリー乗り場		中学校
	灯台		高校
	工場		高専
	発電所		大学
	自衛隊基地		デパート、スーパーなど
	米軍基地		ショッピングセンター
	都道府県庁		DIYショップ
	市区町村役場		ホテル
	官公署、裁判所、大使館など		ホール、劇場

記号	意味	記号	意味
	公園		土産物屋
	遊園地、その他		ヨットハーバー
	動物園		その他スポーツ施設
	植物園		自動車学校
	水族館		牧場
	美術館、博物館		城、城跡
	野球場、スタジアム		神社
	体育館		寺
	競馬場		墓地
	ゴルフ場		陵墓、古墳
	スキー場		タワー、展望台
	モータースポーツ		温泉
	スポーツ施設		山岳
	海水浴場	・	指示点
	ディスコ		



地図データの整備上、通常の地図とシティマップでは、道路種別色が異なることがあります。

地図の回転などにより、文字どうし、あるいは文字と記号とが重なる場合があります。車の進行方向によって、交差点名が地図上の表記と実際の表記で異なる場合があります。地図記号は、実際に地図に表示される記号と若干異なる場合があります。

メニュー別索引

メインメニュー

行き先	探して決める	▶▶ P.33
	自宅にする	▶▶ P.40
	地図で決める	▶▶ P.33
	ここにする	▶▶ P.33

(行き先の位置を決めた後)

探索開始	
条件指定	▶▶ P.41
立寄地指定	▶▶ P.43
出発地指定	▶▶ P.47
学習ルート	▶▶ P.48
軌跡使用	▶▶ P.49

メインメニュー

場所を探す	名前を入力して探す	▶▶ P.52
	住所を指定して探す	▶▶ P.54
	ジャンルを指定して探す	▶▶ P.56
	電話番号を入力して探す	▶▶ P.60
	郵便番号を入力して探す	▶▶ P.61
	最近探した場所から探す	▶▶ P.62
	登録した場所から探す	▶▶ P.63
	周辺から探す	▶▶ P.65
	緯度経度を入力して探す	▶▶ P.65

メインメニュー

案内中のルート	再び探索する	▶▶ P.70
	迂回する	▶▶ P.71
	立寄地を加える	▶▶ P.72 ~ 74
	確認する	▶▶ P.75
	登録する	▶▶ P.76
	出発地へ帰る	▶▶ P.77
	消す	▶▶ P.78

メインメニュー

登録する場所	ここにする	▶▶ P.80
	探して決める	▶▶ P.80
	地図で決める	▶▶ P.80
	画像で決める	▶▶ P.80

(場所の位置を決めた後)

名前を変更する	▶▶ P.83
マークを変更する	▶▶ P.84
立体マークを変更する	▶▶ P.84
「自宅」で登録する	▶▶ P.81
「回避地」で登録する	▶▶ P.82
よみがなを変更する	▶▶ P.85
電話番号を変更する	▶▶ P.85
効果音を変更する	▶▶ P.86
画像を変更する	▶▶ P.87
探索条件を変更する	▶▶ P.88
位置を移動する	▶▶ P.89

メインメニュー

VICS情報	地図情報	▶▶ P.94
	FM図形情報	▶▶ P.98
	FM文字情報	▶▶ P.98
	ビーコン図形情報	▶▶ P.103
	ビーコン文字情報	▶▶ P.103
	放送局選局	▶▶
	VICSセンター情報	▶▶ P.105

オートで選ぶ	▶▶ P.100
リストで選ぶ	▶▶ P.100
シークで選ぶ	▶▶ P.101
マニュアルで選ぶ	▶▶ P.102

メインメニュー

インターネット	天気予報を見る	▶▶
	ホームページを見る	▶▶

予報を見る	▶▶ P.119
予報時刻を変える	▶▶ P.120
予報データを取る	▶▶ P.118

接続開始	▶▶ P.121
読込中止	▶▶ P.123
ホーム	▶▶ P.123
URL入力	▶▶ P.124
マイページ	▶▶ P.124
終了	▶▶ P.127
設定	▶▶ P.113

メインメニュー

その他の操作

ロゴマークを見る	▶▶ P.134
ロゴマークを選ぶ	▶▶ P.132
FM文字放送	▶▶
情報画面を見る	▶▶
データを編集する	▶▶
PCカードを使う	▶▶
設定を変える	▶▶

FM文字放送	▶▶ P.137
FM図形放送	▶▶ P.137
放送局選局	▶▶ P.136

走行状態を見る	▶▶ P.138
衛星測位情報を見る	▶▶ P.139
センサー学習状況を見る	▶▶ P.140

登録した場所
登録したルート
走行軌跡
学習した道
最近探した場所

呼び出し	▶▶ P.63
編集	▶▶ P.83
消去	▶▶ P.90

呼び出し	▶▶ P.142
編集	▶▶ P.143
消去	▶▶ P.144

新規登録	▶▶ P.146
呼び出し	▶▶ P.147
編集	▶▶ P.148
消去	▶▶ P.148

再学習	▶▶ P.150
-----	----------

呼び出し	▶▶ P.62
消去	▶▶ P.151

登録した場所
登録したルート
走行軌跡

カードへ保存	▶▶ P.152
カードから読込	▶▶ P.153
消去データ選択	▶▶ P.154
編集終了	

地図の初期設定	▶▶ P.156
ルートの初期設定	▶▶ P.156
VICSの初期設定	▶▶ P.156
その他の初期設定	▶▶ P.156
10キーのカスタマイズ	▶▶ P.180
自車位置修正	▶▶ P.169
ハードウェアの調整	

音量調整	▶▶ P.170
接続確認画面	▶▶ P.170
画面上下左右調整	▶▶ P.172

ショートカットメニュー (スクロール画面で表示させた場合)

この情報を見る	▶▶ P.175
ここへ行く	▶▶ P.176
ここを登録する	▶▶ P.176
ここに電話をかける	▶▶ P.178
この周辺で探す	▶▶ P.177

ショートカットメニュー (案内中のルートがある現在地画面で表示させた場合)

ルートスクロール	▶▶ P.177
ここへ行く	
ここを登録する	▶▶ P.176
ここに電話をかける	▶▶ P.178
この周辺で探す	▶▶ P.177

キーワード索引

英数字

10キー	2
10キーに割り当て可能な機能	182
2D時の地図回転	159
2次元測位	221
3D時地図の回転	160
3次元測位	221
carrozzeria.com	128
D-GPS情報放送局	223
D-GPSの状態	140
FM多重チューナーの設定	165,167
FM多重放送	92
FM文字オンエア連動	137
FM文字放送	136
GPS (Global Positioning System)	221
GPSアンテナ	171
GPS感度	171
Gセンサー	221
http	128
PCカード	87,152
TV走査方式	166
URL	124,129
VICS情報	22,92
VICS情報マーク	94
VICSセンター	105
VICSの情報提供時刻	9
「VICSの初期設定」メニュー	158

あ

アクセスポイント	115
案内中のルート	22
〔案内〕ボタン	2
行き先	22
緯度経度検索	67,140
イルミネーション	171
インターナビシステム	109,128
インターネット	23,108,128

ウェザーライブ	118
〔迂回〕ボタン	2
営業時間考慮検索	65
衛星位置表示	140
衛星測位情報画面	140
エンドレスファイル	145
オーディオミュート	167
オート発話スタンバイ	167
オートフリーズーム	39,159,164
オートリルート	38,162
〔オフフック/切替〕ボタン	2
音声案内	37
音声操作	188
音声認識コントローラー	2
音声認識ノイズマイク	168
〔オンフック/確定〕ボタン	2

か

回避地	82
学習度	
距離の～	141
傾斜(3D)の～	141
今回の～	141
方位の～	141
学習ルート	48
学習ルート探索	163
カスタマイズショートカットメニュー	23
簡易ハイブリッドシステム	222
規制表示	164
軌跡自動消去	161
軌跡表示	9,161
軌跡変換ルート探索	49
区間別条件指定	41
区間旅行時間表示	165
傾斜計	139
〔決定〕ボタン	2
現在地情報の表示	161
現在地の地名	9

〔現在地〕ボタン	2
現在の時刻	9
効果音	86
交差点案内表示	159,163
高精度3Dハイブリッドシステム	222
高速施設のイラスト表示	163
高度	140

さ

最近探した場所	62
サウンドトラップ	132
〔削除〕ボタン	2
サブネットマスク	115
時間表示	166
自転車マーク	8,9
施設名ダイレクトスタート	191
自宅登録	81
指定速度（一般道）	163,167
指定速度（有料道）	163,167
シティマップ	13,160
車速パルス	171
車両姿勢表示	141
ジャンルの種類	58
十字カーソル	10
渋滞考慮ルート設定	104
渋滞情報	93
渋滞情報自動案内	165
渋滞表示	164
渋滞表示の点滅	164
渋滞リクエスト案内	38
渋滞を考慮したルート探索	164,165
周辺検索	65
受信感度表示	100
出発地	47
順調表示	164
ショートカットメニュー	23,174
初期設定	156
ズームングスクロール	8
スカイビュー	14
スケール円	9
スケールコントローラー	2

スケールバー	12
スケール表示	9
セーフティインフォメーション	37
セカンダリーDNS	115
接続確認画面	171
接続先プロバイダー	113
前後G / 回転速度計	139
センサー学習状況画面	141
センサーメモリー切替	166
全ルート再探索	70
総合学習度	141
走行軌跡	49
走行状態表示画面	139
測位状態	140
速度	139
「その他の初期設定」メニュー	158

た

ダイレクトインターネットアクセス ..	121
ダイレクトキー	23,179
立寄地	43,72
地図情報の網かけ表示	166
「地図の初期設定」メニュー	157
駐車場満車表示	165
昼夜の地図の色	161
ツインビュー	15
ツインビュースケール	159
通常発話モード	190
〔訂正〕ボタン	2
デジカメリンク	87
デジタル携帯電話	110
デファレンシャルGPS（D-GPS） ..	223
デモ走行	166
天気予報	118
天気予報表示	160
電源電圧	139,171
電話操作・ハンズフリー	168
電話番号検索	60
ドアtoドア探索	33
到着予想時刻	163,167
登録した場所	63,90

登録したルート	142
登録する場所	22
登録地画像表示	160
登録地のルート探索条件	164
道路料金	21
ドライバーズビュー	15
トリップ	139
取付け位置	171

な

ナイアガラビュー	14
ノースアップフロントワイド	159
ノーマルビュー	14

は

パーキングブレーキ	171
ハイウェイマップ	15
ハイウェイモード	15,19
ハイバースクロール	8
ハイバーツインスクロール	11,161
場所を探す	22
バック信号	171
発話するタイミング	189
〔発話〕ボタン	2
パルス	139
ハンズフリー	112
ビーコン	92
ビーコン文字図形表示	103,165
ビジュアルシティマップ	13,160
ビューメモリー	18
フェリー航路	162
復帰ルート探索	38
プライマリーDNS	114
ブラウザ	117
フリーズーム	12
ブロックサーバー	115,116
プロバイダー	128
ボイスヘルプ	167,189
方位表示	9,16
ホーム	129
ホームページ	121

ま

マイク	2
マイページ	124,129
マップマッチング	169,224
マルチビューコントローラー	2
道のり・到着予想時刻表示	161,164
メインメニュー	22
〔メニュー〕ボタン	2
メモリー1 / メモリー2	141
モード表示	139
〔戻る〕ボタン	2

や

郵便番号検索	61
有料道路	162
よみがな	85

ら

リアルタイムリルート	39,162
リアルタイムロゴマーク表示	132
リクエスト案内	38
立体マーク	84
立体ランドマーク表示	13,160
リモコン	2
〔リルート〕ボタン	2
ルート案内	32
ルートインフォメーション	35,163
ルート音声	37
ルートスクロール	75
ルート設定	32
ルート探索基準	162
ルート探索の候補数	162
「ルートの初期設定」メニュー	157
ルートプロフィール	75
レベル3：文字	93
レベル2：簡易図形	93
レベル1：地図	93
ロードノイズ	188
ロゴマーク	132

やりたいこと索引

あ

行く

行きたい場所に～33,176

移動する

登録した場所の位置を～89

動かす

見たい場所まで地図を～8

選ぶ

FM放送局を～136

VICS放送局をシークで～101

VICS放送局をマニュアルで～ ..102

VICS放送局をリストで～100

お店を～135

か

解除する

インターネットの接続を～127

地図の回転を～16

回転させる

地図の向きを左右に～16

帰り道にする

案内中のルートを～77

帰る

自宅に～40

変える

10キーに割り当てた機能を～..180

立ち寄り順序を～74

地図の縮尺を～12

地図の表示方法を～14

地図を見る角度を～17

登録した走行軌跡の名前を～148

登録した場所の画像を87

登録した場所の効果音を86

登録した場所の探索条件を～ ..88

登録した場所の電話番号を85

登録した場所の名前を～83

登録した場所のマークを84

登録した場所のよみがなを85

登録した場所の立体マークを～84

登録したルートの名前を～143

ナビゲーションの初期設定を～ ..156

予報時刻を～120

確認する

VICS情報を～194

自分の車の現在地を.....8

道路料金を～21

配線の接続状態を～170

放送局の受信感度を～100

ルートの案内順を～75

ルートを～75

確認する（音声操作で）

距離を～195

現在の日時を～195

地図上の情報を～194

ルートを201

かける

検索した施設に電話を～111

地図上の場所に電話を～178

電話を～110

かける（音声操作で）

検索した施設に電話を～204

電話を～204

登録した場所に～204

切り換える

全角・半角を～28

消す

PCカードのデータを～154

案内中のルートを～78

最近探した場所を～151

走行軌跡を～148

登録した場所を～90

登録したルートを～144

ボイスヘルプを～195

さ

再学習させる	
学習した道を～	150
再探索させる	
新たなルートを～	70
自動的にルートを～	38
探す	
行きたい場所を～	33,176
緯度経度を入力して場所を～	67
最近探した場所から～	62
ジャンルを指定して場所を～	56
住所を指定して場所を～	54
近くのカソリンスタンド	
などを～	65,177
電話番号を入力して場所を～	60
登録した場所から～	63
郵便番号を入力して場所を～	61
名前を入力して場所を～	52
探す（音声操作で）	
最近探した場所から～	199
ジャンルを指定して場所を～	197
住所を指定して場所を～	196
近くのカソリンスタンド	
などを～	196
電話番号から場所を～	198
登録した場所から～	198
削除する	
案内中のルートの立寄地を～	73
立寄地を～	45
指定する	
出発地を～	47
立ち寄りたい場所を～	43
探索条件を～	41
自車位置のずれを～	169
取得する	
天気予報のデータを～	118
準備する	
インターネット接続の～	113
接続する	
インターネットに～	121

設定する	
接続先プロバイダーを～	113
操作する	
インターネット画面を～	122

た

探索させる	
迂回路を～	71
自宅に戻るルートを～	40
渋滞を考慮したルートを～	104
ルートを～	33,176
探索させる（音声操作で）	
自宅に戻るルートを～	200
ルートを～	200
調整する	
TVモニターの表示位置を～	172
音量を～	170
追加する	
案内中のルートに立寄地を～	72
立寄地を～	44
通話する	
ハンズフリーで	112
使う	
学習ルートを～	48
軌跡使用ルートを～	49
ショートカットメニューを～	174
ダイレクトキーを～	179
短縮ダイヤルを～	110
登録する	
案内中のルートを～	76
回避地を～	82
自宅を～	81
縮尺と角度を～	18
走行軌跡を～	145
友人宅などを～	80,176
な	
並べ替える	
立ち寄る順序を～	45

は

表示させる

- オンエアの番組内容を～137
- ショートカットメニューを～ 174
- 走行軌跡を地図上に～147
- 見たい場所の地図を
すばやく～11
- ロゴマークを地図上に～132

保存する

- データをPCカードに～152

ま

見る

- FM文字放送の番組を～136
- VICS情報マークの詳細を～96
- VICS情報を簡易図形表示で～ 98
- VICS情報を地図上で～94
- VICS情報を文字表示で～99
- VICSセンターからの連絡を～ 105
- 衛星測位情報を～139
- お店の情報(ロゴマーク)を～134
- 高速道路の施設情報を～19
- ここの情報を～175
- センサー学習状況を～140
- 走行状態を～138
- 天気予報を～118
- ナビゲーションの状態を～138
- ビーコンからの情報を～103
- ホームページを～121
- ロゴマークを～132

文字を入力する

- 英数字.....28
- カタカナ.....29
- 漢字.....30
- 記号.....28
- ひらがな.....29
- 難しい漢字.....30

や

呼び出す

- 登録したルートを～142

読み込む

- PCカードのデータを～153

地図データについて

いかなる形式においても著作権者に無断でこの地図の全部または一部を複製し、利用することを固く禁じます。

この地図の作成に当たっては、建設省国土地理院発行の2.5万分の1地形図、20万分の1地勢図を使用しました。

この地図の作成に当たっては、財団法人日本デジタル道路地図協会の全国デジタル道路地図データベースを使用しました。(測量法44条に基づく成果使用承認90-063)

©1999 財団法人 日本デジタル道路地図協会

この地図の作成に当たっては、小田原市長の承認を得て、同市発行の2.5千分の1国土基本図を使用しました。(承認番号小田原市指令第52号)

データベース作成時点の関連で、表示される地図が現状と異なる場合がありますのでご了承ください。

交通規制データについて

この地図に使用している交通規制データは、道路交通法に基づき全国交通安全活動推進センターが作成した交通規制原図を用いて(財)日本交通管理技術協会(TMT)が作成したものを使用しています。(TMT承認番号99-51)

この地図に使用している交通規制データは、1998年4月現在のもので、本データが現場の交通規制と違う時は、現場の交通規制標識・標示等に従ってください。

この地図に使用している交通規制データを無断で複写・複製・加工・改変することはできません。実際には交通規制のある道路でも、交通規制データベースにその規制内容が含まれていない場合があります。運転の際には必ず道路標識に従ってください。

この地図に使用している交通規制データは普通車両に適用されるもののみで、大型車両や二輪車等の規制は含まれておりません。あらかじめご了承ください。

この地図に使用している交通規制データの著作権は、(財)日本交通管理技術協会(TMT)が有し、二次的著作物作成の使用実施権をバイオニア株式会社が取得しています。

©1999 TMT

高速道路料金データについて

この地図ディスクに使用している高速道路・都市高速道路の料金データは、1999年3月末現在のものです。

VICSサービスエリアについて

この地図ディスクに収録されているVICSエリアは下記の都道府県が対象となります。

北海道(札幌)・宮城県・千葉県・埼玉県・東京都・神奈川県・長野県・愛知県・京都府・大阪府・兵庫県・広島県・福岡県

VICSサービスエリアが拡大されても、本ディスクでは新しく拡大されたサービスエリアでのレベル3(地図表示型)表示はできません。

テレビ局リストのデータについて

テレビ局リストのデータは1999年3月1日現在のものです。

その他情報提供元

NTT情報開発株式会社(1998年9月現在のタウンページデータ)

財団法人交通事故総合分析センター(1997年度統計による危険地帯データ)

三井物産株式会社(1998年12月現在の駐車場データ)

丸々もとお(夜景コメント)、丸田あつし(夜景写真)

米国特許No.4,558,302および対応外国特許



お客様ご相談窓口 (全国共通フリーフォン)

お客様相談センター

カーステレオ/カーナビゲーション製品に関するお問い合わせ窓口

 0070-800-818111

家庭用オーディオ/ビデオ製品に関するお問い合わせ窓口

 0070-800-818122

カタログのご請求に関する窓口

 0070-800-818133

<ご注意> PHS、携帯電話、自動車電話、列車公衆電話、船舶電話、ピンク電話、および海外からの国際電話ではご利用になれません。あらかじめご了承ください。
修理に関しては、別添えの『ご相談窓口・修理窓口のご案内』をご参照ください。

パイオニア株式会社

〒153-8654 東京都目黒区目黒 1-4-1

この説明書は、再生紙を使用しています。

© パイオニア株式会社 1999

< 99D00F0Y01 > < CRA2730-B >